

JP1 Cloud Service サービスポータル 利用ガイド

JCSM03-0112-01

前書き

■ 対象製品

●プラットフォーム共通サービス - Base

SD-527318003 JP1 Cloud Service/Platform Common Service - Base 01-01 以降

■ 輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

■ 商標類

HITACHI, JP1 は、株式会社 日立製作所の商標または登録商標です。

Amazon Web Services, AWS, Powered by AWS ロゴ, アマゾン ウェブ サービスは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

Azure は、マイクロソフト 企業グループの商標です。

Excel は、マイクロソフト 企業グループの商標です。

Internet Explorer は、マイクロソフト 企業グループの商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft は、マイクロソフト 企業グループの商標です。

Microsoft Edge は、マイクロソフト 企業グループの商標です。

Oracle および Java は、オラクルおよびその関連会社の登録商標です。

Red Hat is a registered trademark of Red Hat, Inc. in the United States and other countries. Red Hat は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc.の登録商標です。

Red Hat Enterprise Linux is a registered trademark of Red Hat, Inc. in the United States and other countries. Red Hat Enterprise Linux は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc.の登録商標です。

Windows は、マイクロソフト 企業グループの商標です。

Windows Server は、マイクロソフト 企業グループの商標です。

その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

本サービスポータルでは、下記のソフトウェアを利用しています。

1. Apache ライセンス

本製品には Apache Software Foundation (<https://www.apache.org/>) が開発したソフトウェアが含まれています。

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<https://www.apache.org/>) .

■ マイクロソフト製品のスクリーンショットの使用について

マイクロソフトの許可を得て使用しています。

■ マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは、マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

表記	正式名称
Excel	Microsoft(R) Excel
Internet Explorer	Windows(R) Internet Explorer(R)

■ 発行

2023 年 1 月 JCSM03-0112-01

■ 著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2021, 2023, Hitachi, Ltd.

変更内容

変更内容(JCSM03-0112-01) JP1 Cloud Service 01-12

追加・変更内容	変更箇所
Firefox のサポートバージョンを変更した。	1.1
専用ストレージのメニューとして、ユーザーファイルの操作についての説明を追加した。	1.2, 1.3.12, 2.1.1, 2.5, 10, 11.1, 11.2, 11.2.11, 11.2.12, 11.2.13, 11.2.14, 11.2.15, 14.4, 付録 D
メトリクスの種別として専用ストレージ使用率を追加した。	6.1, 6.1.1, 6.1.2, 6.1.3
実行エージェントの操作に、デフォルト実行エージェントについての説明を追加した。	8.1.2, 8.1.3, 8.1.4
JP1 パラメータユーティリティとして提供するツールの前提 OS を変更した。	付録 A.2

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

はじめに

このマニュアルは、JP1 Cloud Service で提供するサービスポータル機能および操作について説明したものです。

■ 対象読者

このマニュアルは次の方にお読みいただくことを前提に説明しています。

- ・ サービスポータルの利用方法や操作方法について知りたい方
- ・ サービスポータルを利用してシステムを運用しようと考えている方、または運用するために設計する方
- ・ サービスポータルを利用してシステムを運用する方

■ マニュアルの構成

このマニュアルは、次に示す章と付録から構成されています。

第1章 サービスポータル概要

サービスポータルの概要について説明しています。

第2章 ユーザー認証と操作権限

サービスポータルのユーザー認証と操作権限について説明しています。

第3章 プラットフォーム

プラットフォームのメニューで提供する機能について説明しています。

第4章 ネットワーク

ネットワークのメニューで提供する機能について説明しています。

第5章 接続ホストの表示、切り替え

接続ホストの表示、切り替えの機能について説明しています。

第6章 利用状況

利用状況のメニューで提供する機能について説明しています。

第7章 JP1 管理基盤

JP1 管理基盤のメニューで提供する機能について説明しています。

第8章 ジョブスケジューラー

ジョブスケジューラーのメニューで提供する機能について説明しています。

第9章 ファイル

ファイルのメニューで提供する機能について説明しています。

第10章 専用ストレージ

専用ストレージのメニューで提供する機能について説明しています。

第11章 タスク

タスクのメニューで提供する機能について説明しています。

第12章 ユーザー管理

ユーザー管理のメニューで提供する機能について説明しています。

第13章 ログ管理

ログ管理のメニューで提供する機能について説明しています。

第14章 その他, 共通

サービスポータルその他の共通機能について説明しています。

第15章 注意事項・制限事項

サービスポータルの注意事項・制限事項について説明しています。

付録A 設定パラメータ・ツール

JP1 の設定パラメータシートおよび設定作業をサポートするためのツールについて説明しています。

付録B 各バージョンの変更内容

各バージョンの変更内容について説明しています。

付録C このマニュアルの参考情報

このマニュアルを読むに当たっての参考情報について説明しています。

付録D 用語解説

このマニュアルで使用する用語について説明しています。

目次

前書き	2
変更内容	4
はじめに	5

1	サービスポータル概要	12
1.1	利用可能な Web ブラウザー	13
1.2	機能概要	14
1.3	利用方法の概要	17
1.3.1	サービスポータルへのログイン	17
1.3.2	チームの作成	17
1.3.3	ポータルのユーザーの作成	19
1.3.4	ファイルの取得	20
1.3.5	マネージャーの操作	21
1.3.6	ネットワークの操作	22
1.3.7	利用状況の表示	23
1.3.8	JP1 ユーザーの操作	23
1.3.9	hosts 情報の操作	24
1.3.10	実行エージェントの操作	25
1.3.11	ログの表示・取得	25
1.3.12	ユーザーファイルの操作 (V01-12 以降)	26
1.3.13	管理者向けログの取得	27
1.3.14	タスクの表示	27

2	ユーザー認証と操作権限	28
2.1	ログインとログアウト	29
2.1.1	ログイン手順	29
2.1.2	ログアウト手順	31
2.2	サービスポータルのユーザー	32
2.2.1	ユーザー ID について	32
2.2.2	パスワードについて	32
2.2.3	ユーザーのロックアウトについて	32
2.3	ログインユーザーの情報表示	33
2.4	ログインユーザーのパスワード変更	35
2.5	提供する機能とユーザーの権限の関係	36

3	プラットフォーム 43
3.1	提供ファイル一覧 44
3.1.1	一覧表示 44
3.2	マネージャー一覧 45
3.2.1	一覧表示 45
3.2.2	詳細表示 46
3.2.3	ジョブ定義のエクスポート 47
3.2.4	ジョブ定義のインポート 49
4	ネットワーク 52
4.1	ルート一覧 53
4.1.1	一覧表示 53
4.1.2	追加 54
4.1.3	削除 54
5	接続ホストの表示, 切り替え 56
5.1	切り替え 57
5.2	詳細表示 58
6	利用状況 59
6.1	メトリクス 60
6.1.1	メトリクス表示 60
6.1.2	アラームの表示 (V01-11 以降) 61
6.1.3	アラームの設定 (V01-11 以降) 63
7	JP1 管理基盤 66
7.1	JP1 ユーザー一覧 67
7.1.1	一覧表示 67
7.1.2	新規作成 68
7.1.3	編集 69
7.1.4	削除 71
7.1.5	パスワード変更 71
7.2	hosts 情報一覧 73
7.2.1	一覧表示 73
7.2.2	新規登録 73
8	ジョブスケジューラー 75
8.1	実行エージェント一覧 76
8.1.1	一覧表示 76
8.1.2	新規作成 78

8.1.3 編集 81

8.1.4 削除 84

9 ファイル 85

9.1 ログ一覧 86

9.1.1 一覧表示 86

9.1.2 詳細表示 (V01-11 以降) 86

9.1.3 エクスポート 87

9.2 提供ファイル一覧 90

9.2.1 一覧表示 90

9.2.2 エージェントセットアップ支援ツール 90

10 専用ストレージ 92

10.1 ユーザーファイル一覧 (V01-12 以降) 93

10.1.1 一覧表示 93

10.1.2 アップロード 95

10.1.3 ダウンロード 96

10.1.4 削除 96

10.1.5 ディレクトリ作成 97

10.1.6 コピー 98

10.1.7 移動・名前変更 100

10.1.8 権限変更 101

11 タスク 104

11.1 タスク一覧 105

11.2 タスク詳細 (実行履歴の参照) 108

11.2.1 ジョブ定義エクスポート 111

11.2.2 ジョブ定義インポート 112

11.2.3 ルート追加 112

11.2.4 アラーム設定 (V01-11 以降) 113

11.2.5 JP1 ユーザー作成 114

11.2.6 JP1 ユーザー編集 114

11.2.7 hosts 情報登録 115

11.2.8 実行エージェント作成 116

11.2.9 実行エージェント編集 117

11.2.10 ログエクスポート 118

11.2.11 ユーザーファイルアップロード (V01-12 以降) 118

11.2.12 ユーザーファイル用ディレクトリ作成 (V01-12 以降) 119

11.2.13 ユーザーファイルコピー (V01-12 以降) 120

11.2.14 ユーザーファイル移動・名前変更 (V01-12 以降) 120

11.2.15	ユーザーファイル権限変更 (V01-12 以降)	121
11.2.16	ユーザー作成	122
11.2.17	ユーザー編集	123
11.2.18	チーム作成	124
11.2.19	チーム編集	124
11.2.20	チームメンバー変更	125
11.3	タスクの保持期間	126

12 ユーザー管理 127

12.1	ユーザー一覧	128
12.1.1	一覧表示	128
12.1.2	詳細表示	129
12.1.3	新規作成	130
12.1.4	編集	133
12.1.5	削除	136
12.1.6	ロック解除	137
12.1.7	パスワードのリセット	137
12.1.8	チームメンバーの変更	138
12.1.9	ユーザー管理ポリシーに関する注意事項	138
12.2	チーム一覧	140
12.2.1	一覧表示	140
12.2.2	新規作成	141
12.2.3	編集	142
12.2.4	メンバーの変更	143
12.2.5	削除	144

13 ログ管理 145

13.1	ログ一覧	146
13.1.1	一覧表示	146
13.1.2	エクスポート	146

14 その他, 共通 149

14.1	お知らせ	150
14.2	用語集	151
14.3	フィードバックの送信 (V01-11 以降)	152
14.4	一覧画面での共通機能について	153
14.5	表示言語について	154
14.6	ユーザー環境情報の保存	155

15 注意事項・制限事項 156

15.1 注意事項 157

15.1.1 一括操作時のタスク生成について 157

15.1.2 タスクの実行について 157

15.2 制限事項 158

付録 159

付録 A 設定パラメータ・ツール 160

付録 A.1 設定パラメータシート 160

付録 A.2 JP1 パラメータユーティリティ 162

付録 B 各バージョンの変更内容 165

付録 B.1 01-12 の変更内容 165

付録 B.2 01-11 の変更内容 165

付録 B.3 01-10 の変更内容 165

付録 B.4 01-01 の変更内容 165

付録 C このマニュアルの参考情報 167

付録 C.1 製品名の表記 167

付録 D 用語解説 168

索引 170

1

サービスポータル概要

サービスポータルの概要について説明します。サービスポータルでは、サービス利用における定型作業を支援し、運用作業を効率化する機能を提供します。

1.1 利用可能な Web ブラウザー

サービスポータルをご利用可能な Web ブラウザーを以下に示します。

- Windows(R) Internet Explorer(R) 11
- Firefox(R) ESR 102
- Google Chrome 86 以降
- Microsoft Edge 88 以降

1.2 機能概要

サービスポータルで提供する機能の一覧を以下に示します。

カテゴリ	機能	説明
ユーザー認証と操作権限	ログインとログアウト	不正なユーザーによるアクセスを防止するためにログイン認証を行います。
	ログインユーザーの情報表示	ログインしているポータルのユーザーの情報を表示できます。
	ログインユーザーのパスワード変更	ログインしているポータルのユーザーのパスワードを変更できます。
プラットフォーム	提供するファイルの表示, ダウンロード	サービスから共通的に提供するファイルを表示して, ダウンロードできます。ダウンロードできる主なファイルは以下です。 <ul style="list-style-type: none">サービス利用ガイド (マニュアル)
	マネージャーの表示	サービスで提供されるマネージャーホストの情報を表示できます。
	マネージャーからのジョブ定義のエクスポート	JP1/AJS3 (ジョブスケジューラー) のマネージャーからジョブ定義をエクスポートできます。
	マネージャーへのジョブ定義のインポート	JP1/AJS3 (ジョブスケジューラー) のマネージャーにジョブ定義をインポートできます。
ネットワーク	ルートの表示	サービスで提供されるマネージャーとの通信に利用されるルート (経路) 情報を表示できます。
	ルートの追加	ルートを追加できます。
	ルートの削除	ルートを削除できます。
接続ホストの表示, 切り替え	操作対象ホストの表示, 切り替え	JP1 関連の機能について, 接続して操作対象とするホストを選択して切り替えることができます。
利用状況	メトリクスの表示	マネージャーの CPU 使用率やメモリ使用率等の利用状況 (メトリクス) をグラフで表示して確認できます。
	アラームの表示 (V01-11 以降)	各メトリクスに対して設定したしきい値や持続時間等のアラームの情報を表示できます。
	アラームの設定 (V01-11 以降)	各メトリクスに対して一定のしきい値を超えたときに JP1 イベントを発行可能なアラームを設定できます。

カテゴリ	機能	説明
JP1 管理基盤	JP1 ユーザーの表示	JP1 ユーザーの情報を表示できます。
	JP1 ユーザーの新規作成	JP1 ユーザーを新規に作成できます。
	JP1 ユーザーの編集	JP1 ユーザーの操作権限を変更できます。
	JP1 ユーザーの削除	JP1 ユーザーを削除できます。
	JP1 ユーザーのパスワード変更	JP1 ユーザーのパスワードを変更できます。
	hosts 情報の表示	hosts 情報を表示できます。
	hosts 情報の新規登録	hosts 情報を新規に登録できます。
ジョブスケジューラー	実行エージェントの表示	実行エージェントの情報を表示できます。
	実行エージェントの新規作成	実行エージェントを新規に作成できます。
	実行エージェントの編集	実行エージェントを編集できます。
	実行エージェントの削除	実行エージェントを削除できます。
ファイル	ログの表示	サービスから提供可能な以下のログを表示できます。 <ul style="list-style-type: none"> 統合トレースログ 実行操作ログ
	ログのエクスポート、ダウンロード	ログの内容をエクスポートしてダウンロードできます。
	ホストに紐づくファイルの表示、ダウンロード	サービスから提供する、操作対象のホストに紐づくファイルを表示して、ダウンロードできます。ダウンロードできる主なファイルは以下です。 <ul style="list-style-type: none"> エージェントセットアップ支援ツール
専用ストレージ	ユーザーファイルの表示 (V01-12 以降)	ユーザーファイルの情報を表示できます。
	ユーザーファイルのアップロード (V01-12 以降)	ユーザーファイルをアップロードできます。
	ユーザーファイルのダウンロード (V01-12 以降)	ユーザーファイルをダウンロードできます。
	ユーザーファイルの削除 (V01-12 以降)	ユーザーファイルを削除できます。
	ユーザーファイル用ディレクトリ作成 (V01-12 以降)	ユーザーファイル用のディレクトリを作成できます。
	ユーザーファイルのコピー (V01-12 以降)	ユーザーファイルをコピーできます。
	ユーザーファイルの移動・名前変更 (V01-12 以降)	ユーザーファイルの移動や名前変更ができます。

カテゴリ	機能	説明
専用ストレージ	ユーザーファイルの権限変更（V01-12以降）	ユーザーファイルの権限を変更できます。
タスク	タスク表示	実行されたタスクの実行状況や実行履歴を表示できます。
ユーザー管理	ユーザーの表示	ポータルユーザーの情報を表示できます。
	ユーザーの新規作成	ポータルユーザーを新規に作成できます。
	ユーザーの編集	ポータルユーザーの情報や権限を編集できます。
	ユーザーの削除	ポータルユーザーを削除できます。
	アカウントのロック解除	ロック状態を解除できます。
	パスワードのリセット	パスワードをリセットできます。
	チームの表示	チームの情報を表示できます。
	チームの新規作成	チームを新規に作成できます。
	チームの編集	チームの情報を編集できます。
	チームのメンバー変更	チームのメンバーを変更できます。
	チームの削除	チームを削除できます。
ログ管理	管理者向けログの表示	管理者向けにサービスから提供可能な以下のログを表示できます。 <ul style="list-style-type: none"> ポータルユーザー操作ログ
	管理者向けログのエクスポート、ダウンロード	管理者向けのログの内容をエクスポートしてダウンロードできます。
その他、共通	お知らせの表示	サービス提供者からのお知らせを表示できます。
	用語集の表示	用語集を表示できます。
	フィードバックの送信（V01-11以降）	サービスに対する評価やメッセージといったフィードバックを送信できます。

1.3 利用方法の概要

サービスポータルの利用方法の概要について説明します。

1.3.1 サービスポータルへのログイン

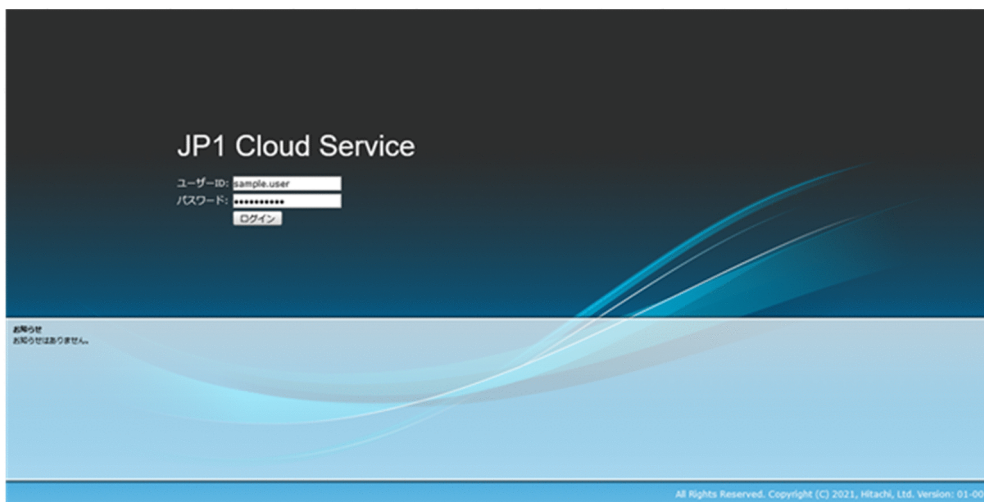
Web ブラウザーを起動して、サービスポータルの URL にアクセスします。

ユーザー ID とパスワードを入力して、ログインします。

サービスポータルの URL や、初期提供されるユーザー ID、ポータルのユーザーの初期パスワードは、ご契約情報一覧にてお知らせする接続情報でご確認ください。

注意事項

Web ブラウザーの設定で、アクセス先のサーバーである Web サイトを【信頼済みサイト】に追加してください。また、【信頼済みサイト】に「about:blob」を追加してください。追加の際、Internet Explorer では「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする」のチェックを外す必要があります。



初回のログイン時には、ログインユーザーのパスワードの変更が必要です。

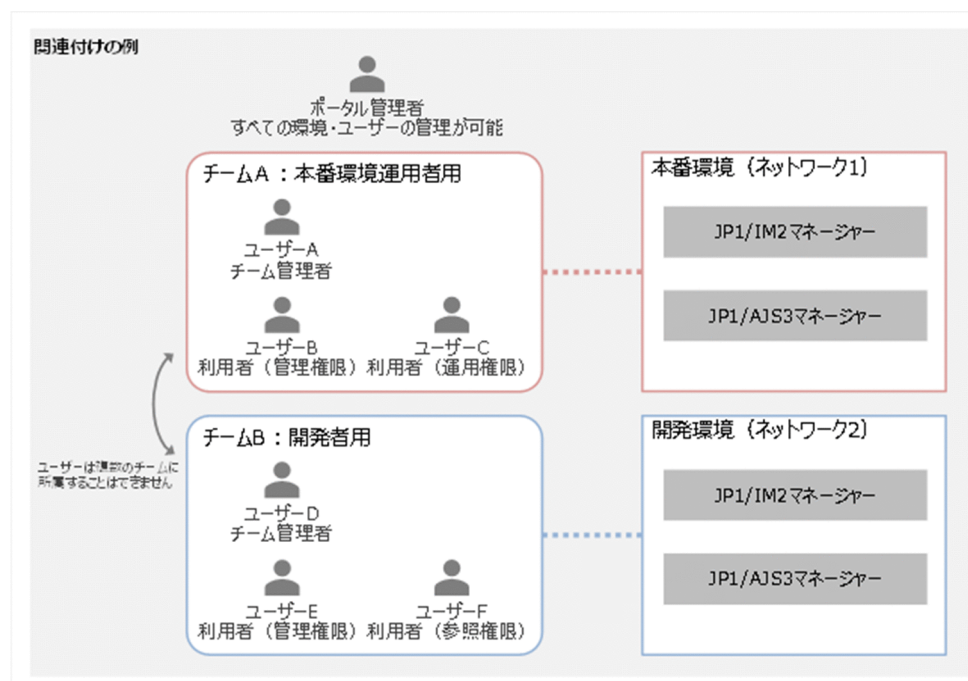
ログインやログイン後の画面についての詳細は、「[2 ユーザー認証と操作権限](#)」を参照してください。また、サービスポータルのユーザーの権限については、「[2.5 提供する機能とユーザーの権限の関係](#)」を参照してください。

1.3.2 チームの作成

ポータル管理者は、最初にチームを作成します。ポータルのチーム管理者および利用者は、チームの作成はしないため、本節の内容を確認する必要はありません。

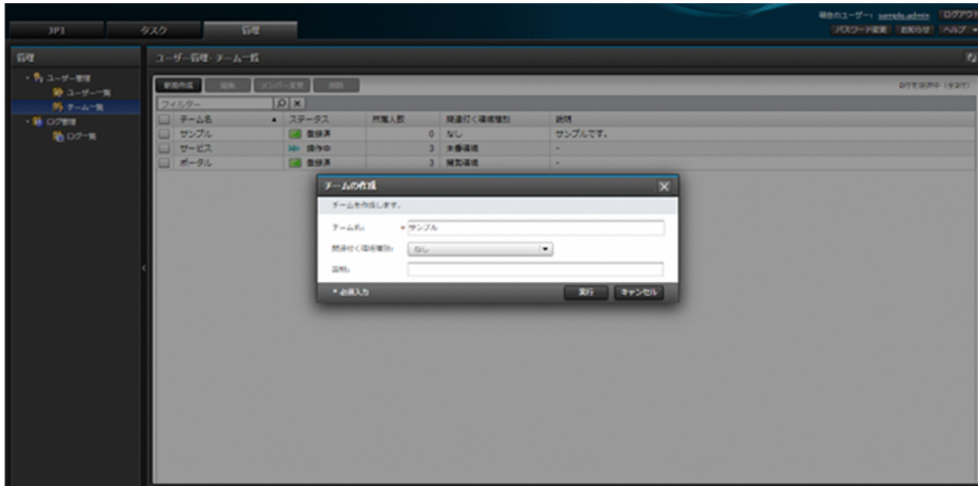
チームは、ポータルユーザーのグルーピングのために利用できます。ポータルユーザーの一覧画面に表示されるチーム名でフィルタリングやソートをすることで、ポータルユーザーの絞り込みや検索に利用できます。

また、チームは、環境種別（開発環境、本番環境など）と関連付けることができます。チーム管理者は、自身が所属するチームの情報表示とチームのメンバーに対するユーザー操作だけを実行できます。加えて、関連付けを行うことで、そのチームのチーム管理者は関連付く環境の管理者としても振る舞うことができます。例えば、チーム A を本番環境に関連付け、チーム B を開発環境に関連付けた場合、チーム A のチーム管理者はユーザー作成・編集時に本番環境のホストに対してだけ権限を設定可能です。一方、チーム B のチーム管理者は開発環境のホストに対してだけ権限を設定できます。このように、チームに環境種別を関連付けることで、扱いが異なる環境ごとにユーザーを分離して運用することができます。なお、この分離の運用において、ポータル管理者が不要な場合にはサービス窓口までお問い合わせください。



[管理] 画面に移動し、[管理] 画面のナビメニュー [ユーザー管理] - [チーム一覧] のチーム一覧画面から、[新規作成] ボタンをクリックして起動するダイアログに必要な情報を入力してチームを作成してください。

なお、デフォルトで1つのチームが作成された状態で提供されます。このチーム名を [編集] ボタンから編集してご利用いただくこともできます。



チームの管理機能として、情報表示、新規作成、編集、メンバー変更、削除があります。

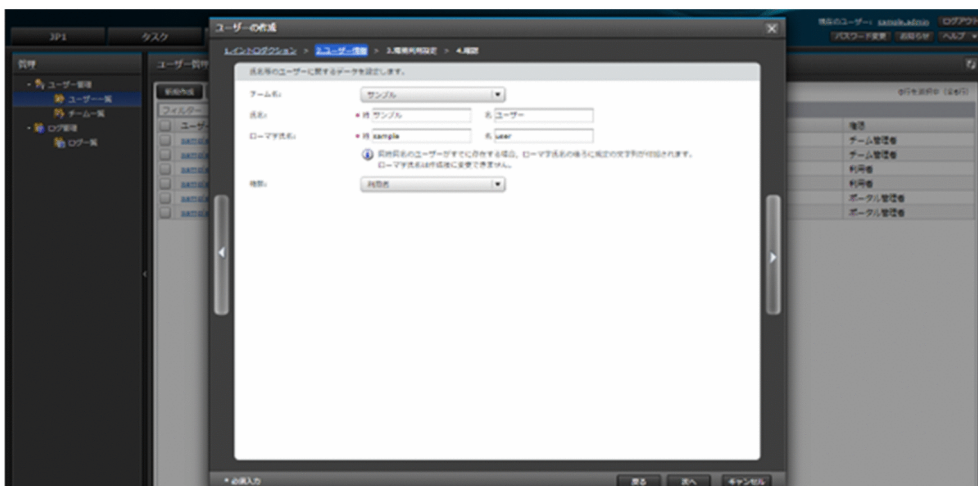
チームの操作方法の詳細は、「[12.2 チーム一覧](#)」を参照してください。

1.3.3 ポータルのユーザーの作成

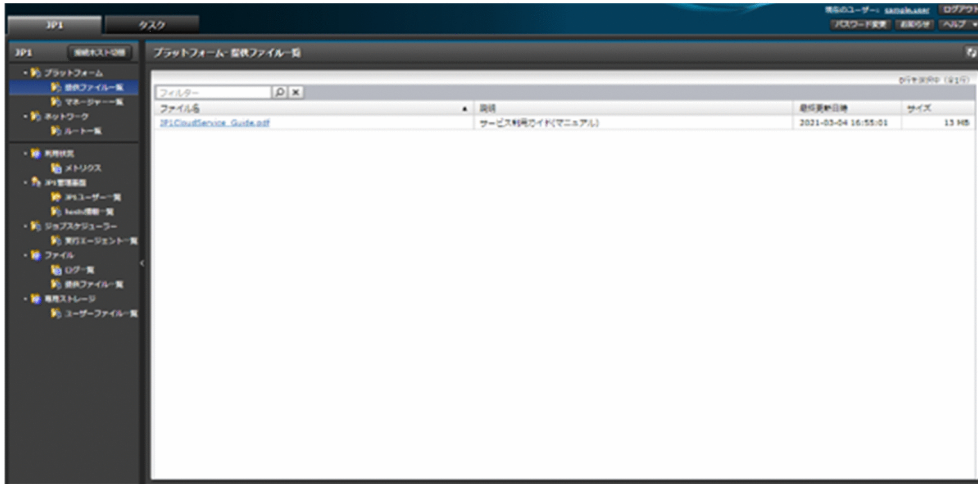
ポータルの管理者は、次にサービスポータルを利用するために必要なポータルのユーザーを作成します。ポータルの利用者は、ポータルのユーザーは作成しないため、本節の内容を確認する必要はありません。

[管理] 画面に移動し、[管理] 画面のナビメニュー [ユーザー管理] - [ユーザー一覧] のユーザー一覧画面から、[新規作成] ボタンをクリックして起動するウィザードに必要な情報を入力してポータルのユーザーを作成してください。

以下のユーザー情報の入力画面で、チーム名、ユーザー名（氏名、ローマ字氏名）、作成するユーザーに与えるサービスポータル上の権限を選択します。

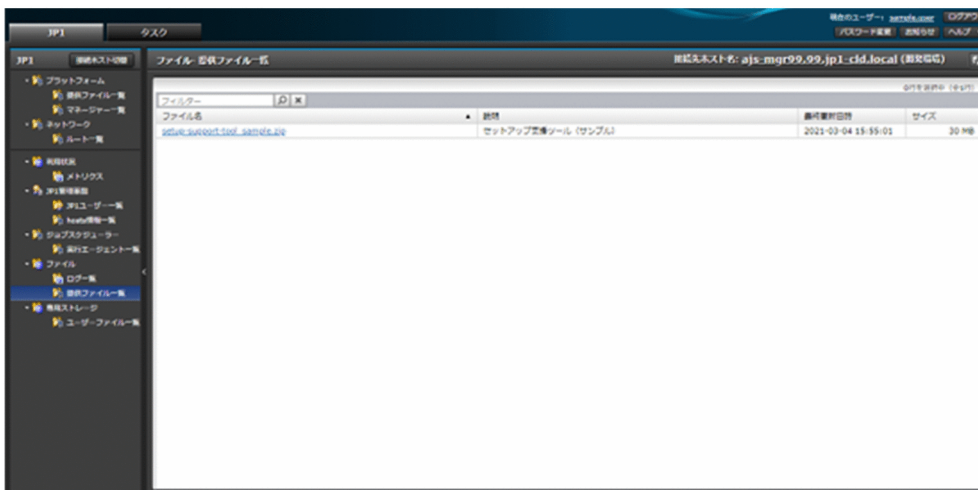


次の環境利用設定の入力画面で、提供されるホスト・環境種別ごとに、作成するユーザーに与える権限を選択します。



ファイルの取得方法の詳細は、「[3.1 提供ファイル一覧](#)」を参照してください。

また、サービスで提供されるホストに紐づくファイルを取得する場合、[JP1] 画面に移動し、[接続ホスト切替] ボタンをクリックして、表示対象とするホストを選択して切り替えます。切り替え後、[JP1 画面] のナビメニュー [ファイル] - [提供ファイル一覧] の提供ファイル一覧画面から、現在選択している表示対象ホストに紐づくファイル（エージェントセットアップ支援ツールなど）を取得することができます。

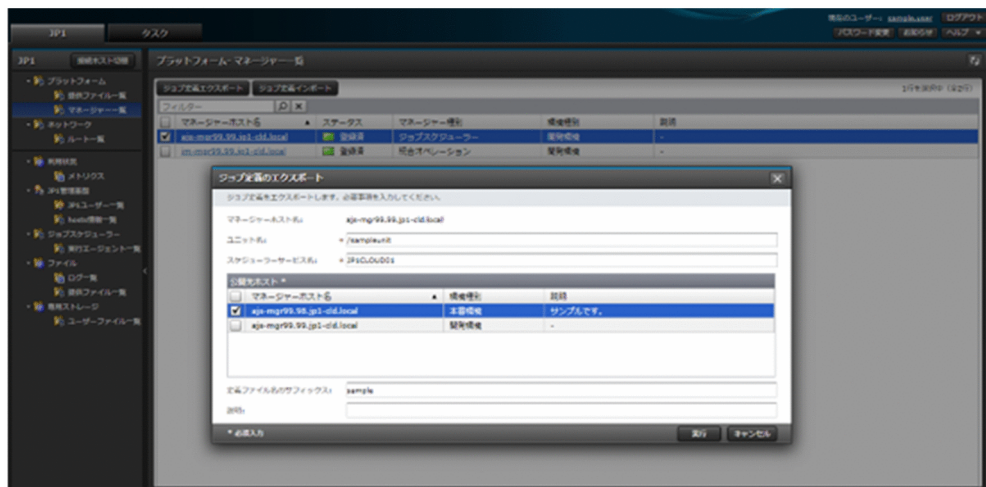


ホストに紐づくファイルの取得方法の詳細は、「[9.2 提供ファイル一覧](#)」を参照してください。

1.3.5 マネージャーの操作

サービスで提供されるマネージャーホストについて、情報表示、ジョブ定義のエクスポート、ジョブ定義のインポートができます。例えば、開発環境の JP1/AJS3（ジョブスケジューラー）のマネージャーから開発したジョブ定義をエクスポートし、本番環境の JP1/AJS3（ジョブスケジューラー）のマネージャーにジョブ定義をインポートすることで、マネージャー間でジョブ定義を移行・配布することができます。

[JP1] 画面に移動し、[JP1] 画面のナビメニュー [プラットフォーム] – [マネージャー一覧] のマネージャー一覧画面から、サービスで提供されるマネージャーホストの情報表示やジョブ定義のエクスポートなどの操作ができます。

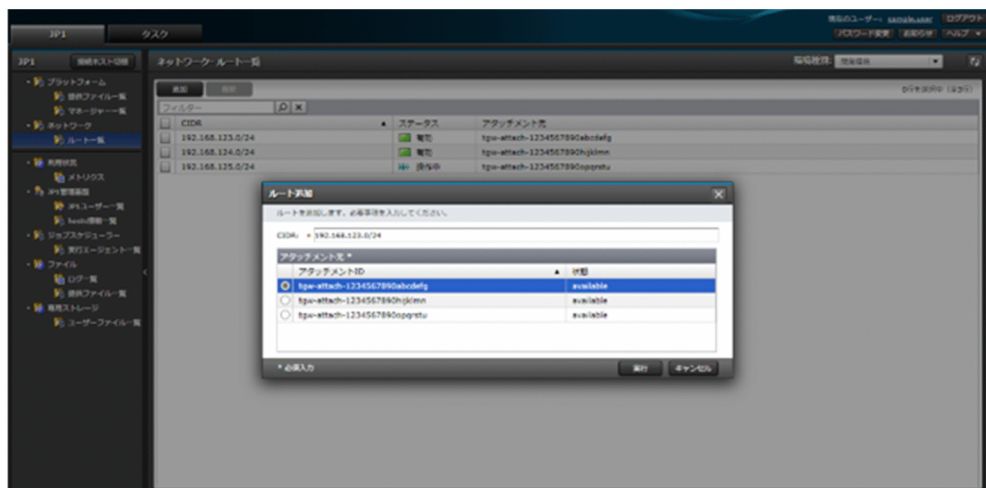


マネージャーの操作方法の詳細は、「3.2 マネージャー一覧」を参照してください。

1.3.6 ネットワークの操作

サービスで提供されるマネージャーとの通信に利用されるルート（経路）情報の表示、追加、削除ができます。ルート情報は、サービス側のネットワークからお客様環境のネットワークへの通信のルーティングのために設定が必要になります。

[JP1] 画面に移動し、[JP1] 画面のナビメニュー [ネットワーク] – [ルート一覧] のルート一覧画面から、利用権限がある環境種別のルート情報の表示や追加などの操作ができます。

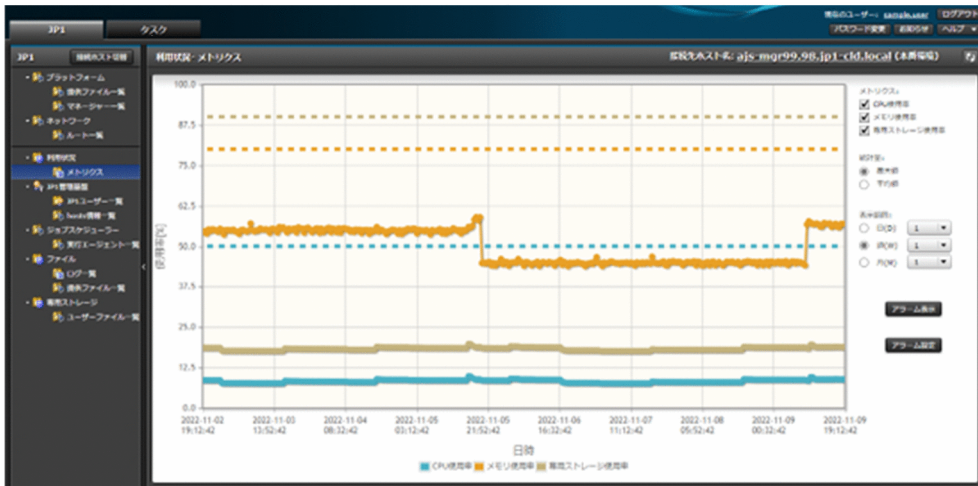


ルートの操作方法の詳細は、「4.1 ルート一覧」を参照してください。

1.3.7 利用状況の表示

サービスで提供されるホストについて、マネージャーの CPU 使用率やメモリ使用率等の利用状況（メトリクス）をグラフで表示して確認できます。また、各メトリクスに対してアラームの設定および参照ができます。

[JP1] 画面に移動し、[接続ホスト切替] ボタンをクリックして、表示対象とするホストを選択して切り替えます。切り替え後、[JP1] 画面のナビメニュー [利用状況] - [メトリクス] のメトリクス画面から、現在選択している表示対象ホストの利用状況（メトリクス）の確認、アラームの表示、アラームの設定といった操作ができます。

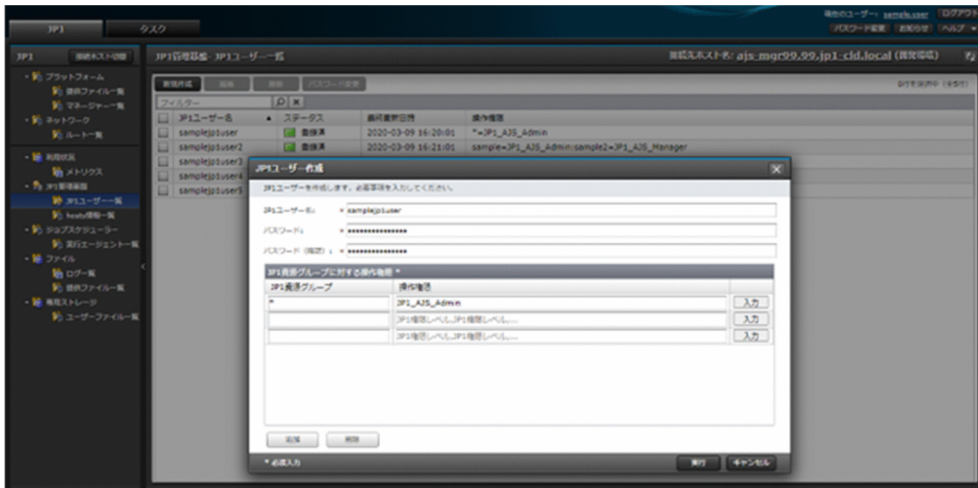


メトリクスの表示方法の詳細は、「[6.1 メトリクス](#)」を参照してください。

1.3.8 JP1 ユーザーの操作

サービスで提供されるホストについて、JP1 ユーザーの情報表示、新規作成、編集、削除、パスワード変更ができます。

[JP1] 画面に移動し、[接続ホスト切替] ボタンをクリックして、表示・操作対象とするホストを選択して切り替えます。切り替え後、[JP1] 画面のナビメニュー [JP1 管理基盤] - [JP1 ユーザー一覧] の JP1 ユーザー一覧画面から、現在選択している表示・操作対象ホストの JP1 ユーザーの情報表示や新規作成などの操作ができます。

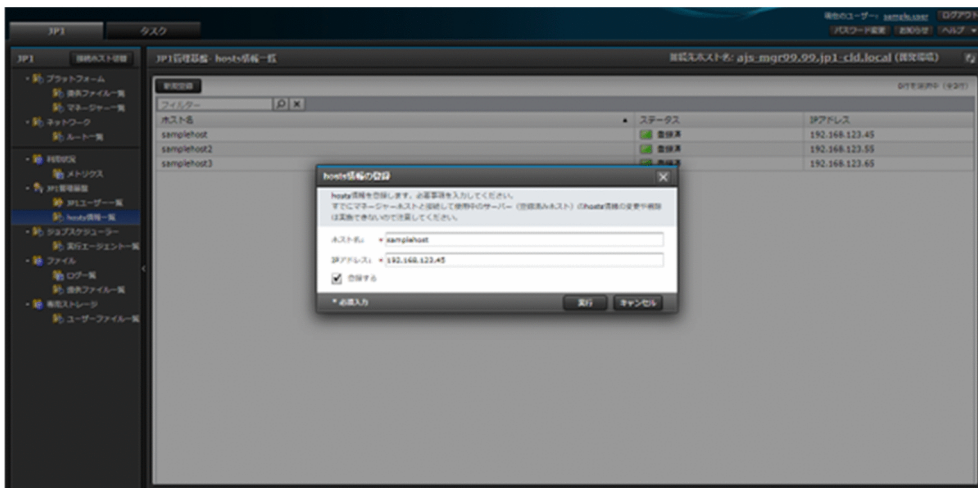


JP1 ユーザーの操作方法の詳細は、「7.1 JP1 ユーザー一覧」を参照してください。

1.3.9 hosts 情報の操作

サービスで提供されるホストについて、エージェントとして使用するためにマネージャーに登録されているサーバーの hosts 情報の表示、新規登録ができます。hosts 情報は、マネージャーとエージェント間で通信する際の名前解決のために登録が必要になります。

[JP1] 画面に移動し、[接続ホスト切替] ボタンをクリックして、表示・操作対象とするホストを選択して切り替えます。切り替え後、[JP1] 画面のナビメニュー [JP1 管理基盤] - [hosts 情報一覧] の hosts 情報一覧画面から、現在選択している表示・操作対象ホストの hosts 情報の表示や新規登録の操作ができます。

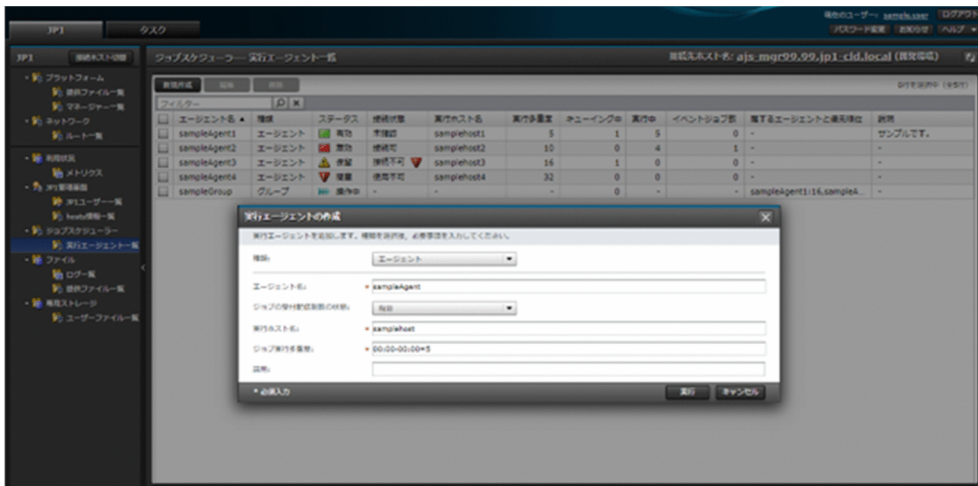


hosts 情報の操作方法の詳細は、「7.2 hosts 情報一覧」を参照してください。

1.3.10 実行エージェントの操作

サービスで提供される JP1/AJS3（ジョブスケジューラー）のマネージャーホストについて、実行エージェントの情報表示、新規作成、編集、削除ができます。

[JP1] 画面に移動し、[接続ホスト切替] ボタンをクリックして、表示・操作対象とするホストを選択して切り替えます。切り替え後、[JP1] 画面のナビメニュー [ジョブスケジューラー] - [実行エージェント一覧] の実行エージェント一覧画面から、現在選択している表示・操作対象ホストの実行エージェントの情報表示や新規作成などの操作ができます。

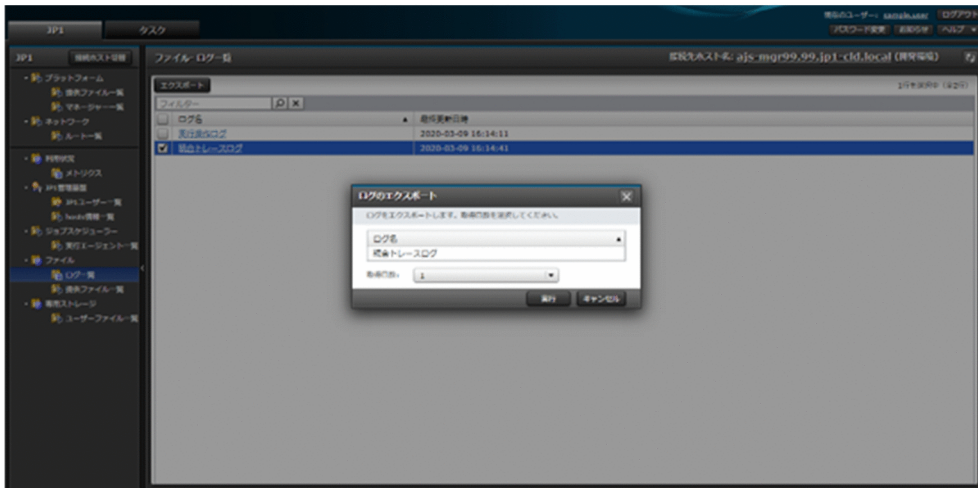


実行エージェントの操作方法の詳細は、「[8.1 実行エージェント一覧](#)」を参照してください。

1.3.11 ログの表示・取得

サービスで提供されるホストについて、統合トレースログなどの内容表示やログをエクスポートしてダウンロードできます。

[JP1] 画面に移動し、[接続ホスト切替] ボタンをクリックして、表示・操作対象とするホストを選択して切り替えます。切り替え後、[JP1] 画面のナビメニュー [ファイル] - [ログ一覧] のログ一覧画面から、現在選択している表示・操作対象ホストのログの内容表示、取得ができます。

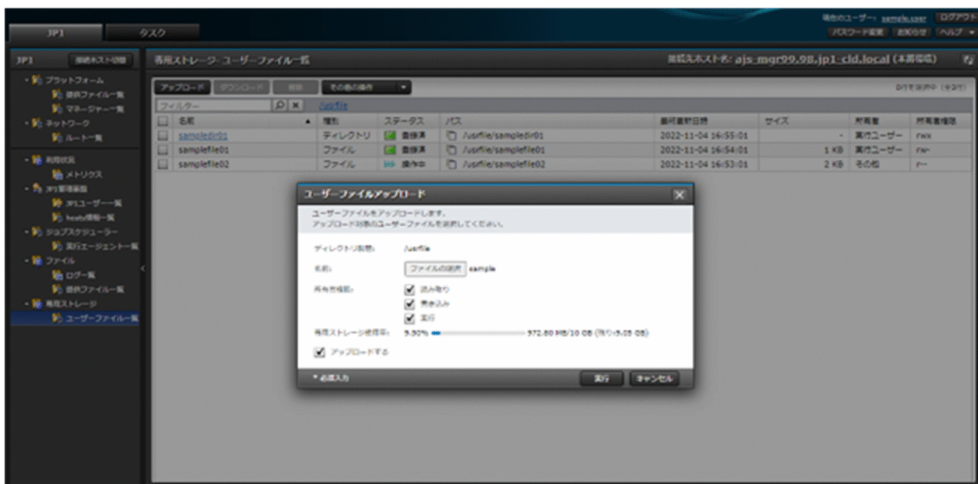


ログの表示・取得方法の詳細は、「[9.1 ログ一覧](#)」を参照してください。

1.3.12 ユーザーファイルの操作 (V01-12 以降)

サービスで提供されるマネージャーホスト上の専用ストレージに格納されたユーザーファイルについて、ユーザーファイルの情報表示、アップロード、ダウンロード、削除、ディレクトリ作成、コピー、移動、名前変更、権限変更ができます。

[JP1] 画面に移動し、[接続ホスト切替] ボタンをクリックして、表示・操作対象とするホストを選択して切り替えます。切り替え後、[JP1] 画面のナビメニュー [専用ストレージ] - [ユーザーファイル一覧] のユーザーファイル一覧画面から、現在選択している表示・操作対象ホスト上の専用ストレージに格納されたユーザーファイルの情報表示やアップロードなどの操作ができます。

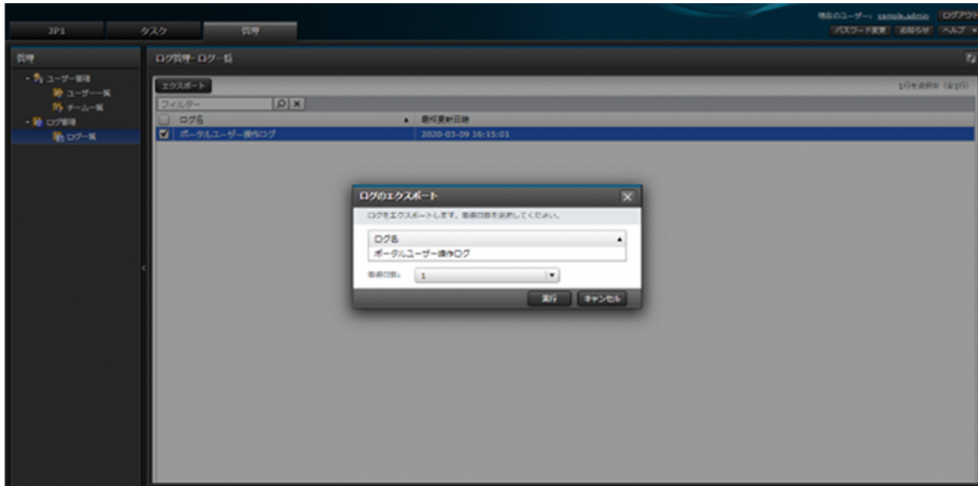


ユーザーファイルの操作方法の詳細は、「[10.1 ユーザーファイル一覧 \(V01-12 以降\)](#)」を参照してください。

1.3.13 管理者向けログの取得

ポータル管理者向けに、ポータルユーザーの操作履歴が出力されているポータルユーザー操作ログをエクスポートしてダウンロードできます。

[管理] 画面のナビメニュー [ログ管理] - [ログ一覧] のログ一覧画面から、ログを取得することができます。

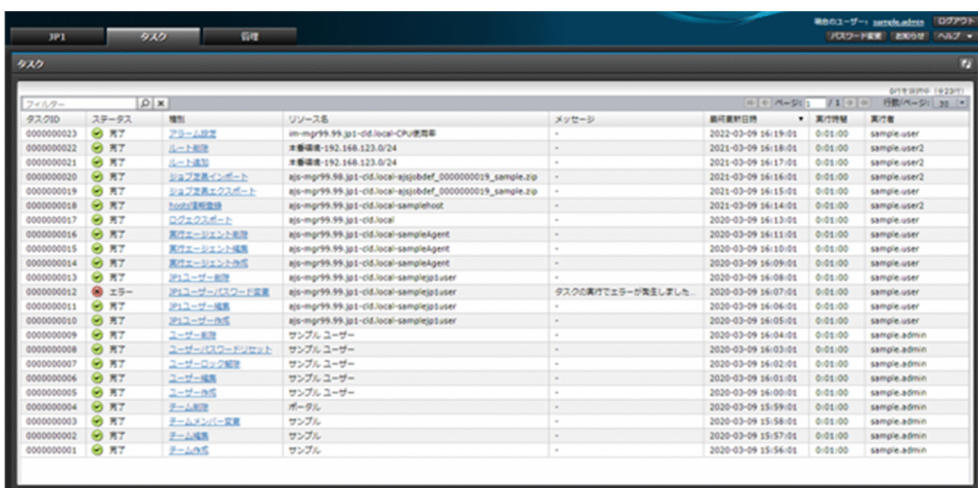


管理者向けログの取得方法の詳細は、「[13.1 ログ一覧](#)」を参照してください。

1.3.14 タスクの表示

ポータルから各種実行操作をしたとき、これら操作はタスクとして登録されます。

[タスク] 画面を選択すると表示されるタスク一覧画面から、実行されたタスクの実行状況や実行履歴を参照することができます。



タスクの表示方法の詳細は、「[11. タスク](#)」を参照してください。

2

ユーザー認証と操作権限

サービスポータルユーザー認証と操作権限について説明します

2.1 ログインとログアウト

2.1.1 ログイン手順

ログインする手順を次に示します。

1. Web ブラウザーを起動して、サービスポータル URL にアクセスします。
2. ログイン画面で、[ユーザー ID] と [パスワード] を入力したあと、[ログイン] ボタンをクリックします。

[ユーザー ID] と [パスワード] には 1～255 バイトの任意文字列（文字種チェックなし）を指定可能です。なお、[ユーザー ID] にはユーザーごとに割り当てられたユーザー ID を指定します。



ログイン画面に表示する各エリアの説明を以下に示します。

項目	説明
通知エリア	システムメンテナンスによるサービス停止など、サービス提供元からのお知らせが表示されます。
エラー詳細エリア	ログイン画面を表示した直後はこのエリアは表示されません。 ログインに失敗したときにこのエリアが表示され、エラーの詳細が表示されます。

3. ログインに成功すると、以下のメイン画面が表示されます。



メイン画面の構成を以下に示します。

画面	説明
共通	<p>画面上部で共通的な以下の機能を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> お知らせの表示（[お知らせ] ボタン） 用語集の表示（[ヘルプ（V01-10 以前は用語集）] ボタン） フィードバックの送信（[ヘルプ] ボタン）（V01-11 以降） ログインユーザーの情報表示（[現在のユーザー] で示されたユーザー ID のリンク） ログインユーザーのパスワード変更（[パスワード変更] ボタン） ログアウト（[ログアウト] ボタン）
JP1	<p>JP1 関連の以下機能を提供します。接続ホストの表示、切り替え以降の機能は、提供されるホストごとに切り替えて表示できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> プラットフォーム ネットワーク 接続ホストの表示、切り替え 利用状況 JP1 管理基盤 ジョブスケジューラー ファイル 専用ストレージ（V01-12 以降）
タスク	タスク表示の機能を提供します。
管理	<p>ユーザー管理とログ管理の機能を提供します。</p> <p>ログインユーザーが、チーム管理者またはポータル管理者のときに表示されます。</p>

補足事項

- Web ブラウザーの設定で、アクセス先のサーバーである Web サイトを [信頼済みサイト] に追加してください。また、[信頼済みサイト] に「about:blob」を追加してください。追加の際、Internet Explorer では [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする] のチェックを外す必要があります。

- 日時（最終更新日時など）の表示は、Web ブラウザーの環境に応じて表示されます。日時の説明の中でタイムゾーンが指定されている場合は、そのタイムゾーンで表示されます。

2.1.2 ログアウト手順

ログアウトする場合は、メイン画面の右上の［ログアウト］ボタンをクリックします。ログアウトすると、ログイン画面が表示されます。

2.2 サービスポータルユーザー

2.2.1 ユーザー ID について

ユーザー ID は以下の仕様になります。ローマ字小文字の姓と名をピリオドでつなぎます。重複時は前 0 なしの 2 からの連番を付与します。

<ローマ字姓(小文字)>.<ローマ字名(小文字)>×2からの連番(重複時のみ。前0なし)>

サービスポータルからユーザーを新規作成した場合、入力情報のローマ字姓およびローマ字名から ID を自動生成して登録します。

2.2.2 パスワードについて

ユーザーは新規登録時に固定の初期パスワードを与えられ、サービスポータルへの初回ログイン時にパスワードを変更後、サービスポータルをご利用いただけます。作成したユーザーや初期パスワードの利用者への通知は、チーム管理者またはポータル管理者（ユーザーを作成した管理者）が適切な手段で通知を行ってください。また、利用者が変更後のパスワードを忘れてしまった場合などを考慮し、チーム管理者およびポータル管理者向けに、指定したユーザーのパスワードを初期パスワードにリセットする機能を提供します。

2.2.3 ユーザーのロックアウトについて

ログインするユーザーは、サービスのパスワードポリシーに基づいて、6 回以上間違ったパスワードを入力するとアカウントがロックアウトされます。ロックアウトされると、30 分経過するまでログイン不可の状態となります。このロックアウトをサービスポータルから解除いただくために、チーム管理者およびポータル管理者向けに、指定したユーザーのロックを解除する機能を提供します。

2.3 ログインユーザーの情報表示

ログインユーザーの詳細情報は、メイン画面の右上の「現在のユーザー」で示されたユーザー ID のリンクをクリックすると表示されます。

表示する項目と説明を以下に示します。

ユーザー詳細

ユーザー情報

ユーザーID:

sample.user

チーム名:

ポータル

氏名:

サンプル ユーザー

ローマ字氏名:

sample user

権限:

利用者

環境利用設定

接続ホストの権限設定:

マネージャーホスト名	環境種別	設定
ajs-mgr99.98.jp1-cld.local	本番環境	利用しない
im-mgr99.98.jp1-cld.local	本番環境	利用しない
ajs-mgr99.99.jp1-cld.local	開発環境	管理
im-mgr99.99.jp1-cld.local	開発環境	参照

ネットワークの権限設定:

環境種別	設定
本番環境	利用しない
開発環境	利用する

閉じる

注意

Web ブラウザーの表示倍率によっては、接続ホストの権限設定およびネットワークの権限設定の表右部に縦スライドバーが表示されることがあります。操作や動作に影響はありません。

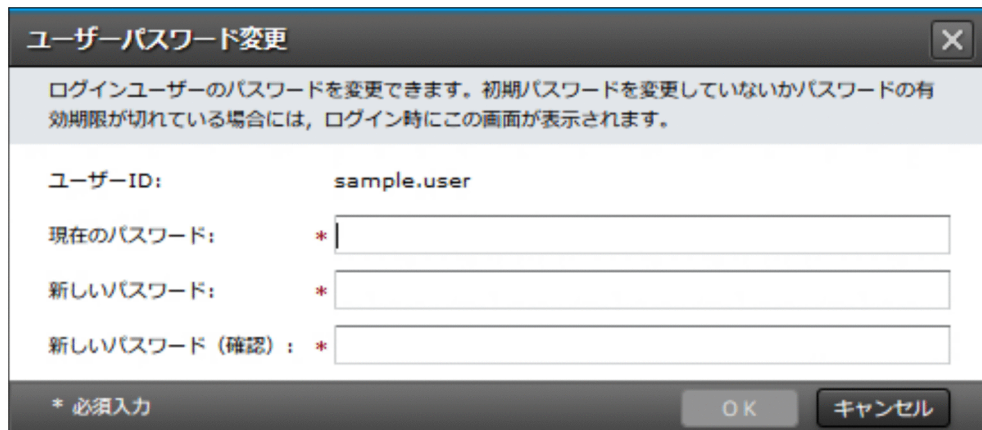
カテゴリ	項目	説明
ユーザー情報	ユーザー ID	ユーザーごとに割り当てられたユーザー ID が表示されます。
	チーム名	ユーザーが所属するチーム名が表示されます。
	氏名	ユーザーの氏名が以下の形式で表示されます。 形式 姓△名 (凡例) △：半角空白
	ローマ字氏名	ローマ字氏名が表示されます。
	権限	サービスポータルでのユーザーの権限が表示されます。 <ul style="list-style-type: none">利用者チーム管理者

カテゴリ	項目	説明
ユーザー情報	権限	<ul style="list-style-type: none"> ポータル管理者
環境利用設定	接続ホストの権限設定	<p>提供されるホストごとに設定されている権限を表示します。権限は以下のどれかが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用しない 参照 運用 管理
	ネットワークの権限設定	<p>提供される環境種別ごとに設定されているネットワークの権限を表示します。以下のどれかが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用しない 利用する

2.4 ログインユーザーのパスワード変更

ログインユーザーのパスワード変更は、メイン画面の右上の［パスワード変更］ボタンから行います。［パスワード変更］ボタンをクリックすると表示される以下のダイアログから変更を実施してください。

入力項目には 1～255 バイトの任意文字列（文字種チェックなし）を指定可能です。



ユーザーパスワード変更

ログインユーザーのパスワードを変更できます。初期パスワードを変更していないかパスワードの有効期限が切れている場合には、ログイン時にこの画面が表示されます。

ユーザーID: sample.user

現在のパスワード: *

新しいパスワード: *

新しいパスワード (確認): *

* 必須入力

OK キャンセル

新しいパスワードは、サービスのパスワードポリシーを満たしている必要があります。パスワードポリシーの詳細は「[12.1.9 ユーザー管理ポリシーに関する注意事項](#)」を参照してください。

2.5 提供する機能とユーザーの権限の関係

ユーザーの権限には、以下の種類があります。

ポータルの権限は、提供されるサービスポータル上の権限になります。

接続ホストごとの権限は、JP1 関連の機能について、サービスから提供されるホストごとに設定できる権限になります。

ネットワークの権限は、ネットワーク関連の機能について、サービスから提供される環境種別ごとに設定できる権限になります。

カテゴリ	権限の種類	説明
ポータルの権限	ポータル管理者	サービスポータルの管理者権限があります。
	チーム管理者	サービスポータルのチーム管理者権限があります。
	利用者	サービスポータルの利用者権限があります。
接続ホストごとの権限	管理	対象ホストについて利用でき、管理権限があります。
	運用	対象ホストについて利用でき、運用権限があります。
	参照	対象ホストについて利用でき、参照権限があります。
	利用しない	対象ホストについて利用できません。
ネットワークの権限	利用する	対象の環境種別に対してネットワーク関連の操作を実施できます。
	利用しない	対象の環境種別に対してネットワーク関連の操作は実施できません。

提供する機能とユーザーの権限の関係を以下に示します。

「ポータルの権限」と「接続ホストごとの権限」および「ネットワークの権限」を足し合わせたものが、そのユーザーでできることになります。

権限がない機能については、非表示や非活性となり、操作できません。

サービスポータルの機能		ユーザー権限									備考
		ポータルの権限			接続ホストごとの権限				ネットワークの権限		
		ポータル管理者	チーム管理者	利用者	管理	運用	参照	利用しない	利用する	利用しない	
ユーザー認証と操作権限	ログインとログアウト	○	○	○	■	■	■	■	■	■	
	ログインユーザーの情報表示	○	○	○	■	■	■	■	■	■	
	ログインユーザーのパスワード変更	○	○	○	■	■	■	■	■	■	
プラットフォーム	提供するファイルの表示, ダウンロード	○	○	○	■	■	■	■	■	■	
	マネージャーの表示	■	■	■	○	○	○	—	■	■	
	マネージャーからのジョブ定義のエクスポート	■	■	■	○	○	—	—	■	■	
	マネージャーへのジョブ定義のインポート	■	■	■	○	○	—	—	■	■	
ネットワーク	ルートの表示	■	■	■	■	■	■	■	○	—	
	ルートの追加	■	■	■	■	■	■	■	○	—	
	ルートの削除	■	■	■	■	■	■	■	○	—	

サービスポータルの機能		ユーザー権限									備考
		ポータルの権限			接続ホストごとの権限				ネットワークの権限		
		ポータル管理者	チーム管理者	利用者	管理	運用	参照	利用しない	利用する	利用しない	
接続ホストの表示, 切り替え	操作対象ホストの表示, 切り替え	■	■	■	○	○	○	－	■	■	
利用状況	メトリクスの表示	■	■	■	○	○	○	－	■	■	
	アラームの表示 (V01-11以降)	■	■	■	○	○	○	－	■	■	
	アラームの設定 (V01-11以降)	■	■	■	○	○	－	－	■	■	
JP1 管理基盤	JP1 ユーザーの表示	■	■	■	○	○	○	－	■	■	
	JP1 ユーザーの新規作成	■	■	■	○	－	－	－	■	■	
	JP1 ユーザーの編集	■	■	■	○	－	－	－	■	■	
	JP1 ユーザーの削除	■	■	■	○	－	－	－	■	■	
	JP1 ユーザーのパスワード変更	■	■	■	○	○	－	－	■	■	
	hosts 情報の表示	■	■	■	○	○	○	－	■	■	
	hosts 情報の新規登録	■	■	■	○	－	－	－	■	■	

サービスポータルの機能		ユーザー権限									備考
		ポータルの権限			接続ホストごとの権限				ネットワークの権限		
		ポータル 管理者	チーム 管理者	利用者	管理	運用	参照	利用し ない	利用 する	利用し ない	
ジョブ スケ ジュー ラー	実行エー ジェント の表示	■	■	■	○	○	○	－	■	■	
	実行エー ジェント の新規 作成	■	■	■	○	－	－	－	■	■	
	実行エー ジェント の編集	■	■	■	○	△	－	－	■	■	※1
	実行エー ジェント の削除	■	■	■	○	－	－	－	■	■	
ファイル	ログの 表示	■	■	■	○	○	○	－	■	■	
	ログのエ クスポー ト、ダウ ンロード	■	■	■	○	○	○	－	■	■	
	ホストに 紐づく ファイル の表示、 ダウン ロード	■	■	■	○	○	○	－	■	■	
専用スト レージ	ユーザー ファイル の表示 (V01-12 以降)	■	■	■	○	○	○	－	■	■	
	ユーザー ファイル のアップ ロード (V01-12 以降)	■	■	■	○	○	－	－	■	■	
	ユーザー ファイル	■	■	■	○	○	○	－	■	■	

サービスポータルの機能		ユーザー権限									備考
		ポータルの権限			接続ホストごとの権限				ネットワークの権限		
		ポータル 管理者	チーム 管理者	利用者	管理	運用	参照	利用し ない	利用 する	利用し ない	
専用ストレージ	のダウンロード (V01-12以降)	■	■	■	○	○	○	－	■	■	
	ユーザーファイルの削除 (V01-12以降)	■	■	■	○	○	－	－	■	■	
	ユーザーファイル用ディレクトリ作成 (V01-12以降)	■	■	■	○	○	－	－	■	■	
	ユーザーファイルのコピー (V01-12以降)	■	■	■	○	○	－	－	■	■	
	ユーザーファイルの移動・名前変更 (V01-12以降)	■	■	■	○	○	－	－	■	■	
	ユーザーファイルの権限変更 (V01-12以降)	■	■	■	○	○	－	－	■	■	
タスク	タスク表示	○	○	○	■	■	■	■	■	■	※2
ユーザー管理	ユーザーの表示	○	△	－	■	■	■	■	■	■	※3

サービスポータルの機能		ユーザー権限									備考
		ポータルの権限			接続ホストごとの権限				ネットワークの権限		
		ポータル管理者	チーム管理者	利用者	管理	運用	参照	利用しない	利用する	利用しない	
ユーザー管理	ユーザーの新規作成	○	△	－	■	■	■	■	■	■	※3
	ユーザーの編集	○	△	－	■	■	■	■	■	■	※3
	ユーザーの削除	○	△	－	■	■	■	■	■	■	※3
	アカウントのロック解除	○	△	－	■	■	■	■	■	■	※3
	パスワードのリセット	○	△	－	■	■	■	■	■	■	※3
	チームの表示	○	△	－	■	■	■	■	■	■	※3
	チームの新規作成	○	－	－	■	■	■	■	■	■	
	チームの編集	○	－	－	■	■	■	■	■	■	
	チームのメンバー変更	○	－	－	■	■	■	■	■	■	
	チームの削除	○	－	－	■	■	■	■	■	■	
ログ管理	管理者向けログの表示	○	－	－	■	■	■	■	■	■	
	管理者向けログのエクスポート、ダウンロード	○	－	－	■	■	■	■	■	■	
その他, 共通	お知らせの表示	○	○	○	■	■	■	■	■	■	

サービスポータル の機能		ユーザー権限									備考
		ポータル権限			接続ホストごとの権限				ネットワークの権限		
		ポータル 管理者	チーム 管理者	利用者	管理	運用	参照	利用し ない	利用 する	利用し ない	
その他, 共通	用語集の表示	○	○	○	■	■	■	■	■	■	
	フィードバックの送信 (V01-11以降)	○	○	○	■	■	■	■	■	■	

(凡例)

- ：表示・操作できる。
- △：一部操作できる。
- －：表示・操作できない。
- ：他の権限により制御される。

注※1

運用権限では、ジョブの受付配信制限の状態だけを変更できます。

注※2

チーム管理者と利用者は、ログインユーザー自身が実行したタスクだけ表示できます。

注※3

チーム管理者は、自身が所属するチームの情報表示とチームのメンバーに対するユーザー操作だけを実行できます。ただし、ポータル管理者に対する操作（編集・削除・ロック解除・パスワードリセット）は実行できません。

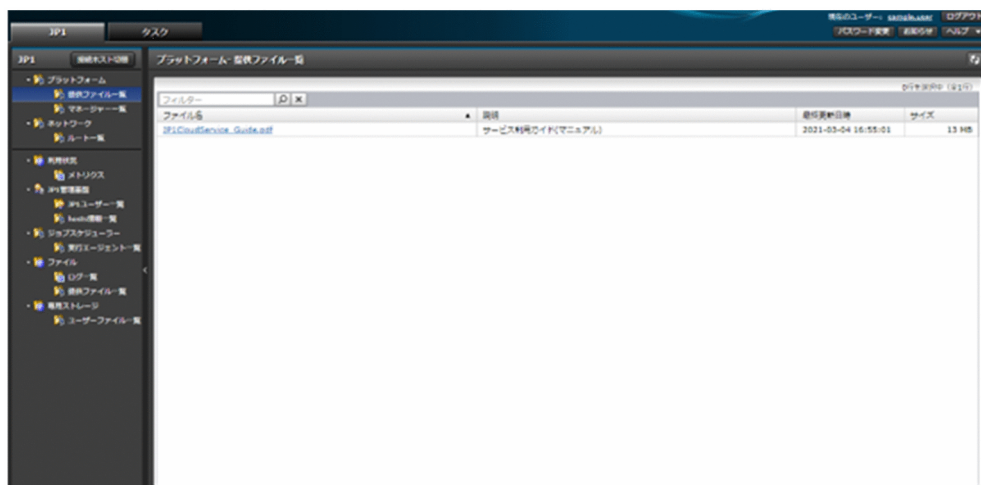
3

プラットフォーム

プラットフォームのメニューで提供する機能について説明します。

3.1 提供ファイル一覧

[JP1] 画面のナビメニュー [プラットフォーム] - [提供ファイル一覧] を選択すると、提供ファイル一覧画面が表示されます。



3.1.1 一覧表示

サービスから共通的に提供するファイルを表示して、ダウンロードできます。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
ファイル名	ファイル名が表示されます。 ファイル名のリンクをクリックすると、ファイルをダウンロードできます。
説明	ファイルの説明が表示されます。
最終更新日時	ファイルの最終更新日時が表示されます。
サイズ	ファイルのサイズが表示されます。

3.2 マネージャー一覧

[JP1] 画面のナビメニュー [プラットフォーム] - [マネージャー一覧] を選択すると、マネージャー一覧画面が表示されます。



3.2.1 一覧表示

サービスで提供されるマネージャーホストの情報を表示できます。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
[チェックボックス]	操作対象を示すチェックボックスです。
マネージャーホスト名	ログインユーザーが利用できるマネージャーホスト名が表示されます。マネージャーホスト名のリンクをクリックすると、マネージャーホストの詳細情報を参照することができます。
ステータス	マネージャーの状態が表示されます。 登録済 登録が完了している状態です。 操作中 変更操作により、操作中の状態です。 ステータスが操作中の場合、そのマネージャーホストを選択したときに各操作ボタンが非活性になり、それらの操作を行うことができません。 なお、操作中は他ステータスより優先して表示されます。
マネージャー種別	マネージャーホストの種別が表示されます。 ジョブスケジューラー JP1/Automatic Job Management System 3 のことです。

項目	説明
マネージャー種別	統合オペレーション JP1/Integrated Management 2 のことです。
環境種別	マネージャーホストの環境種別（開発環境、本番環境など）が表示されます。
説明	マネージャーホストの説明が表示されます。

3.2.2 詳細表示

サービスで提供されるマネージャーホストの詳細情報を表示できます。

マネージャー一覧画面から、対象のマネージャーホストの名前のリンクをクリックすると、詳細表示のダイアログが起動します。

表示する項目と説明を以下に示します。



項目	説明
マネージャーホスト名	マネージャーホスト名が表示されます。
マネージャー種別	マネージャーホストの種別が表示されます。 ジョブスケジューラー JP1/Automatic Job Management System 3 のことです。 統合オペレーション JP1/Integrated Management 2 のことです。
環境種別	マネージャーホストの環境種別（開発環境、本番環境など）が表示されます。
認証サーバー名	マネージャーホストの認証サーバー名が表示されます。
関連する Web ページ	関連する Web ページの URL がリンク付きで表示されます。
説明	マネージャーホストの説明が表示されます。

3.2.3 ジョブ定義のエクスポート

JP1/AJS3（ジョブスケジューラー）のマネージャーからジョブ定義をエクスポートできます。

マネージャー一覧画面から、対象のマネージャーを1つ選択して「ジョブ定義エクスポート」ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し、「実行」ボタンをクリックしてエクスポートします。

複数選択した場合やステータスが操作中のマネージャーを選択した場合、またはマネージャー種別が「ジョブスケジューラー」以外の場合、「ジョブ定義エクスポート」ボタンが非活性となり、操作できません。

注意事項

- ジョブ定義のエクスポートを行う際は、対象のすべてのユニットの所有者が空白指定になっていないことを確認してください。所有者が空白指定の場合、インポート先のマネージャーホスト上で正しく定義されない場合があります。

ジョブ定義のエクスポート

ジョブ定義をエクスポートします。必要事項を入力してください。

マネージャーホスト名:

ajs-mgr99.99.jp1-cld.local

ユニット名:

*

スケジューラーサービス名:

*

公開先ホスト *

☐

マネージャーホスト名

▲

環境種別

説明

☐

ajs-mgr99.98.jp1-cld.local

本番環境

サンプルです。

☐

ajs-mgr99.99.jp1-cld.local

開発環境

-

定義ファイル名のサフィックス:

説明:

* 必須入力

実行

キャンセル

項目	説明	指定要否
マネージャーホスト名	選択したマネージャーホスト名が表示されます。	—
ユニット名	<div>定義内容を出力するジョブ名、ジョブネット名、またはジョブグループ名（ユニット名）を入力します。</div> <div>1～930 バイトの任意文字列（以下、使用禁止文字を除く）を指定可能です。</div> <div>ユニット名は先頭スラッシュ（/）の完全名で指定する必要があります。ルートジョブグループからそのユニットまでの名称をスラッシュ（/）で区切って指定したものです。ただし、ルートジョブグループを表す「/」は指定できません。</div> <div>使用禁止文字</div> <div>制御文字および ” ’ ` \$ ” ’ ‘ () , : ; = スペース</div> <div>その他、注意事項</div> <div>任意名を指定する場合に、総称名を表す記号（* ? []）を指定できます。</div>	必須

項目	説明	指定要否
ユニット名	<p>例えば、ジョブネット (/net1) 中にジョブ (job1, job2, job3, job4) が定義されている場合、ジョブネット (/net1) 中のすべてのジョブを操作対象にしたいときは、[/net1/*], [/net1/job?], [/net1/job[1234]] のように指定できます。</p> <p>また、以下の記号は JP1/AJS3 の前製品 (JP1/AJS) からの移行時のために用意されています。</p> <p>& * < > ? [¥] ^ { } ~</p> <p>これらの記号を使用したユニットを指定する場合は、記号の前に「¥」文字を置いてキャストしてください。</p> <p>また、機種依存文字は使用できません。機種依存文字を使用した場合、文字化けするおそれがあります。</p>	必須
スケジューラーサービス名	<p>対象とするスケジューラーサービスのサービス名を入力します。</p> <p>1～30 バイトの半角英数字と以下の記号を指定可能です。</p> <p>使用できる記号</p> <p>! # % + - . _</p>	必須
公開先ホスト	<p>エクスポートしたジョブ定義を公開するマネージャーホストを選択します。権限に関わらずすべてのジョブスケジューラーのマネージャーホストが表示され、複数選択することもできます。</p> <p>選択できるホストの数は、最大 4 つです。</p>	必須
定義ファイル名のサフィックス	<p>エクスポートした定義ファイルにサフィックス（接尾辞）として付与する文字列を入力します。</p> <p>1～128 バイトの半角英数字と以下の記号を指定可能です。</p> <p>使用できる記号</p> <p>! - _ ()</p>	任意
説明	<p>定義ファイルの説明を入力します。</p> <p>1～128 バイトの任意文字列（以下、使用禁止文字を除く）を指定可能です。</p> <p>使用禁止文字</p> <p>制御文字および ” ’ ` \$ ” ’ ‘ ! # % & () * , ; < > ? [¥] ^ { } ~</p>	任意

ジョブ定義エクスポートのタスクが完了すると、公開先ホストとして選択したホストに紐づくファイルとして、ナビメニュー [ファイル] - [提供ファイル一覧] に表示されます。ファイル名は、「ajsjobdef_<タスク ID>_<入力したサフィックス>.zip」(例：ajsjobdef_0000000001_sample.zip) です。ただし、サフィックスを指定しなかった場合、サフィックス前のアンダーバー (_) 含めてファイル名には入りません。

zip ファイル中に格納されているジョブ定義のファイル名を以下に示します。

項目	ファイル名	ファイル名の例
ジョブ定義	ajsjobdef_<タスク ID>_<入力したサフィックス※>.txt	ajsjobdef_0000000001_sample.txt

項目	ファイル名	ファイル名の例
ジョブ定義	<p>注※</p> <p>サフィックスを指定しなかった場合、サフィックス前のアンダーバー (_) 含めてファイル名には入りません。</p>	ajsjobdef_0000000001_sample.txt

エクスポートしたジョブ定義の保管期間は 90 日です。最終更新日時（エクスポートした日時）から 90 日を経過したジョブ定義は削除されます。

また、ジョブ定義（ユニット定義ファイル）の出力形式などの内容は、JP1/Automatic Job Management System 3 のマニュアルを参照してください。文字コードは UTF-8、改行コードは LF です。

3.2.4 ジョブ定義のインポート

JP1/AJS3（ジョブスケジューラー）のマネージャーにジョブ定義をインポートできます。

マネージャー一覧画面から、対象のマネージャーを 1 つ選択して [ジョブ定義インポート] ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに必要な情報を入力して内容に誤りがないことを確認（チェック）し、[実行] ボタンをクリックしてインポートします。

複数選択した場合やステータスが操作中のマネージャーを選択した場合、またはマネージャー種別が「ジョブスケジューラー」以外の場合、[ジョブ定義インポート] ボタンが非活性となり、操作できません。

注意事項

- ユニットの定義中にエラーが発生した場合、定義中のユニットを削除し、タスクはエラーで終了します。強制更新する場合、更新対象のユニットを定義したあとにエラーが発生すると、更新対象のユニットが削除された状態でタスクはエラーで終了します。
- ジョブグループやジョブネットを強制更新しても、強制的に更新したジョブグループを参照しているジョブネットや、強制的に更新したジョブネットを排他スケジュールに指定しているジョブネットのスケジュールは再計算されません。
- ユニットの強制更新すると、計画実行登録または未来世代数を指定して確定実行登録したジョブネットが「閉塞」状態になったり、実行予定が作成されなかったりするおそれがあります。対象は、更新するジョブグループを「他のジョブグループのカレンダーを参照する」に指定したジョブネット、更新するジョブネットを「排他スケジュール」に指定したジョブネットです。この場合、計画実行登録または確定実行登録したジョブネットを登録解除したあと、強制更新を指定してインポートを実行してください。
- 定義先ユニット名に指定したジョブネットが「実行登録中でありサスペンド状態でない」または「JP1/AJS3 - View 上で排他編集されている」場合、タスクはエラーで終了します。
- ジョブネットの中にジョブグループを定義できません。
- ジョブ、マネージャージョブグループ、およびマネージャージョブネットにはユニットを定義できません。

- ・ 実行登録済みのルートジョブネットの情報や、そのルートジョブネットを含むジョブグループおよびプランニンググループの情報は更新できません。
- ・ 実行登録済みのジョブネット、そのジョブネットの上位、そのジョブネット中、およびそのジョブネットの下位には、ユニットを定義できません。ただし、ルートジョブネット、そのルートジョブネットを含むジョブグループ、およびリモートジョブネット以外のユニットの場合、操作対象のジョブネットをサスペンド状態にしておいてインポートすれば、ジョブネットの実行登録を解除しなくても、情報を更新できます（操作対象のユニットが実行中の場合、情報は更新できません）。
- ・ 定義先ユニット名に指定したジョブネットがサスペンド状態変更処理中の場合、タスクはエラーで終了します。
- ・ ジョブネットの中にプランニンググループを定義できません。
- ・ プランニンググループの中にはジョブネット、リモートジョブネット以外のユニットを定義できません。
- ・ ジョブネットを定義する際、ユニットの実行順序の整合性はチェックしません。ユニットの実行順序がループするように関連づけたジョブネット、または従属ユニットが関連づけられていない判定ジョブは、実行時に「順序不正」でエラーになります。
- ・ リリース登録されているルートジョブネット（リリース先ジョブネット）にユニットを定義した場合は、「適用中」状態のジョブネット定義中に定義されます。
- ・ リリース登録されているルートジョブネット（リリース先ジョブネット）には、ジョブネットコネクタおよび起動条件は定義できません。
- ・ 定義するユニットにウィンドウ上の位置を指定しなかった場合、JP1/AJS3 - View の [ジョブネットエディタ] ウィンドウの左上から右下方向にかけて空いている場所に自動的に配置されます。

項目	説明	指定要否
マネージャーホスト名	選択したマネージャーホスト名が表示されます。	—
定義先ユニット名	ジョブ定義（ユニット）の定義先となる、ジョブグループ名、またはジョブネット名を入力します。 1～930 バイトの任意文字列（以下、使用禁止文字を除く）を指定可能です。	必須

3. プラットフォーム

項目	説明	指定要否
定義先ユニット名	<p>ユニット名は先頭スラッシュ (/) の完全名で指定する必要があります。ルートジョブグループからそのユニットまでの名称をスラッシュ (/) で区切って指定したものです。</p> <p>使用禁止文字 制御文字および ” ’ ` \$ ” ’ ‘ () , : ; = スペース</p> <p>その他, 注意事項 機種依存文字は使用できません。機種依存文字を使用した場合, 文字化けするおそれがあります。</p>	必須
スケジューラーサービス名	<p>対象とするスケジューラーサービスのサービス名を入力します。 1~30 バイトの半角英数字と以下の記号を指定可能です。</p> <p>使用できる記号 ! # % + - . _</p>	必須
定義ファイル	<p>インポートに使用できる定義ファイルが表示されます。使用するジョブ定義のファイルを1つ選択します。</p> <p>表示される定義ファイルは, ジョブ定義エクスポートにより出力したプレフィックス「ajsjobdef_」のファイルで, 選択したマネージャーホストに公開されているファイルだけが表示されます。</p>	必須
強制更新	<p>ユニットの定義先に, 定義ファイルに記述されているユニットと同一名称のユニットがある場合でも, 強制的に更新（強制的に更新するユニットおよびその配下ユニットを削除してから, 定義ファイルに記述されているユニットを作成）するかどうかを選択します。</p> <p>デフォルトは「しない」が選択されています。</p> <p>なお, 定義ファイル中の記述で, 同一階層に同一名称のユニット名の指定がある場合は, タスクはエラーで終了します。</p>	必須

なお, 対象のジョブネットがサスペンド状態の場合, 実行登録済みのジョブネットであっても, ネストジョブネットやジョブの定義を更新できます。ただし, ジョブネットがサスペンド状態でも, ルートジョブネットの定義を更新する場合や, ルートジョブネットの定義を含むジョブグループの定義を更新する場合, 実行中のジョブネットの場合は定義の更新は行えません。

また, インポート後のジョブ定義の操作やジョブの実行・リリース登録などは, JP1/AJS3 - View などから実施してください。

4

ネットワーク

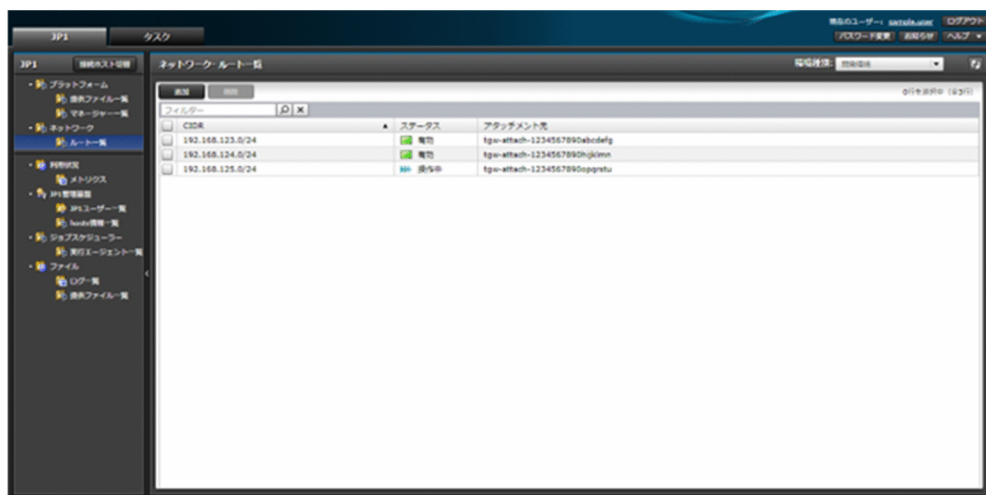
ネットワークのメニューで提供する機能について説明します。

4.1 ルート一覧

[JP1] 画面のナビメニュー [ネットワーク] - [ルート一覧] を選択すると、ルート一覧画面が表示されます。

一覧画面の右の「環境種別」で示されたリストにはログインユーザーに利用権限がある環境種別が表示されます。リストから表示対象の環境種別を選択すると、その環境に設定されているルート（経路）情報が表示されます。デフォルトは何も選択されていません。

お客様環境が Azure の場合、このルート一覧画面で提供する機能は利用できません。ルートの操作が必要な場合には、サービス窓口までお問い合わせください。



4.1.1 一覧表示

サービスで提供されるマネージャーとの通信に利用されるルート（経路）情報を表示できます。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
[チェックボックス]	操作対象を示すチェックボックスです。
CIDR	宛先の CIDR ブロックが表示されます。
ステータス	ルートの状態が表示されます。 有効 ルーティングが有効な状態です。 無効 ルーティングが無効な状態です。 操作中 変更操作により、操作中の状態です。

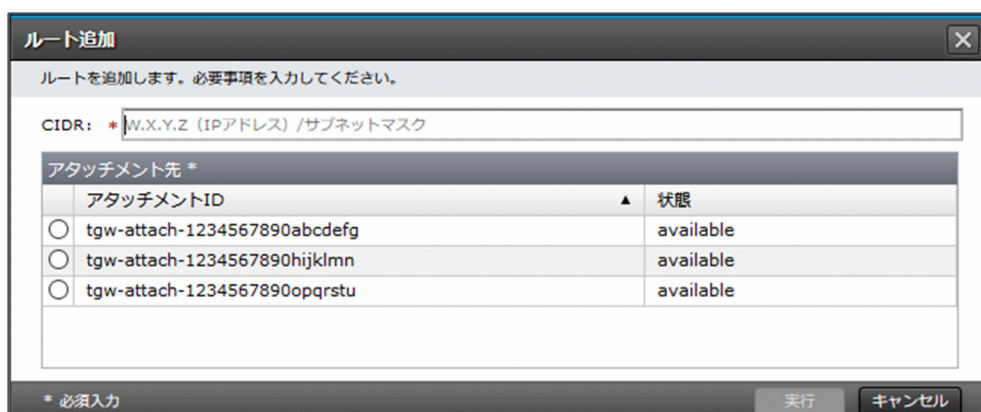
項目	説明
ステータス	ステータスが操作中の場合、その CIDR を選択したときに [削除] ボタンが非活性になり、操作を行うことができません。 なお、操作中は他ステータスより優先して表示されます。
アタッチメント先	アタッチメント先（ルーティング先）の ID が表示されます。AWS の Transit Gateway Attachment ID を意味します。

4.1.2 追加

ルートを追加できます。ルート情報は、サービス側のネットワークからお客様環境のネットワークへの通信のルーティングのために設定が必要になります。

ルート一覧画面から、[追加] ボタンをクリックして起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し、[実行] ボタンをクリックして追加します。

すでに存在する CIDR ブロックのルート情報を複数追加することはできません。



項目	説明	指定要否
CIDR	宛先として追加する CIDR ブロックを以下の形式で入力します。 形式 W.X.Y.Z (IP アドレス) /サブネットマスク W～Z (IP アドレス) は、それぞれ 0～255 の範囲の数字で入力してください。 サブネットマスクは、0～32 の範囲の数字で入力してください。	必須
アタッチメント先	アタッチメント先（ルーティング先）の候補が表示されます。アタッチ先を 1 つ選択します。	必須

4.1.3 削除

ルートを削除できます。

ルート一覧画面から、対象のルートをすべて選択して「削除」ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログで対象に誤りがないことを確認（チェック）し、「実行」ボタンをクリックして削除します。

ステータスが操作中のルートを選択した場合、「削除」ボタンが非活性となり、操作できません。

注意事項

サービスポータル接続元を含むルートを削除する場合、他にサービスポータルに接続できるルート情報があることを確認してください。誤ってサービスポータルとの通信に必要なルートをすべて削除してしまった場合には、サービス窓口までお問い合わせください。



5

接続ホストの表示, 切り替え

[JP1] 画面で提供される JP1 関連の機能は, サービスで提供されるホストごとに切り替えて表示, 操作します。

5.1 切り替え

[JP1] 画面の左のナビ上の「接続ホスト切替」ボタンをクリックすると、切り替え用のダイアログが表示されます。ダイアログで表示・操作対象とするホストを選択して、「切替」ボタンをクリックして切り替えます。



項目	説明
[ラジオボタン]	表示対象を示すラジオボタンです。
マネージャーホスト名	ログインユーザーが利用できるマネージャーホスト名が表示されます。
マネージャー種別	マネージャーホストの種別が表示されます。 ジョブスケジューラー JP1/Automatic Job Management System 3 のことです。 統合オペレーション JP1/Integrated Management 2 のことです。
環境種別	マネージャーホストの環境種別（開発環境、本番環境など）が表示されます。
説明	マネージャーホストの説明が表示されます。

5.2 詳細表示

[JP1] 画面の各一覧右の「接続先ホスト名」で示されたマネージャーホスト名（環境種別）のリンクをクリックすると、現在選択している表示・操作対象ホストの詳細情報が表示されます。



項目	説明
マネージャーホスト名	マネージャーホスト名が表示されます。
マネージャー種別	マネージャーホストの種別が表示されます。 ジョブスケジューラー JP1/Automatic Job Management System 3 のことです。 統合オペレーション JP1/Integrated Management 2 のことです。
環境種別	マネージャーホストの環境種別（開発環境、本番環境など）が表示されます。
認証サーバー名	マネージャーホストの認証サーバー名が表示されます。
関連する Web ページ	関連する Web ページの URL がリンク付きで表示されます。
説明	マネージャーホストの説明が表示されます。

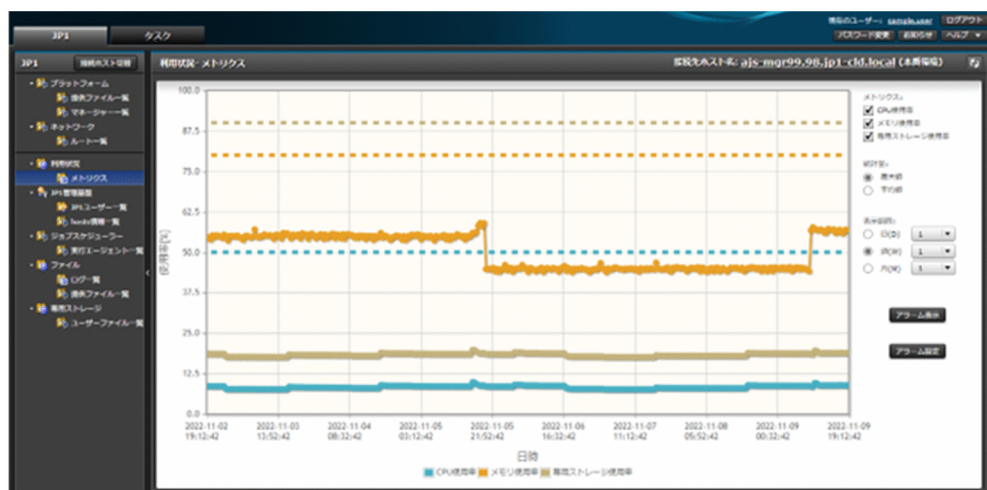
6

利用状況

利用状況のメニューで提供する機能について説明します。

6.1 メトリクス

[JP1] 画面のナビメニュー [利用状況] - [メトリクス] を選択すると、メトリクス画面が表示されます。



6.1.1 メトリクス表示

マネージャーの CPU 使用率やメモリ使用率等の利用状況（メトリクス）をグラフで表示して確認できます。

グラフの表示項目の説明を以下に示します。

項目	説明
使用率	グラフの縦軸の値を CPU やメモリ等の使用率として、各データポイントを日時ごとにプロットします。使用率の単位は%で、0%から 100%まで固定された範囲を表示します。 なお、表示する各使用率は、1 分に 1 回取得した使用率のデータに対する、ある期間中の平均使用率または最大使用率となっています。表示する統計量については、後述する統計量の設定によって変更できます。また、各統計量を算出する期間については、後述するグラフ表示の設定項目で選択された表示範囲によって変化するデータポイント間の解像度に対応しています。
日時	グラフの横軸の値を日時として、各データポイントをプロットします。 日時の表示文字列は yyyy-MM-dd hh:mm:ss 形式で表示し、表示範囲はグラフを表示した時点の時から、後述するグラフ表示の設定項目で選択した表示範囲の日数分を遡った範囲を表示します。
凡例	グラフ下部に、表示している CPU 使用率やメモリ使用率等のグラフの凡例を表示します。グラフ内のデータポイントの色は、凡例の色に対応します。
ハイライト	各データポイント上にマウスポインタをホバーすることで、データポイントの日時及び使用率が詳細表示されます。表示形式は、日時<改行>使用率です。
しきい値 (V01-11 以降)	CPU 使用率やメモリ使用率等に対して設定されたしきい値がグラフ上の直線として表示されます。しきい値は [アラーム設定] ボタンから設定できます。アラームの設定が未設定または状態が無効の場合、グラフ上には表示されません。

グラフに表示する CPU 使用率やメモリ使用率等のといったメトリクスの種別と、表示する期間の範囲を、グラフ右の設定項目により変更できます。設定項目と説明を以下に示します。

項目	説明	指定要否
メトリクス	<p>下記のメトリクスの種別の中から、選択したメトリクスが表示されます。</p> <p>初期表示ではすべてのメトリクスが選択されています。</p> <p>CPU 使用率</p> <p>選択しているマネージャーの CPU 使用率がグラフ内に表示されます。折れ線グラフの色は、グラフ下部の凡例の色に対応します。</p> <p>メモリ使用率</p> <p>選択しているマネージャーのメモリ使用率がグラフ内に表示されます。</p> <p>専用ストレージ使用率（V01-12 以降）</p> <p>選択しているマネージャーにマウントされたユーザーファイル専用ストレージの使用率がグラフ内に表示されます。</p>	—
統計量	<p>グラフに表示される使用率は下記の統計量の種類の中から、選択した統計量の使用率が表示されます。初期表示では最大値が選択されています。</p> <p>最大値</p> <p>各データポイント間の最大値が表示されます。</p> <p>平均値</p> <p>各データポイント間の平均値が表示されます。</p>	必須
表示範囲	<p>メトリクスの表示範囲を、現在時刻からの期間として選択します。</p> <p>1 日分から選択でき、最大 90 日分まで選択できます。※</p>	必須

注※

表示範囲項目では、リスト横のラジオボタンに対応する期間単位の選択によって、指定できる表示範囲、各データポイント間の解像度が下記のように設定されます。

期間単位	指定できる表示範囲	解像度
日	1～7 日	10 分
週	1～4 週間	30 分
月	1～3 ヶ月 (1 ヶ月=30 日)	120 分

6.1.2 アラームの表示（V01-11 以降）

「アラーム」とは各マネージャーのメトリクス（CPU 使用率、メモリ使用率等）の状態を簡易的に監視し、稼働状況を受動的に把握するための概念になります。各マネージャーのメトリクスに対して、「しきい値」

および「持続時間」を設定しアラーム設定を有効化することで、メトリクス値が「しきい値」を超過しているかどうか 1 分間隔で評価し始めます。

メトリクス値が「しきい値」を「持続時間」分超過していたと評価されたときに「アラーム発生」状態となります。また「持続時間」の中で 1 度でも「しきい値」を下回ったと評価された場合には、「アラーム解消」状態となります（なお、評価対象のデータポイントも 1 分間隔の解像度となっています）。

ポータルでは「アラーム発生」状態および「アラーム解消」状態にそれぞれ変化した時点を契機に、アラームの設定対象としたマネージャー上で JP1 イベントを発行します。ポータルから発行する JP1 イベントの形式について以下に示します。なお、JP1 イベントのメッセージ内の時刻のタイムゾーンは JST です。

発行契機	イベント ID	拡張属性	メッセージ形式
アラーム発生時	アラームの設定機能により設定されたイベント ID が指定されます。	SEVERITY アラームの設定機能により設定された重大度の値で発行されます。	[ホスト名] 対象メトリクス表示名がしきい値(しきい値%)を超過しました。(時刻=アラーム発生時刻 (YYYY/MM/DD HH:MM:SS))
アラーム解消時		JP1CS_PORTAL_ALARM_NOTICE_TYPE サービス専用の拡張属性です。値は「Forward」が設定されます。	[ホスト名] 対象メトリクス表示名がしきい値(しきい値%)を下回りました。(時刻=アラーム解消時刻 (YYYY/MM/DD HH:MM:SS))

アラームの表示機能では、各メトリクスに対して設定したアラームの詳細情報を表示できます。

メトリクス画面から、[アラーム表示] ボタンをクリックすると、アラームの表示ダイアログが起動します。

表示する項目と説明を以下に示します。

アラームの表示

アラームの詳細を表示します。

対象ホスト名:

ajs-mgr99.99.jp1-cld.local

対象メトリクス:

CPU使用率

アラーム設定の状態:

有効

しきい値[%]:

80

持続時間[分]:

5

アラーム発生時のJP1イベント設定:

イベントID:

7FFFFFFF

重大度:

警告

アラーム解消時のJP1イベント設定:

イベントID:

7FFFFFFF

重大度:

情報

* 必須入力

キャンセル

項目	説明
対象ホスト名	参照するアラームを設定中のホスト名が表示されます。 表示名はメトリクス表示画面にて選択中のホスト名となります。
対象メトリクス	アラームの表示対象のメトリクスを選択します。 選択を切り替える度、現在の設定内容がダイアログ内に表示されます。 CPU 使用率 アラームの表示ダイアログでの対象が CPU 使用率のメトリクスになります。 メモリ使用率 アラームの表示ダイアログでの対象がメモリ使用率のメトリクスになります。 専用ストレージ使用率（V01-12 以降） アラームの表示ダイアログでの対象が専用ストレージ使用率のメトリクスになります。
アラーム設定の状態	参照するアラームに設定中の状態が表示されます。なお、アラーム未設定の状態では「-」が表示されます。 有効 アラーム設定が有効な状態です。有効な場合、しきい値を持続時間分超えた場合に JP1 イベントが発行されるようになります。 無効 アラーム設定が無効な状態です。無効な場合、JP1 イベントの発行が抑止されます。
しきい値	参照するアラームに設定中のしきい値が表示されます。なお、アラーム未設定の状態では「-」が表示されます。
持続時間	参照するアラームに設定中の持続時間が表示されます。なお、アラーム未設定の状態では「-」が表示されます。
イベント ID	参照するアラームの発生時および解消時に発行される JP1 イベントのイベント ID がそれぞれ表示されます。なお、アラーム未設定の状態では「-」が表示されます。
重大度	参照するアラームの発生時および解消時に発行される JP1 イベントの重大度（SEVERITY）がそれぞれ表示されます。なお、アラーム未設定の状態では「-」が表示されます。

6.1.3 アラームの設定（V01-11 以降）

各メトリクスに対して、しきい値以上の値となったときにアラームを発生させる設定ができます。アラーム発生時および解消時には、しきい値を超過したマネージャー上にて JP1 イベントが発行されます。

メトリクス画面から、[アラーム設定] ボタンをクリックして起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し、[実行] ボタンをクリックして設定します。

選択中のマネージャーで 1 つのメトリクスにつき 1 つのアラームのみ設定可能です。アラームの設定タスクを実行中のメトリクスに対して設定しようとした場合、[実行] ボタンが非活性となり、操作できません。

また、1 度作成したアラームの設定内容は削除されず、設定内容が保持されます。削除相当の操作として、アラーム発生時の JP1 イベントの発行を抑えたい場合には、アラーム設定の状態を「無効」に設定してください。

アラームの設定

アラームを対象メトリクスごとに設定します。必要事項を入力してください。アラームを無効化したい場合は、アラーム設定の状態を無効に設定してください。なお無効状態でも各設定値は記録されます。

対象ホスト名:

ajs-mgr99.99.jp1-cld.local

対象メトリクス:

CPU使用率

アラーム設定の状態:

有効

しきい値[%]:

80

持続時間[分]:

5

アラーム発生時のJP1イベント設定:

イベントID:

7FFFFFFF

重大度:

警告

アラーム解消時のJP1イベント設定:

イベントID:

7FFFFFFF

重大度:

情報

変更する

必須入力

実行

キャンセル

項目	説明	指定要否
対象ホスト名	アラームを設定する対象のホスト名が表示されます。 表示名はメトリクス表示画面にて選択中のホスト名となります。	—
対象メトリクス	アラームを設定する対象のメトリクスを選択します。 設定内容は各メトリクスに対して 1 つのアラームが設定され、選択を切り替える度、現在の設定内容がダイアログ内に表示されます。 CPU 使用率 アラームの設定ダイアログでの設定対象が CPU 使用率のメトリクスになります。 メモリ使用率 アラームの設定ダイアログでの設定対象がメモリ使用率のメトリクスになります。 専用ストレージ使用率（V01-12 以降） アラームの設定ダイアログでの設定対象が専用ストレージ使用率のメトリクスになります。	必須
アラーム設定の状態	表示中のアラーム設定の有効・無効を選択します。 ダイアログ表示時には現在設定中のアラーム設定の状態が表示され、未設定時には無効の状態が表示されます。 有効 アラーム設定を有効にします。これにより、しきい値を持続時間分超えた場合に JP1 イベントが発行されるようになります。	必須

項目	説明	指定要否
アラーム設定の状態	無効 アラーム設定を無効にします。これにより、JP1 イベントの発行が抑止されます。	必須
しきい値	各メトリクスに対するアラームのしきい値を 40%から 100%の間で選択します。 ダイアログ表示時には現在設定中のしきい値が表示され、未設定時にはデフォルト値として 80 が表示されます。	必須
持続時間	各メトリクスに対するアラーム発生を判定するための持続時間を分単位で入力します。 ダイアログ表示時には現在設定中の持続時間が表示され、未設定時にはデフォルト値として 5 が表示されます。 持続時間の入力規則 5～1440 の範囲の整数	必須
イベント ID	アラーム発生時および、アラーム解消時それぞれで発行する JP1 イベントに設定するイベント ID を入力します。 ダイアログ表示時には現在設定中の各イベント ID が表示され、未設定時には未入力状態で表示されます。 イベント ID の入力規則 8 桁までの 16 進数で 0～1FFF, 7FFF8000～7FFFFFFF の範囲	必須
重大度	アラーム発生時および、アラーム解消時それぞれで発行する JP1 イベントの拡張属性である重大度（SEVERITY）を選択します。 ダイアログ表示時には現在設定中の各重大度が表示され、未設定時には未選択の状態が表示されます。 緊急 重大度として緊急（Emergency）を設定します。 警戒 重大度として警戒（Alert）を設定します。 致命的 重大度として致命的（Critical）を設定します。 エラー 重大度としてエラー（Error）を設定します。 警告 重大度として警告（Warning）を設定します。 情報 重大度として情報（Information）を設定します。 通知 重大度として通知（Notice）を設定します。 デバッグ 重大度としてデバッグ（Debug）を設定します。	必須

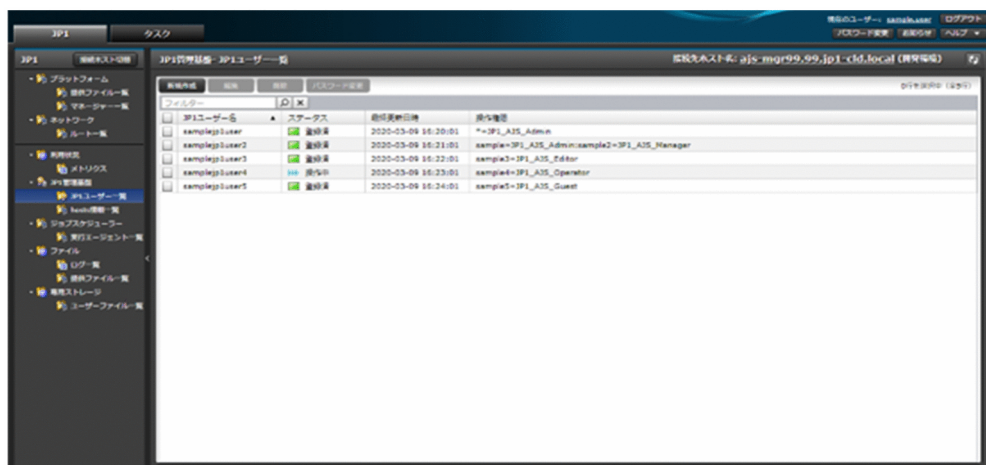
7

JP1 管理基盤

JP1 管理基盤のメニューで提供する機能について説明します。

7.1 JP1 ユーザー一覧

[JP1] 画面のナビメニュー [JP1 管理基盤] - [JP1 ユーザー一覧] を選択すると、JP1 ユーザー一覧画面が表示されます。



7.1.1 一覧表示

JP1 ユーザーの情報を表示できます。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
[チェックボックス]	操作対象を示すチェックボックスです。
JP1 ユーザー名	JP1 ユーザー名が表示されます。
ステータス	JP1 ユーザーの状態が表示されます。 登録済 登録が完了している状態です。 操作中 変更操作により、操作中の状態です。 ステータスが操作中の場合、その JP1 ユーザーを選択したときに [編集]・[削除]・[パスワード変更] ボタンが非活性になり、それらの操作を行うことができません。 なお、操作中は他ステータスより優先して表示されます。
最終更新日時	最終更新日時が表示されます。最終更新日時は、JP1 ユーザーを登録した日時またはパスワードを変更した日時です。 作成中の場合は、「-」が表示されます。 なお、タイムゾーンは JST になります。
操作権限	JP1 資源グループに対する操作権限が以下の形式で表示されます。

項目	説明
操作権限	<p>形式</p> <p>JP1 資源グループ=JP1 権限レベル:JP1 資源グループ=JP1 権限レベル:...</p> <p>JP1 資源グループに対する JP1 権限レベルが複数ある場合は、コンマ(,)で区切って表示されます。</p>

7.1.2 新規作成

JP1 ユーザーを新規に作成できます。

JP1 ユーザー一覧画面から、[新規作成] ボタンをクリックして起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し、[実行] ボタンをクリックして作成します。

すでに存在する同名の JP1 ユーザーを複数作成することはできません。

JP1ユーザー作成

JP1ユーザーを作成します。必要事項を入力してください。

JP1ユーザー名: *

パスワード: *

パスワード (確認): *

JP1資源グループに対する操作権限 *

JP1資源グループ	操作権限	
	JP1権限レベル,JP1権限レベル,...	入力
	JP1権限レベル,JP1権限レベル,...	入力
	JP1権限レベル,JP1権限レベル,...	入力

追加

削除

* 必須入力

実行

キャンセル

項目	説明	指定要否
JP1 ユーザー名	<p>JP1 ユーザーとして登録したいユーザー名を入力します。</p> <p>1～31 バイトの ASCII 文字列（以下、使用禁止文字を除く）を指定可能です。なお、英字は小文字だけを指定可能です。</p> <p>アンダーバー(_)2つの「_」で始まる名称は、サービス用に予約されているため、指定できません。</p> <p>使用禁止文字</p> <p>制御文字および” ’ ` \$ ” ’ ‘ * / ￥ ^ [] { } () : ; = , + ? < > スペース</p>	必須
パスワード	<p>パスワードを入力します。</p> <p>8～32 バイトの ASCII 文字列（以下、使用禁止文字を除く）を指定可能です。また、パスワードポリシーとして、パスワードに</p>	必須

項目	説明	指定要否
パスワード	<p>は英大文字・英小文字・数字・記号のうち3種類以上を使用する必要があります。</p> <p>確認用の入力項目には、同じパスワードを再度入力してください。</p> <p>使用禁止文字 制御文字および” ’ ` \$ ” ’ ‘ ¥ : スペース</p>	必須
JP1 資源グループに対する操作権限	<p>JP1 資源グループに対する操作権限を JP1 資源グループごとに入力します。</p> <p>[追加] ボタンまたは [削除] ボタンで、入力行を追加または削除できます。</p> <p>指定する JP1 資源グループおよび JP1 権限レベルについては、利用する JP1 の機能（製品）のマニュアルで確認してください。</p> <p>JP1 資源グループの入力規則</p> <ul style="list-style-type: none"> 1～64 バイトの ASCII 文字列 [*] を指定すると、すべての JP1 資源グループにアクセスできるようになります。 使用禁止文字を以下に示します。 制御文字および” ’ ` \$ ” ’ ‘ / ¥ ^ [] { } () : ; = , + ? < > スペース <p>操作権限の入力規則</p> <ul style="list-style-type: none"> 1～512 バイトの ASCII 文字列 形式：JP1 権限レベル, JP1 権限レベル, ... JP1 権限レベルには 1～64 バイトの ASCII 文字列を指定可能です。JP1 権限レベルとして存在しない任意の文字列を指定可能な点に注意してください。V01-11 以降では、既定のリストから選択して入力（追加）することも可能です。入力したものの削除はテキストボックスから行ってください。 使用禁止文字を以下に示します。 制御文字および” ’ ` \$ ” ’ ‘ * / ¥ ^ [] { } () : ; = + ? < > スペース 	最低 1 行は必須

7.1.3 編集

JP1 ユーザーの操作権限を変更できます。

JP1 ユーザー一覧画面から、対象の JP1 ユーザーを 1 つ選択して [編集] ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに表示される情報を変更して内容に誤りがないことを確認（チェック）し、[実行] ボタンをクリックして編集します。

複数選択した場合やステータスが操作中の JP1 ユーザーを選択した場合、[編集] ボタンが非活性となり、操作できません。

JP1ユーザー編集

JP1ユーザーの資源グループと所有する権限を編集します。必要事項を入力してください。

JP1ユーザー名: samplejpuser

JP1資源グループに対する操作権限 *

JP1資源グループ	操作権限	
*	JP1_AJS_Admin	入力
	JP1権限レベル,JP1権限レベル,...	入力
	JP1権限レベル,JP1権限レベル,...	入力

追加 削除

☐ 変更する

* 必須入力

実行 キャンセル

項目	説明	指定要否
JP1 ユーザー名	選択した JP1 ユーザー名が表示されます。	—
JP1 資源グループに対する操作権限	<p>JP1 資源グループに対する操作権限を JP1 資源グループごとに入力します。</p> <p>[追加] ボタンまたは [削除] ボタンで、入力行を追加または削除できます。</p> <p>指定する JP1 資源グループおよび JP1 権限レベルについては、利用する JP1 の機能（製品）のマニュアルで確認してください。</p> <p>JP1 資源グループの入力規則</p> <ul style="list-style-type: none"> 1～64 バイトの ASCII 文字列 [*] を指定すると、すべての JP1 資源グループにアクセスできるようになります。 使用禁止文字を以下に示します。 制御文字および ” ’ ` \$ ” ’ ‘ / ￥ ^ [] { } () : ; = , + ? < > スペース <p>操作権限の入力規則</p> <ul style="list-style-type: none"> 1～512 バイトの ASCII 文字列 形式：JP1 権限レベル, JP1 権限レベル, ... JP1 権限レベルには 1～64 バイトの ASCII 文字列を指定可能です。JP1 権限レベルとして存在しない任意の文字列を指定可能な点に注意してください。V01-11 以降では、既定のリストから選択して入力（追加）することも可能です。入力したものの削除はテキストボックスから行ってください。 使用禁止文字を以下に示します。 制御文字および ” ’ ` \$ ” ’ ‘ * / ￥ ^ [] { } () : ; = + ? < > スペース 	最低 1 行は必須

7.1.4 削除

JP1 ユーザーを削除できます。

JP1 ユーザー一覧画面から、対象の JP1 ユーザーをすべて選択して [削除] ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログで対象に誤りがないことを確認（チェック）し，[実行] ボタンをクリックして削除します。

ステータスが操作中の JP1 ユーザーを選択した場合，[削除] ボタンが非活性となり，操作できません。



7.1.5 パスワード変更

JP1 ユーザーのパスワードを変更できます。

JP1 ユーザー一覧画面から、対象の JP1 ユーザーを 1 つ選択して [パスワード変更] ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに必要な情報を入力して内容に誤りがないことを確認（チェック）し，[実行] ボタンをクリックしてパスワードを変更します。

複数選択した場合やステータスが操作中の JP1 ユーザーを選択した場合，[パスワード変更] ボタンが非活性となり，操作できません。

注意事項

現在のパスワードを忘れてしまった場合は，パスワードは変更できません。この場合，当該ユーザーの再作成（削除して新規作成）により対処してください。

JP1ユーザーパスワード変更

×

JP1ユーザーのパスワードを変更できます。

JP1ユーザー名:

samplejp1user

現在のパスワード:

*

新しいパスワード:

*

新しいパスワード (確認):

*

☐ 変更する

* 必須入力

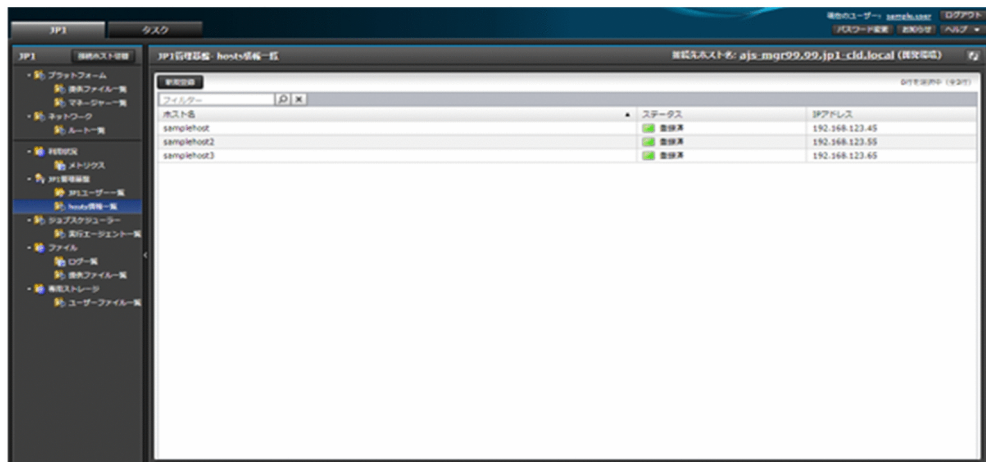
実行

キャンセル

項目	説明	指定要否
現在のパスワード	<p>現在のパスワードを入力します。</p> <p>6～32 バイトの ASCII 文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。</p> <p>使用禁止文字 制御文字および ” ’ ` \$ ” ’ ‘ ￥ : スペース</p>	必須
新しいパスワード	<p>新しいパスワードを入力します。現在のパスワードと同じものであってもかまいません。</p> <p>8～32 バイトの ASCII 文字列（以下，使用禁止文字を除く）を指定可能です。また，パスワードポリシーとして，パスワードには英大文字・英小文字・数字・記号のうち 3 種類以上を使用する必要があります。</p> <p>確認用の入力項目には，同じパスワードを再度入力してください。</p> <p>使用禁止文字 制御文字および ” ’ ` \$ ” ’ ‘ ￥ : スペース</p>	必須

7.2 hosts 情報一覧

[JP1] 画面のナビメニュー [JP1 管理基盤] - [hosts 情報一覧] を選択すると、hosts 情報一覧画面が表示されます。



7.2.1 一覧表示

エージェントとして使用するためにマネージャーに登録されているサーバーの hosts 情報を表示できます。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
ホスト名	hosts 情報として登録されているホスト名が表示されます。
ステータス	hosts 情報の状態が表示されます。 登録済 登録が完了している状態です。 操作中 登録操作により、操作中の状態です。 なお、操作中は他ステータスより優先して表示されます。
IP アドレス	ホスト名に対応する IP アドレスが表示されます。

7.2.2 新規登録

エージェントとして使用するサーバーの hosts 情報をマネージャーホストに新規に登録できます。hosts 情報は、マネージャーとエージェント間で通信する際の名前解決のために登録が必要になります。

hosts 情報一覧画面から、[新規登録] ボタンをクリックして起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し、内容に誤りがないことを確認 (チェック) してから [実行] ボタンをクリックして登録します。

すでに登録されている同じホスト名の hosts 情報を複数登録することはできません。

注意事項

- V01-01 以前の場合、登録時は対象のサーバーを起動し、通信できる状態にしておいてください。
登録時に、マネージャーホストから ping (ICMP) での通信確認が発生します。
- すでにマネージャーホストと接続して使用中のサーバー（登録済みホスト）の hosts 情報の変更や削除（IP アドレスの変更など）は実施できません。誤った情報で登録してしまった場合には、サービス窓口までお問い合わせください。

hosts情報の登録

hosts情報を登録します。必要事項を入力してください。
すでにマネージャーホストと接続して使用中のサーバー（登録済みホスト）のhosts情報の変更や削除は実施できないので注意してください。

ホスト名: *

IPアドレス: * W.X.Y.Z

☐ 登録する

* 必須入力

実行

キャンセル

項目	説明	指定要否
ホスト名	<div>hosts 情報として登録したいホスト名を入力します。</div> <div>1～255 バイトの ASCII 文字列（以下、使用禁止文字を除く）を指定可能です。</div> <div>使用禁止文字</div> <div>制御文字および ” ’ ` \$ ” ’ ‘ # / ¥ [] ; : = , + ? < > スペース</div> <div>その他、注意事項</div> <div><ul style="list-style-type: none">• IP アドレスとして認識できる文字列は、ホスト名として利用できません。• 登録対象のサーバーで名前解決ができるホスト名を指定してください。• ホスト名の太文字小文字は区別されません。</div>	必須
IP アドレス	<div>ホスト名に対応する IP アドレスを以下の形式で入力します。</div> <div>形式</div> <div>W.X.Y.Z</div> <div>W～Z は、それぞれ 0～255 の範囲の数字で入力してください。</div>	必須

8

ジョブスケジューラー

ジョブスケジューラーのメニューで提供する機能について説明します。

8.1 実行エージェント一覧

[JP1] 画面のナビメニュー [ジョブスケジューラー] - [実行エージェント一覧] を選択すると、実行エージェント一覧画面が表示されます。



8.1.1 一覧表示

実行エージェントの情報を表示できます。

マネージャー種別が「ジョブスケジューラー」以外の場合、情報は表示されません。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
[チェックボックス]	操作対象を示すチェックボックスです。
エージェント名	実行エージェント名または実行エージェントグループ名が表示されます。
種類	実行エージェントの種類が表示されます。 エージェント 実行エージェントのことです。 グループ 実行エージェントグループのことです。
ステータス	実行エージェントまたは実行エージェントグループのジョブの受付配信制限の状態が表示されます。 有効 ジョブを受け付け、実行ホストに配信されます。 無効 ジョブを受け付けません。ただし、すでに受け付けたジョブは実行ホストに配信されます。

項目	説明
ステータス	<p>保留</p> <p>ジョブを受け付けます。ただし、実行ホストには配信されません。</p> <p>閉塞</p> <p>ジョブを受け付けません。また、実行ホストにも配信されません。</p> <p>操作中</p> <p>変更操作により、操作中の状態です。</p> <p>ステータスが操作中の場合、その実行エージェントを選択したときに【編集】・【削除】ボタンが非活性になり、それらの操作を行うことができません。</p> <p>なお、操作中は他ステータスより優先して表示されます。</p>
接続状態	<p>実行エージェントの状態が表示されます。</p> <p>作成中または実行エージェントグループの場合は、「-」が表示されます。</p> <p>未確認</p> <p>実行エージェントの状態が確認されていない状態です。実行エージェントへジョブは配信できます。</p> <p>接続可</p> <p>実行エージェントと正常に通信できる状態です。実行エージェントへジョブは配信できます。</p> <p>接続不可</p> <p>実行エージェントに通信障害が発生しているため、ジョブを配信できない状態です。</p> <p>実行エージェントへジョブは配信できません（ジョブはマネージャーホスト上で「キューイング」状態となります）。</p> <p>使用不可</p> <p>受付配信制限の状態に合わせて明示的にジョブ配信を抑止している状態です。</p> <p>実行エージェントへジョブは配信できません（ジョブはマネージャーホスト上で「キューイング」状態となります）。</p>
実行ホスト名	<p>実行ホスト名が表示されます。</p> <p>実行エージェントグループの場合は、「-」が表示されます。</p>
実行多重度	<p>ジョブ実行多重度が表示されます。</p> <p>実行エージェントグループの場合は、「-」が表示されます。</p>
キューイング中	<p>キューイング中の UNIX ジョブ、PC ジョブ、フレキシブルジョブ、HTTP 接続ジョブ、アクションジョブ、カスタムジョブ、および引き継ぎ情報設定ジョブの数が表示されます。</p>
実行中	<p>実行中の UNIX ジョブ、PC ジョブ、フレキシブルジョブ、HTTP 接続ジョブ、アクションジョブ、カスタムジョブ、および引き継ぎ情報設定ジョブの数が表示されます。</p> <p>実行エージェントグループの場合は、「-」が表示されます。</p>
イベントジョブ数	<p>実行中のイベントジョブ数が表示されます。</p> <p>実行エージェントグループの場合は、「-」が表示されます。</p>
属するエージェントと優先順位	<p>実行エージェントグループに属する実行エージェント名と優先順位が以下の形式で表示されます。</p> <p>優先順位は、一番低いのが 1、一番高いのが 16 です。</p>

項目	説明
属するエージェントと優先順位	実行エージェントの場合は、「-」が表示されます。 形式 実行エージェント名:優先順位,実行エージェント名:優先順位,...
説明	実行エージェントに対するコメントが表示されます。

8.1.2 新規作成

実行エージェントを新規に作成できます。

実行エージェント一覧画面から、[新規作成] ボタンをクリックして起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し、[実行] ボタンをクリックして作成します。

すでに存在する同種同名の実行エージェントを複数作成することはできません。また、マネージャー種別が「ジョブスケジューラー」以外の場合、[新規作成] ボタンが非活性となり、操作できません。

注意事項

作成する実行エージェントの実行ホスト名は、作成時点で正しく名前解決できている必要があります。

項目	説明	指定要否
種類	実行エージェントの種類を選択します。 エージェント 実行エージェントのことです。 グループ 実行エージェントグループのことです。	必須
エージェント名	実行エージェントまたは実行エージェントグループとして登録したいエージェント名を入力します。 1～255 バイトの任意文字列（以下、使用禁止文字を除く）を指定可能です。 アンダーバー(_)2つの「_」で始まる名称は、サービス用に予約されているため、指定できません。	必須

項目	説明	指定要否
エージェント名	<p>使用禁止文字 制御文字および” ’ ` \$ ” ’ ‘ : , < > スペース</p> <p>その他, 注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 大文字小文字は区別されません。 日本語などのマルチバイト文字も使用できます。ただし、言語環境によって文字バイト長が異なるため、ASCII 文字を推奨します。エージェント名に環境依存文字を含む場合、実行エージェントの編集に失敗することがあります。この場合、別の文字を指定して再作成（削除して新規作成）により対処してください。 「@SYS」で始まる名称は使用できません。 	必須
ジョブの受付配信制限の状態	<p>実行エージェントまたは実行エージェントグループのジョブの受付配信制限の状態を選択します。</p> <p>有効 ジョブを受け付け、実行ホストに配信されます。</p> <p>無効 ジョブを受け付けません。ただし、すでに受け付けたジョブは実行ホストに配信されます。</p> <p>保留 ジョブを受け付けます。ただし、実行ホストには配信されません。</p> <p>閉塞 ジョブを受け付けません。また、実行ホストにも配信されません。</p> <p>「有効」または「無効」を選択した場合、実行エージェントの状態（接続状態）は「未確認」に設定されます。「保留」または「閉塞」を選択した場合、実行エージェントの状態（接続状態）は「使用不可」に設定されます。</p>	必須
実行ホスト名	<p>ジョブの実行先ホスト名を入力します。</p> <p>1～255 バイトの任意文字列（以下、使用禁止文字を除く）を指定可能です。</p> <p>マネージャーホスト名は指定できません。</p> <p>使用禁止文字 制御文字および” ’ ` \$ ” ’ ‘</p> <p>その他, 注意事項 半角空白文字を含む文字列を指定した場合、除去して処理されます。このため、半角空白文字は使用しないでください。</p>	エージェントのみ指定（必須）
ジョブ実行多重度	<p>ジョブ実行多重度を設定する時間帯と、その時間帯のジョブ実行多重度を以下の形式で入力します。</p> <p>なお、タイムゾーンは JST になります。</p> <p>ジョブ実行多重度により、この実行エージェントで同時に実行できるジョブ数を制限できます。同時実行数が制限されるジョブは、UNIX ジョブ、PC ジョブ、フレキシブルジョブ、HTTP 接</p>	エージェントのみ指定（必須）

項目	説明	指定要否
ジョブ実行多重度	<p>続ジョブ、アクションジョブ、カスタムジョブ、および引き継ぎ情報設定ジョブです。同時に実行しようとしたジョブ数が、ジョブ実行多重度に達した場合、それを越えた分のジョブは、実行中のジョブが終了するまでキューイング（実行待ち）の状態になります。</p> <p>形式</p> <p>hh:mm-hh:mm=ジョブ実行多重度, hh:mm-hh:mm=ジョブ実行多重度, ...</p> <p>hh に指定できる値は、0～9 または 00～23（単位：時）です。 mm に指定できる値は、0, 00, または 30（単位：分）です。 ジョブ実行多重度に指定できる値は、0～4294967295 です。 時間帯とジョブ実行多重度の組み合わせは、最大 48 まで指定できます。</p> <p>その他、補足事項</p> <ul style="list-style-type: none"> • 時間帯を重複して指定した場合は、あとで指定した値が反映されます。 • ジョブ実行多重度を指定しなかった時間帯には、ジョブ実行多重度 0 が仮定されます。 • 実行した時刻を含む時間帯を指定した場合、ジョブ実行多重度はすぐに変更されます。 	エージェントのみ指定（必須）
属するエージェントと優先順位	<p>実行エージェントグループに関連づける実行エージェント名とそのグループ内での優先順位を以下の形式で入力します。</p> <p>形式</p> <p>実行エージェント名[:優先順位], 実行エージェント名[:優先順位], ...</p> <p>実行エージェント名にはすでに登録済みの実行エージェントを指定します。</p> <p>優先順位に指定できる値は、1～16 です。優先順位が一番低いのが 1、一番高いのが 16 です。優先順位が高いほど、ジョブが優先的に実行されます。省略した場合、16 が仮定されます。</p> <p>関連づけできる実行エージェントの数は 1,024 までです。</p> <p>なお、V01-12 以降において、デフォルト実行エージェント（エージェント名が@SYSTEM の実行エージェント）は指定できません。</p>	グループのみ指定（必須）
説明	<p>実行エージェントまたは実行エージェントグループに対するコメントを入力します。</p> <p>1～80 バイトの任意文字列（以下、使用禁止文字を除く）を指定可能です。</p> <p>使用禁止文字</p> <p>制御文字および ” ’ ` \$ ” ’ ‘</p>	任意

項目	説明	指定要否
説明	<p>その他、注意事項</p> <p>説明文の末尾に連続して設定した半角空白文字は無効になる場合があります。このため、末尾に半角空白文字を使用しないでください。</p>	任意

8.1.3 編集

実行エージェントを編集できます。

実行エージェント一覧画面から、対象の実行エージェントを1つ選択して[編集]ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに表示される情報を変更して内容に誤りがないことを確認（チェック）し、[実行]ボタンをクリックして作成します。

複数選択した場合やステータスが操作中の実行エージェントを選択した場合、[編集]ボタンが非活性となり、操作できません。

注意事項

- 実行エージェントの実行ホスト名は、編集時点で正しく名前解決できている必要があります。
- 実行中のジョブ（PC ジョブ、UNIX ジョブ、フレキシブルジョブ、HTTP 接続ジョブ、カスタムジョブ、またはアクションジョブ）がある場合は、実行エージェントグループから実行エージェントを除外できません。
- 実行中のジョブ（PC ジョブ、UNIX ジョブ、フレキシブルジョブ、HTTP 接続ジョブ、カスタムジョブ、アクションジョブ、またはイベントジョブ）がある場合は、実行ホスト名を変更できません。
- V01-10 以前の場合、実行中のジョブ（PC ジョブ、UNIX ジョブ、フレキシブルジョブ、HTTP 接続ジョブ、カスタムジョブ、アクションジョブ、またはイベントジョブ）があるときに実行エージェントのジョブの受付配信制限の状態を変更する場合には、当該ホストに対して運用権限を持つユーザーを用いて操作を行ってください。

項目	説明	指定要否
種類	<p>選択した実行エージェントの種類が表示されます。</p> <p>エージェント 実行エージェントのことです。</p> <p>グループ 実行エージェントグループのことです。</p>	—
エージェント名	<p>選択した実行エージェント名または実行エージェントグループ名が表示されます。</p>	—
ジョブの受付配信制限の状態	<p>実行エージェントまたは実行エージェントグループのジョブの受付配信制限の状態を選択します。</p> <p>有効 ジョブを受け付け、実行ホストに配信されます。</p> <p>無効 ジョブを受け付けません。ただし、すでに受け付けたジョブは実行ホストに配信されます。</p> <p>保留 ジョブを受け付けます。ただし、実行ホストには配信されません。</p> <p>閉塞 ジョブを受け付けません。また、実行ホストにも配信されません。</p> <p>「有効」または「無効」を選択した場合、実行エージェントの状態（接続状態）は「未確認」に設定されます。「保留」または「閉塞」を選択した場合、実行エージェントの状態（接続状態）は「使用不可」に設定されます。</p> <p>なお、V01-12以降において、デフォルト実行エージェント（エージェント名が@SYSTEMの実行エージェント）の受付配信制限の状態は変更できません。</p>	必須
実行ホスト名	<p>ジョブの実行先ホスト名を入力します。</p> <p>1～255 バイトの任意文字列（以下、使用禁止文字を除く）を指定可能です。</p> <p>マネージャーホスト名は指定できません。</p> <p>なお、V01-12以降において、デフォルト実行エージェント（エージェント名が@SYSTEMの実行エージェント）の実行ホスト名は変更できません。</p> <p>使用禁止文字 制御文字および ” ’ ` \$ " ' ‘</p> <p>その他、注意事項 半角空白文字を含む文字列を指定した場合、除去して処理されます。このため、半角空白文字は使用しないでください。</p>	エージェントのみ指定（必須）
ジョブ実行多重度	<p>ジョブ実行多重度を設定する時間帯と、その時間帯のジョブ実行多重度を以下の形式で入力します。</p> <p>なお、タイムゾーンは JST になります。</p>	エージェントのみ指定（必須）

項目	説明	指定要否
ジョブ実行多重度	<p>ジョブ実行多重度により、この実行エージェントで同時に実行できるジョブ数を制限できます。同時実行数が制限されるジョブは、UNIX ジョブ、PC ジョブ、フレキシブルジョブ、HTTP 接続ジョブ、アクションジョブ、カスタムジョブ、および引き継ぎ情報設定ジョブです。同時に実行しようとしたジョブ数が、ジョブ実行多重度に達した場合、それを越えた分のジョブは、実行中のジョブが終了するまでキューイング（実行待ち）の状態になります。</p> <p>形式</p> <p>hh:mm-hh:mm=ジョブ実行多重度, hh:mm-hh:mm=ジョブ実行多重度, ...</p> <p>hh に指定できる値は、0～9 または 00～23（単位：時）です。</p> <p>mm に指定できる値は、0, 00, または 30（単位：分）です。</p> <p>ジョブ実行多重度に指定できる値は、0～4294967295 です。</p> <p>時間帯とジョブ実行多重度の組み合わせは、最大 48 まで指定できます。</p> <p>その他、補足事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間帯を重複して指定した場合は、あとで指定した値が反映されます。 ジョブ実行多重度を指定しなかった時間帯は、変更されません。 実行した時刻を含む時間帯を指定した場合、ジョブ実行多重度はすぐに変更されます。 	エージェントのみ指定（必須）
属するエージェントと優先順位	<p>実行エージェントグループに関連づける実行エージェント名とそのグループ内での優先順位を以下の形式で入力します。</p> <p>形式</p> <p>実行エージェント名[:優先順位], 実行エージェント名[:優先順位], ...</p> <p>実行エージェント名にはすでに登録済みの実行エージェントを指定します。</p> <p>優先順位に指定できる値は、1～16 です。優先順位が一番低いのが 1、一番高いのが 16 です。優先順位が高いほど、ジョブが優先的に実行されます。省略した場合、16 が仮定されます。</p> <p>関連づけできる実行エージェントの数は 1,024 までです。</p> <p>なお、V01-12 以降において、デフォルト実行エージェント（エージェント名が@SYSTEM の実行エージェント）は指定できません。</p>	グループのみ指定（必須）
説明	<p>実行エージェントまたは実行エージェントグループに対するコメントを入力します。</p> <p>1～80 バイトの任意文字列（以下、使用禁止文字を除く）を指定可能です。</p> <p>使用禁止文字</p> <p>制御文字および ” ’ ` \$ ” ’ ‘</p>	任意

項目	説明	指定要否
説明	<p>その他、注意事項</p> <p>説明文の末尾に連続して設定した半角空白文字は無効になる場合があります。このため、末尾に半角空白文字を使用しないでください。</p>	任意

8.1.4 削除

実行エージェントを削除できます。

実行エージェント一覧画面から、対象の実行エージェントをすべて選択して「削除」ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログで対象に誤りがないことを確認（チェック）し、「実行」ボタンをクリックして削除します。

ステータスが操作中、または閉塞状態でない実行エージェントを選択した場合、「削除」ボタンが非活性となり、操作できません。また、V01-12以降において、デフォルト実行エージェント（エージェント名が@SYSTEMの実行エージェント）を選択した場合、「削除」ボタンが非活性となり、操作できません。

注意事項

- 削除する実行エージェントに対する新たなイベントジョブおよび起動条件付きジョブネットを実行しないようにしておいてください。
- 実行中のジョブ（PC ジョブ、UNIX ジョブ、カスタムジョブ、フレキシブルジョブ、HTTP 接続ジョブ、アクションジョブ、またはイベントジョブ）がある場合は、実行エージェントを削除できません。削除するには、実行中のジョブを強制終了させる必要があります。
- どれかの実行エージェントグループに属している実行エージェントは削除できません。



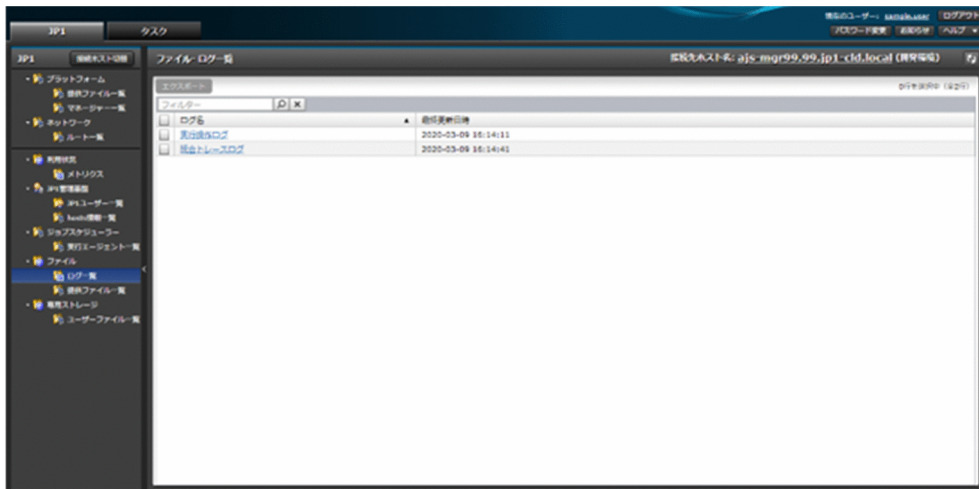
9

ファイル

ファイルのメニューで提供する機能について説明します。

9.1 ログ一覧

[JP1] 画面のナビメニュー [ファイル] - [ログ一覧] を選択すると、ログ一覧画面が表示されます。



9.1.1 一覧表示

サービスから提供可能な各種ログを表示できます。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

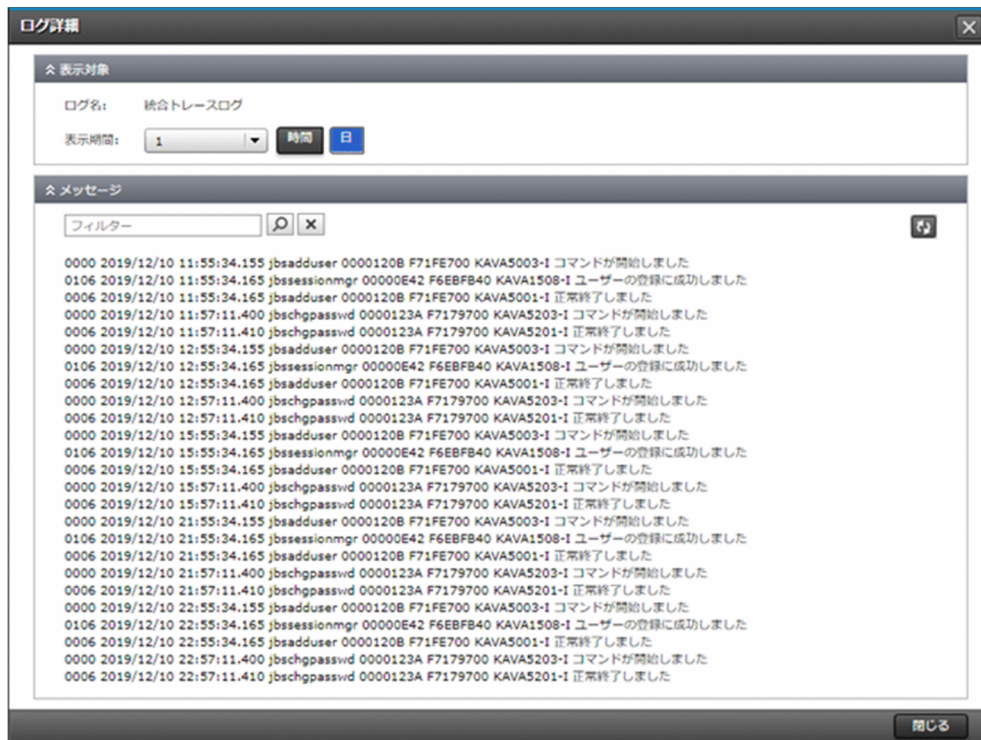
項目	説明
[チェックボックス]	操作対象を示すチェックボックスです。
ログ名	ログの種類を表す名称が表示されます。V01-11 以降では、ログ名のリンクをクリックすると、ログの詳細情報を参照することができます。 統合トレースログ JP1 管理基盤の JP1 ユーザーの操作履歴などが出力されています。 実行操作ログ ジョブスケジューラーのジョブネットやジョブの実行開始履歴・実行終了履歴、コマンドの実行履歴などが出力されています。
最終更新日時	ログの最終更新日時が表示されます。

9.1.2 詳細表示 (V01-11 以降)

サービスから提供可能な各種ログの詳細情報を表示できます。

ログ一覧画面から、対象のログの名前のリンクをクリックすると、詳細表示のダイアログが起動します。

表示する項目と説明を以下に示します。



項目	説明
ログ名	選択したログ名が表示されます。
メッセージ	<p>各ログの出力形式でメッセージが表示されます。出力形式については「9.1.3 エクスポート」を参照してください。</p> <p>表示期間は1～24時間、1～90日で選択して表示できます。ただし、最大表示期間は24時間（1日）です。例えば、表示期間として2日を選択した場合、2日前から1日前までのメッセージが表示されます。</p> <p>一覧画面と同じく、表示項目のフィルタリングや最新の情報に更新ができます。</p>

9.1.3 エクスポート

ログの内容をエクスポートしてダウンロードできます。

ログ一覧画面から、対象のログをすべて選択して「エクスポート」ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し、「実行」ボタンをクリックしてエクスポートします。

項目	説明	指定要否
ログ名	選択したすべてのログ名が表示されます。	—
取得日数	ログの取得日数を選択します。 1 日分から選択でき、最大 90 日分まで選択できます。 システム負荷の軽減のため、取得が必要な最低日数を選択してください。	必須

エクスポートしたログは、実行したタスクのタスク詳細ダイアログのファイル名「<タスク ID>.zip」(例：0000000001.zip) のリンクからダウンロードできます。エクスポートを実行したユーザーだけがログをダウンロードできます。

ダウンロードしたファイル中に格納されている各ログのファイル名を以下に示します。

ログ名	ファイル名	ファイル名の例
統合トレースログ	<タスク ID>_hntr2.csv	0000000001_hntr2.csv
実行操作ログ	<タスク ID>_ajslog.csv	0000000001_ajslog.csv

統合トレースログの出力形式を以下に示します。

出力形式	メッセージテキスト
説明	メッセージテキストの出力項目の内容は、JP1/Base のマニュアルの統合トレースログを参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> 文字コードは UTF-8 です。 改行コードは LF です。 ヘッダー行はありません。 各項目の区切り文字はコンマ(,)です。 各項目はダブルクォート(")で囲まれて出力されます。 メッセージテキスト内の日時のタイムゾーンは JST です。
出力例	<pre>"0000 2019/12/11 11:55:34.155 jbsadduser 0000120B F71FE700 KAVA5003-I コマンドが開始しました" "0106 2019/12/11 11:55:34.165 jbsessionmgr 00000E42 F6EBFB40 KAVA1508-I testuserユーザーの登録に成功しました" "0006 2019/12/11 11:55:34.165 jbsadduser 0000120B F71FE700 KAVA5001-I 正常終了しました"</pre>

出力例	<pre>"0000 2019/12/11 11:57:11.400 jbschgpasswd 0000123A F7179700 KAVA5203-I コマンドが開始しました" "0006 2019/12/11 11:57:11.410 jbschgpasswd 0000123A F7179700 KAVA5201-I 正常終了しました"</pre>
-----	---

実行操作ログの出力形式を以下に示します。

出力形式	メッセージテキスト
説明	<p>メッセージテキストの出力項目の内容は、JP1/Automatic Job Management System 3 のマニュアルのスケジューラーログ（実行操作ログ）を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字コードは UTF-8 です。 改行コードは LF です。 ヘッダー行はありません。 各項目の区切り文字はコンマ(,)です。 各項目はダブルクォート(")で囲まれて出力されます。 メッセージテキスト内の日時のタイムゾーンは JST です。
出力例	<pre>"A007 Dec 11 12:01:37 [4970] KAVS0534-I c999apajssv99 ;CONNECT jp1user [USER] [10.210.38.11,JP1/AJS2-View] JP1CLOUD" "A008 Dec 11 12:16:48 [4970] KAVS0535-I c999apajssv99 ;DISCONNECT jp1user [USER] [10.210.38.11,JP1/AJS2-View] JP1CLOUD" "N001 Dec 11 12:03:47 [4256] KAVS0260-I JP1CLOUD:/test_jobnet:@A100" "J001 Dec 11 12:03:47 [4256] KAVS0263-I JP1CLOUD:/test_jobnet/test_unit:@A100 c999apajssv99 1" "J002 Dec 11 12:03:47 [4256] KAVS0264-I JP1CLOUD:/test_jobnet/test_unit:@A100 c999apajssv99 0 1" "N002 Dec 11 12:03:47 [4256] KAVS0261-I JP1CLOUD:/test_jobnet:@A100"</pre>

9.2 提供ファイル一覧

[JP1] 画面のナビメニュー [ファイル] - [提供ファイル一覧] を選択すると、提供ファイル一覧画面が表示されます。



9.2.1 一覧表示

サービスから提供する、操作対象のホストに紐づくファイルを表示して、ダウンロードできます。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
ファイル名	ファイル名が表示されます。 ファイル名のリンクをクリックすると、ファイルをダウンロードできます。
説明	ファイルの説明が表示されます。
最終更新日時	ファイルの最終更新日時が表示されます。
サイズ	ファイルのサイズが表示されます。

9.2.2 エージェントセットアップ支援ツール

各マネージャーと接続して利用するエージェントのセットアップを支援するツールやパラメータシートをダウンロードできます。

提供するツールやパラメータシートを以下に示します。

製品名 (略称)	サポート OS 種別	サポートバージョン	提供するファイル
JP1/Base	• Linux	V12 以降	設定パラメータシート

製品名（略称）	サポート OS 種別	サポートバージョン	提供するファイル
JP1/Base	• Windows	V12 以降	設定ツールプラグイン
			JP1 パラメータユーティリティ
JP1/AJS3 - Agent	• Linux • Windows	V12 以降	設定パラメータシート
JP1/AJS3 - View	Windows	V12 以降	設定パラメータシート
JP1/IM2 - View	Windows	V12 以降	設定パラメータシート

提供するツールやパラメータシートの詳細は、「[付録 A 設定パラメータ・ツール](#)」を参照してください。

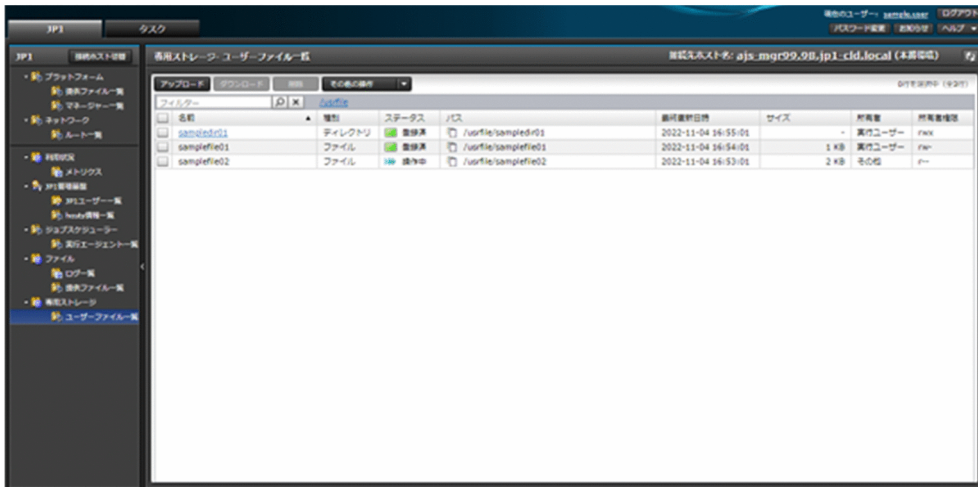
10

専用ストレージ

専用ストレージのメニューで提供する機能について説明します。

10.1 ユーザーファイル一覧 (V01-12 以降)

[JP1] 画面のナビメニュー [専用ストレージ] - [ユーザーファイル一覧] を選択すると、ユーザーファイル一覧画面が表示されます。



10.1.1 一覧表示

専用ストレージ内に格納されたユーザーファイルを表示できます。

ユーザーファイル一覧画面では、専用ストレージ内の特定のディレクトリ階層のユーザーファイルを表示します。一覧中のディレクトリ名か一覧上部のディレクトリ階層のリストをクリックすると、表示するディレクトリ階層を変更することができます。なお、一覧上部のリストの先頭が専用ストレージのルートとなるディレクトリ階層の名前 (/usrfile) を表しており、末尾のディレクトリ階層が現在表示しているディレクトリ階層を表しています。

注意事項

以下ユーザーファイルはサポート対象外となり、一覧表示および各種操作を実行することはできません。スクリプトの実行により作成されたサポート対象外の不要なファイルについては、同様にスクリプトを実行することにより削除してください。

- 名前がドット (.) 1 つもしくは 2 つのみの場合
- 名前に以下の使用禁止文字を含む場合
使用禁止文字
制御文字および " ' ` \$ " ' ' ' < > | : * ? ¥ /
- ファイルタイプが一般ファイル、ディレクトリ以外の場合 (シンボリックリンクやハードリンク等)

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
[チェックボックス]	操作対象を示すチェックボックスです。
名前	<p>ユーザーファイルの名称が表示されます。</p> <p>種別がディレクトリの場合は、名前のリンクをクリックすることで、そのディレクトリ階層のユーザーファイル一覧に移動できます。</p>
種別	<p>ユーザーファイルの種別が表示されます。</p> <p>ディレクトリ ディレクトリのことです。</p> <p>ファイル 一般ファイルのことです。</p>
ステータス	<p>ユーザーファイルの状態が表示されます。</p> <p>登録済 登録が完了している状態です。</p> <p>操作中 変更操作により、操作中の状態です。</p> <p>ステータスが操作中の場合、そのユーザーファイルを選択したときに [削除]・[コピー]・[移動・名前変更]・[権限変更] ボタンが非活性になり、それらの操作を行うことができません。また、操作中のディレクトリ階層についてもリンクが非活性となり、その階層に移動することができません。</p>
パス	ユーザーファイルを指定する際に使用可能なパスが表示されます。アイコンをクリックすることで、パスをクリップボードにコピーすることができます。
最終更新日時	ユーザーファイルの最終更新日時が表示されます。
サイズ	ファイルのサイズが表示されます。ディレクトリの場合は、「-」が表示されます。
所有者	<p>ユーザーファイルの所有者の種類が表示されます。</p> <p>実行ユーザー 所有者がジョブや自動アクションの実行ユーザーに紐づく OS ユーザーであることを示します。</p> <p>その他 所有者が実行ユーザー以外であることを示します。</p>
所有者権限	<p>ユーザーファイルの所有者に対する権限が表示されます。</p> <p>読み取り 権限の 1 文字目に読み取り権限の有無が表示されます。所有者が読み取り可能な場合は「r」、不可能な場合は「-」が表示されます。</p> <p>書き込み 権限の 2 文字目に書き込み権限の有無が表示されます。所有者が書き込み可能な場合は「w」、不可能な場合は「-」が表示されます。</p> <p>実行 権限の 3 文字目に実行権限の有無が表示されます。所有者が実行可能な場合は「x」、不可能な場合は「-」が表示されます。</p>

項目	説明	指定要否
所有者権限	<p>読み取り 所有者の読み取り権限の有無を設定します。</p> <p>書き込み 所有者の書き込み権限の有無を設定します。</p> <p>実行 所有者の実行権限の有無を設定します。</p>	任意
専用ストレージ使用率	現在の専用ストレージ使用率が表示されます。アップロード後の使用率が 100%を超える場合はアップロードすることができません。	—

10.1.3 ダウンロード

ユーザーファイルを指定してダウンロードできます。

ユーザーファイル一覧画面から、対象のユーザーファイルをすべて選択して［ダウンロード］ボタンをクリックしてダウンロードします。ディレクトリや複数のユーザーファイルを選択した場合は、ファイル名が「JP1CloudService_<UUID>.zip」の zip ファイルとしてダウンロードされます。種別がファイルのみの場合は、ファイル名を維持したままダウンロードされます。

注意事項

- ディレクトリや複数のユーザーファイルのダウンロード時の zip ファイルは、文字コード UTF-8 で圧縮されています。解凍時の文字コードにご注意ください。同様にアップロードした zip ファイルをマネージャーホスト上で扱う場合も文字コード UTF-8 で扱われます。
- ダウンロード対象が拡張子のない名前や空白を含む名前などを持つ場合には、Web ブラウザーにより名前が変更されてダウンロードされる可能性があります。ファイルの内容に影響はないため適宜名前を変更してご利用ください。

10.1.4 削除

ユーザーファイルを指定して削除できます。

ユーザーファイル一覧画面から、対象のユーザーファイルをすべて選択して［削除］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログで対象に誤りがないことを確認（チェック）し、［実行］ボタンをクリックして削除します。

削除実行中は、削除対象のユーザーファイル（種別がディレクトリの場合はその配下含めたユーザーファイル）のステータスが操作中の状態になります。

ステータスが操作中のユーザーファイルを選択した場合、［削除］ボタンが非活性となり、操作できません。

注意事項

各ユーザーファイルのバージョン管理はされていないため、誤って削除してしまった場合は復元できませんのでご注意ください。



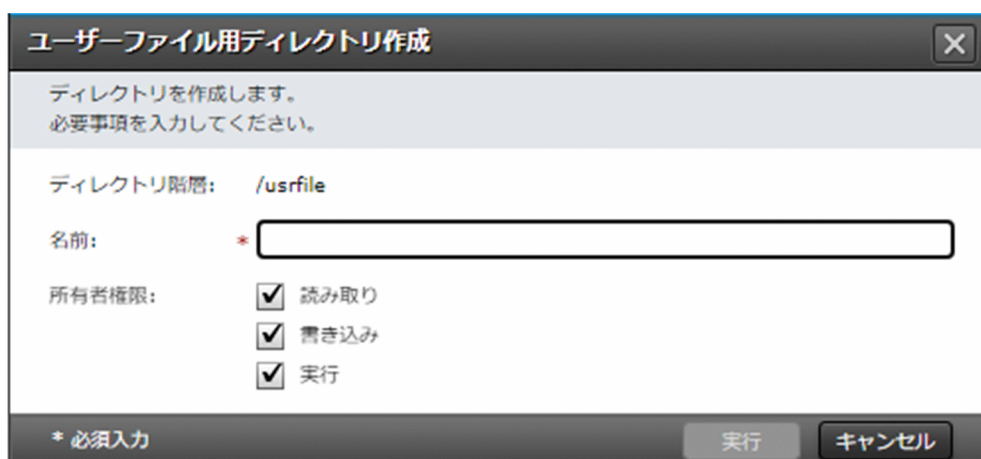
10.1.5 ディレクトリ作成

専用ストレージ内に新たなディレクトリを作成できます。

ユーザーファイル一覧画面から、作成したいディレクトリの階層を開き、[その他の操作] から [ディレクトリ作成] ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し、[実行] ボタンをクリックして作成します。

すでに存在する同名のディレクトリを複数作成することはできません。

ディレクトリ作成実行中は、作成するディレクトリのステータスが操作中の状態になります。



ユーザーファイルコピー

×

選択したユーザーファイルをコピーします。
必要事項を入力してください。

ディレクトリ階層:

/usrfile

名前:

samplefile01

コピー先のディレクトリ階層:

/usrfile

/usrfile

sampledir01

コピー先の名前:

* samplefile01

専用ストレージ使用率:

9.50% 972.80 MB/10 GB (残り:9.05 GB)

☐ コピーする

* 必須入力

実行

キャンセル

項目	説明	指定要否
ディレクトリ階層	コピー対象のユーザーファイルが現在格納されているディレクトリ階層が表示されます。	—
名前	コピー対象のユーザーファイルの名称が表示されます。	—
コピー先のディレクトリ階層	コピー先のディレクトリ階層を選択します。ダイアログ内のディレクトリのツリーからコピー先のディレクトリ階層を選択します。 コピー対象として選択したディレクトリ自身はコピー先には選べません。	必須
コピー先の名前	コピー先のユーザーファイルの名称を入力します。 デフォルトで現在の名称が表示されます。 コピー先の名称には 1～255 バイトかつ絶対パスの長さが 1023 バイト以内の任意文字列（以下、使用禁止文字を除く）を指定可能です。なお、ドット（.）1 つおよび 2 つのみの名称は、指定できません。 使用禁止文字 制御文字および " ` \$ % ' , < > : * ? ¥ /	必須
専用ストレージ利用率	現在の専用ストレージ使用率が表示されます。コピー後の使用率が 100%を超える場合はコピーすることができません。	—

10.1.7 移動・名前変更

ユーザーファイルを、専用ストレージ内の任意の場所に移動することができます。また、ユーザーファイルの名前変更も可能です。

ユーザーファイル一覧画面から、対象のユーザーファイルを1つ選択して[その他の操作]から[移動・名前変更] ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに表示される情報を変更して内容に誤りがないことを確認（チェック）し、[実行] ボタンをクリックして移動・名前変更を行います。

異なるディレクトリ階層に移動する際、すでに存在する同名かつ種別が同じのユーザーファイルが移動先にある場合は、更に起動されるダイアログにて上書きすることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。これにより、種別がファイル同士の場合には移動先にそのまま上書きされ、種別がディレクトリ同士の場合には指定したディレクトリ配下が移動先に追加される形で上書きされます。なお、すでに存在する同名かつ種別が異なるユーザーファイルを指定した場合は移動および名前変更することができません。

移動・名前変更実行中は、移動・変更対象および移動・変更先のユーザーファイル（種別がディレクトリの場合はその配下含めたユーザーファイル）のステータスが操作中の状態になります。

複数選択した場合やステータスが操作中のユーザーファイルを選択した場合、[移動・名前変更] ボタンが非活性となり、操作できません。

ユーザーファイル移動・名前変更

選択したユーザーファイルを移動・名前変更します。
必要事項を入力してください。

ディレクトリ階層: /usrfile

名前: samplefile01

移動後のディレクトリ階層: /usrfile

/usrfile
sampledir01

移動・変更後の名前: * samplefile01

☐ 移動・変更する

* 必須入力

実行 キャンセル

ユーザーファイル権限変更

✕

選択したユーザーファイルの権限を変更します。

必要事項を入力してください。

ディレクトリ階層:

/usrfile

名前:

samplefile01

所有者権限:

rw-

変更後の所有者権限:

☒ 読み取り
☒ 書き込み
☐ 実行

所有者を実行ユーザーに変更する:

☐ 変更

☐ 変更する

実行

キャンセル

項目	説明	指定要否
ディレクトリ階層	変更対象のユーザーファイルが現在格納されているディレクトリ階層が表示されます。	—
名前	変更対象のユーザーファイルの名称が表示されます。	—
所有者権限	<p>変更対象のユーザーファイルの所有者に対する権限が表示されます。</p> <p>読み取り</p> <p>権限の 1 文字目に読み取り権限の有無が表示されます。所有者が読み取り可能な場合は「r」、不可能な場合は「-」が表示されます。</p> <p>書き込み</p> <p>権限の 2 文字目に書き込み権限の有無が表示されます。所有者が書き込み可能な場合は「w」、不可能な場合は「-」が表示されます。</p> <p>実行</p> <p>権限の 3 文字目に実行権限の有無が表示されます。所有者が実行可能な場合は「x」、不可能な場合は「-」が表示されます。</p>	—
変更後の所有者権限	<p>変更後の所有者に対する権限を選択します。</p> <p>権限を有効にしたい属性をチェックして入力します。デフォルトは変更前の権限が選択されています。</p> <p>読み取り</p> <p>所有者の読み取り権限の有無を設定します。</p> <p>書き込み</p> <p>所有者の書き込み権限の有無を設定します。</p> <p>実行</p> <p>所有者の実行権限の有無を設定します。</p>	任意

項目	説明	指定要否
所有者を実行ユーザーに変更する	選択した場合、所有者を「実行ユーザー」に変更します。	任意

11

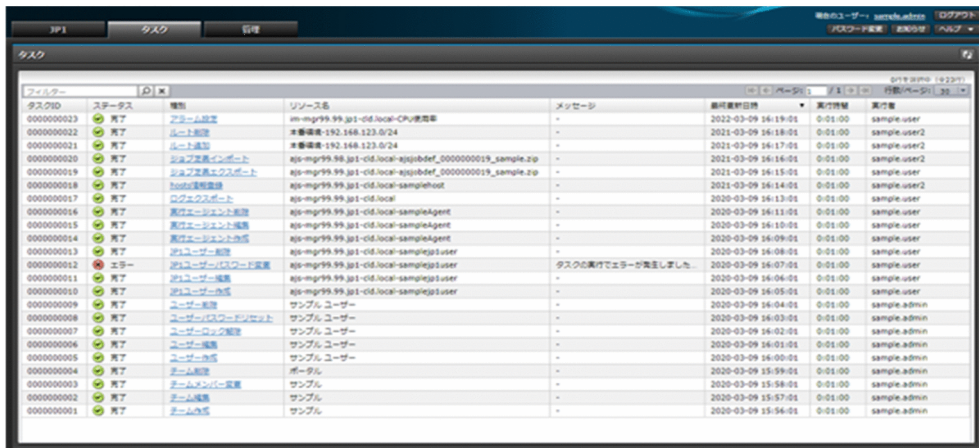
タスク

各種実行操作をしたとき、これら操作はタスクとして登録されます。タスクのメニューで提供する機能について説明します。

11.1 タスク一覧

[タスク] 画面を選択すると、タスク一覧画面が表示され、タスクの実行状況を参照することができます。

一覧に表示される情報は、ポータル権限で異なります。ポータル管理者のタスク一覧は、すべてのユーザーが実行したタスクが表示されますが、チーム管理者と利用者のタスク一覧にはログインユーザー自身が実行したタスクだけが表示されます。



タスクID	ステータス	種別	ソルネー	メッセージ	実行開始日時	実行終了日時	実行者
0000000023	完了	ジョブ定義エクスポート	ss-mgr99.99.jp1-cd.local-CPU使用率	-	2022-03-09 16:19:01	0-01:00	sample.user
0000000022	完了	ルート追加	ホスト検索 192.168.123.0/24	-	2021-03-09 16:18:01	0-01:00	sample.user2
0000000021	完了	ルート削除	ホスト検索 192.168.123.0/24	-	2021-03-09 16:17:01	0-01:00	sample.user2
0000000020	完了	ジョブ定義インポート	ss-mgr99.99.jp1-cd.local-ssjobdef_0000000019_sample.zip	-	2021-03-09 16:16:01	0-01:00	sample.user2
0000000019	完了	ジョブ定義インポート	ss-mgr99.99.jp1-cd.local-ssjobdef_0000000019_sample.zip	-	2021-03-09 16:15:01	0-01:00	sample.user
0000000018	完了	ホスト情報登録	ss-mgr99.99.jp1-cd.local-samplehost	-	2021-03-09 16:14:01	0-01:00	sample.user2
0000000017	完了	ログエクスポート	ss-mgr99.99.jp1-cd.local	-	2020-03-09 16:13:01	0-01:00	sample.user
0000000016	完了	実行エージェント追加	ss-mgr99.99.jp1-cd.local-sampleagent	-	2020-03-09 16:11:01	0-01:00	sample.user
0000000015	完了	実行エージェント削除	ss-mgr99.99.jp1-cd.local-sampleagent	-	2020-03-09 16:10:01	0-01:00	sample.user
0000000014	完了	実行エージェント追加	ss-mgr99.99.jp1-cd.local-sampleagent	-	2020-03-09 16:09:01	0-01:00	sample.user
0000000013	完了	ジョブ定義追加	ss-mgr99.99.jp1-cd.local-samplejobdef	-	2020-03-09 16:08:01	0-01:00	sample.user
0000000012	エラー	ジョブ定義インポート失敗	ss-mgr99.99.jp1-cd.local-samplejobdef	タスクの実行でエラーが発生しました。	2020-03-09 16:07:01	0-01:00	sample.user
0000000011	完了	ジョブ定義削除	ss-mgr99.99.jp1-cd.local-samplejobdef	-	2020-03-09 16:06:01	0-01:00	sample.user
0000000010	完了	ジョブ定義追加	ss-mgr99.99.jp1-cd.local-samplejobdef	-	2020-03-09 16:05:01	0-01:00	sample.user
0000000009	完了	ユーザー追加	サンプル ユーザー	-	2020-03-09 16:04:01	0-01:00	sample.admin
0000000008	完了	ユーザーパスワード変更	サンプル ユーザー	-	2020-03-09 16:03:01	0-01:00	sample.admin
0000000007	完了	ユーザーパスワード削除	サンプル ユーザー	-	2020-03-09 16:02:01	0-01:00	sample.admin
0000000006	完了	ユーザー削除	サンプル ユーザー	-	2020-03-09 16:01:01	0-01:00	sample.admin
0000000005	完了	ユーザー追加	サンプル ユーザー	-	2020-03-09 16:00:01	0-01:00	sample.admin
0000000004	完了	ホスト追加	サンプル	-	2020-03-09 15:59:01	0-01:00	sample.admin
0000000003	完了	チームメンバー追加	サンプル	-	2020-03-09 15:58:01	0-01:00	sample.admin
0000000002	完了	チーム削除	サンプル	-	2020-03-09 15:57:01	0-01:00	sample.admin
0000000001	完了	チーム追加	サンプル	-	2020-03-09 15:56:01	0-01:00	sample.admin

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
タスク ID	タスクごとに割り当てられたタスク ID が表示されます。
ステータス	タスクの状態を示す以下のどれかが表示されます。 <ul style="list-style-type: none">完了実行中エラー
種別	タスクの内容を示す以下のどれかが表示されます。 <ul style="list-style-type: none">ジョブ定義エクスポートジョブ定義インポートルート追加ルート削除アラーム設定 (V01-11 以降)JP1 ユーザー作成JP1 ユーザー編集JP1 ユーザー削除JP1 ユーザーパスワード変更hosts 情報登録実行エージェント作成実行エージェント編集実行エージェント削除ログエクスポート

項目	説明
種別	<ul style="list-style-type: none"> • ユーザーファイルアップロード (V01-12 以降) • ユーザーファイル削除 (V01-12 以降) • ユーザーファイル用ディレクトリ作成 (V01-12 以降) • ユーザーファイルコピー (V01-12 以降) • ユーザーファイル移動・名前変更 (V01-12 以降) • ユーザーファイル権限変更 (V01-12 以降) • ユーザー作成 • ユーザー編集 • ユーザー削除 • ユーザーロック解除 • ユーザーパスワードリセット • チーム作成 • チーム編集 • チームメンバー変更 • チーム削除
リソース名	操作対象のリソース名が表示されます。※
メッセージ	<p>ステータスがエラーの場合、エラーの内容が表示されます。要因や対処方法を示すメッセージが出力されている場合、そのメッセージに従って対処してください。</p> <p>ステータスがエラー以外の場合、「-」が表示されます。</p>
最終更新日時	タスクの最終更新日時が表示されます。
実行時間	タスク開始からの経過時間が表示されます。
実行者	タスクを実行したユーザーのユーザー ID が表示されます。

注※

操作対象のリソース名を以下に示します。

タスク種別	リソース名
ジョブ定義エクスポート	マネージャーホスト名-定義ファイル名
ジョブ定義インポート	マネージャーホスト名-定義ファイル名
ルート追加	環境種別名-CIDR
ルート削除	環境種別名-CIDR
アラーム設定 (V01-11 以降)	マネージャーホスト名-メトリクス名
JP1 ユーザー作成	マネージャーホスト名-JP1 ユーザー名
JP1 ユーザー編集	マネージャーホスト名-JP1 ユーザー名
JP1 ユーザー削除	マネージャーホスト名-JP1 ユーザー名
JP1 ユーザーパスワード変更	マネージャーホスト名-JP1 ユーザー名
hosts 情報登録	マネージャーホスト名-登録ホスト名

タスク種別	リソース名
実行エージェント作成	マネージャーホスト名-実行エージェント名
実行エージェント編集	マネージャーホスト名-実行エージェント名
実行エージェント削除	マネージャーホスト名-実行エージェント名
ログエクスポート	ポータルユーザー操作ログの場合は、「ログ名」。 それ以外は、「マネージャーホスト名」。
ユーザーファイルアップロード（V01-12以降）	マネージャーホスト名-ユーザーファイルの相対パス
ユーザーファイル削除（V01-12以降）	マネージャーホスト名-ユーザーファイルの相対パス
ユーザーファイル用ディレクトリ作成（V01-12以降）	マネージャーホスト名-ユーザーファイルの相対パス
ユーザーファイルコピー（V01-12以降）	マネージャーホスト名-ユーザーファイルの相対パス
ユーザーファイル移動・名前変更（V01-12以降）	マネージャーホスト名-ユーザーファイルの相対パス
ユーザーファイル権限変更（V01-12以降）	マネージャーホスト名-ユーザーファイルの相対パス
ユーザー作成	ユーザー名
ユーザー編集	ユーザー名
ユーザー削除	ユーザー名
ユーザーロック解除	ユーザー名
ユーザーパスワードリセット	ユーザー名
チーム作成	チーム名
チーム編集	チーム名
チームメンバー変更	チーム名
チーム削除	チーム名

11.2 タスク詳細（実行履歴の参照）

タスクの詳細情報を表示できます。

タスク一覧から、対象のタスク種別のリンクをクリックすると、詳細表示のダイアログが起動します。

詳細ダイアログの上部には、すべてのタスク種別に共通して「概要」の情報が表示されます。

タスク詳細

概要

タスクID: 0000000013

種別: JP1ユーザー削除

ステータス: ✔ 完了

メッセージ: -

リソース名: ajs-mgr99.99.jp1-cld.local-samplejp1user

リソースID: ajs-mgr99.99.jp1-cld.local-samplejp1user

実行者: sample.user

実行開始日時	2020-03-09 16:07:01	実行完了日時	2020-03-09 16:08:01
最終更新日時	2020-03-09 16:08:01	実行時間	0:01:00

閉じる

「概要」に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
タスク ID	タスクごとに割り当てられたタスク ID が表示されます。
種別	タスクの種別が表示されます。
ステータス	タスクの状態が表示されます。
メッセージ	ステータスがエラーの場合、エラーの内容が表示されます。要因や対処方法を示すメッセージが出力されている場合、そのメッセージに従って対処してください。 ステータスがエラー以外の場合、「-」が表示されます。
リソース名	操作対象のリソース名が表示されます。
リソース ID	操作対象のリソース ID が表示されます。※
実行者	タスクを実行したユーザーのユーザー ID が表示されます。
実行開始日時	タスクの実行開始日時が表示されます。
実行完了日時	タスクの実行完了日時が表示されます。
最終更新日時	タスクの最終更新日時が表示されます。
実行時間	タスク開始からの経過時間が表示されます。

注※

操作対象のリソース ID を以下に示します。

タスク種別	リソース ID
ジョブ定義エクスポート	マネージャーホスト名-定義ファイル名
ジョブ定義インポート	マネージャーホスト名-定義ファイル名
ルート追加	環境種別名-CIDR
ルート削除	環境種別名-CIDR
アラーム設定 (V01-11 以降)	マネージャーホスト名-メトリクス名
JP1 ユーザー作成	認証サーバー名-JP1 ユーザー名
JP1 ユーザー編集	認証サーバー名-JP1 ユーザー名
JP1 ユーザー削除	認証サーバー名-JP1 ユーザー名
JP1 ユーザーパスワード変更	認証サーバー名-JP1 ユーザー名
hosts 情報登録	マネージャーホスト名-登録ホスト名
実行エージェント作成	マネージャーホスト名-実行エージェント名
実行エージェント編集	マネージャーホスト名-実行エージェント名
実行エージェント削除	マネージャーホスト名-実行エージェント名
ログエクスポート	ポータルユーザー操作ログの場合は、「ログ名」。 それ以外は、「マネージャーホスト名」。
ユーザーファイルアップロード (V01-12 以降)	マネージャーホスト名-ユーザーファイルの相対パス
ユーザーファイル削除 (V01-12 以降)	マネージャーホスト名-ユーザーファイルの相対パス
ユーザーファイル用ディレクトリ作成 (V01-12 以降)	マネージャーホスト名-ユーザーファイルの相対パス
ユーザーファイルコピー (V01-12 以降)	マネージャーホスト名-ユーザーファイルの相対パス
ユーザーファイル移動・名前変更 (V01-12 以降)	マネージャーホスト名-ユーザーファイルの相対パス
ユーザーファイル権限変更 (V01-12 以降)	マネージャーホスト名-ユーザーファイルの相対パス
ユーザー作成	ユーザー ID
ユーザー編集	ユーザー ID
ユーザー削除	ユーザー ID
ユーザーロック解除	ユーザー ID
ユーザーパスワードリセット	ユーザー ID
チーム作成	チーム名
チーム編集	チーム名
チームメンバー変更	チーム名
チーム削除	チーム名

詳細ダイアログの下部には、タスク種別によって「詳細」の情報が表示されます。

タスク種別	詳細情報の表示有無	参照先
ジョブ定義エクスポート	○	11.2.1
ジョブ定義インポート	○	11.2.2
ルート追加	○	11.2.3
ルート削除	—	—
アラーム設定 (V01-11 以降)	○	11.2.4
JP1 ユーザー作成	○	11.2.5
JP1 ユーザー編集	○	11.2.6
JP1 ユーザー削除	—	—
JP1 ユーザーパスワード変更	—	—
hosts 情報登録	○	11.2.7
実行エージェント作成	○	11.2.8
実行エージェント編集	○	11.2.9
実行エージェント削除	—	—
ログエクスポート	○	11.2.10
ユーザーファイルアップロード (V01-12 以降)	○	11.2.11
ユーザーファイル削除 (V01-12 以降)	—	—
ユーザーファイル用ディレクトリ作成 (V01-12 以降)	○	11.2.12
ユーザーファイルコピー (V01-12 以降)	○	11.2.13
ユーザーファイル移動・名前変更 (V01-12 以降)	○	11.2.14
ユーザーファイル権限変更 (V01-12 以降)	○	11.2.15
ユーザー作成	○	11.2.16
ユーザー編集	○	11.2.17
ユーザー削除	—	—
ユーザーロック解除	—	—
ユーザーパスワードリセット	—	—
チーム作成	○	11.2.18
チーム編集	○	11.2.19
チームメンバー変更	○	11.2.20

タスク種別	詳細情報の表示有無	参照先
チーム削除	—	—

(凡例)

○：あり，－：なし

11.2.1 ジョブ定義エクスポート

タスク詳細

概要

タスクID: 0000000019

種別: ジョブ定義エクスポート

ステータス: 完了

メッセージ: -

リソース名: ajs-mgr99.99.jp1-cld.local-ajsjobdef_0000000019_sample.zip

リソースID: ajs-mgr99.99.jp1-cld.local-ajsjobdef_0000000019_sample.zip

実行者: sample.user

実行開始日時	2021-03-09 16:14:01	実行完了日時	2021-03-09 16:15:01
最終更新日時	2021-03-09 16:15:01	実行時間	0:01:00

詳細

ユニット名: /unit/test

スケジューラーサービス名: JP1CLOUD01

公開先ホスト:

マネージャーホスト名

ajs-mgr99.98.jp1-cld.local

定義ファイル名のサフィックス: sample

説明: サンプルです。

閉じる

項目	説明
ユニット名	入力したユニット名が表示されます。
スケジューラーサービス名	入力したスケジューラーサービス名が表示されます。
公開先ホスト	選択したすべてのマネージャーホスト名が表示されます。
定義ファイル名のサフィックス	入力した定義ファイル名のサフィックスが表示されます。
説明	入力した定義ファイルの説明が表示されます。

11.2.2 ジョブ定義インポート

タスク詳細

概要

タスクID:

0000000020

種別:

ジョブ定義インポート

ステータス:

完了

メッセージ:

-

リソース名:

ajs-mgr99.98.jp1-cld-local-ajsjobdef_0000000019_sample.zip

リソースID:

ajs-mgr99.98.jp1-cld-local-ajsjobdef_0000000019_sample.zip

実行者:

sample.user2

実行開始日時	2021-03-09 16:15:01	実行完了日時	2021-03-09 16:16:01
最終更新日時	2021-03-09 16:16:01	実行時間	0:01:00

詳細

定義先ユニット名:

/unit/test

スケジューラーサービス名:

JP1CLOUD01

定義ファイル:

ajsjobdef_0000000019_sample.zip

強制更新:

する

閉じる

項目	説明
定義先ユニット名	入力した定義先ユニット名が表示されます。
スケジューラーサービス名	入力したスケジューラーサービス名が表示されます。
定義ファイル	選択した定義ファイル名が表示されます。
強制更新	選択した強制更新の内容が表示されます。

11.2.3 ルート追加

タスク詳細

概要

タスクID:

0000000021

種別:

ルート追加

ステータス:

完了

メッセージ:

-

リソース名:

本番環境-129.168.123.0/24

リソースID:

本番環境-129.168.123.0/24

実行者:

sample.user2

実行開始日時	2021-03-09 16:16:01	実行完了日時	2021-03-09 16:17:01
最終更新日時	2021-03-09 16:17:01	実行時間	0:01:00

詳細

CIDR:

192.168.123.0/24

アタッチメント先:

tgvr-attach-1234567890abcdefg

閉じる

項目	説明
CIDR	入力した CIDR ブロックが表示されます。
アタッチメント先	選択したアタッチメント先が表示されます。

11.2.4 アラーム設定 (V01-11 以降)

タスク詳細

種別: アラーム設定
 ステータス: ✔ 完了
 メッセージ: -
 リソース名: im-mgr99.99.jp1-cld.local-CPU使用率
 リソースID: im-mgr99.99.jp1-cld.local-CPU使用率
 実行者: sample.user

実行開始日時	2022-03-09 16:18:01	実行完了日時	2022-03-09 16:19:01
最終更新日時	2022-03-09 16:19:01	実行時間	0:01:00

詳細

対象メトリクス: CPU使用率

アラームの設定:

項目	変更前	変更後
アラーム設定の状態	無効	有効
しきい値[%]	-	80
持続時間[分]	-	5

アラーム発生時のJP1 イベント設定:

項目	変更前	変更後
イベントID	-	7FFFFFFF
重大度	-	警告

アラーム解消時のJP1 イベント設定:

項目	変更前	変更後
イベントID	-	7FFFFFFF
重大度	-	情報

閉じる

項目	説明
対象メトリクス	選択した対象メトリクスが表示されます。
アラームの設定	設定したアラームの変更前と変更後のしきい値、持続時間がそれぞれ表示されます。 新規設定時で設定されていない項目は、「-」が表示されます。
アラーム発生時の JP1 イベント設定	設定したアラーム発生時の JP1 イベント設定の変更前と変更後のイベント ID、重大度がそれぞれ表示されます。 新規設定時で設定されていない項目は、「-」が表示されます。
アラーム解消時の JP1 イベント設定	設定したアラーム解消時の JP1 イベント設定の変更前と変更後のイベント ID、重大度がそれぞれ表示されます。 新規設定時で設定されていない項目は、「-」が表示されます。

11.2.5 JP1 ユーザー作成

タスク詳細

概要

タスクID:

0000000010

種別:

JP1ユーザー作成

ステータス:

完了

メッセージ:

-

リソース名:

ajs-mgr99.99.jp1-cld.local-samplejp1user

リソースID:

ajs-mgr99.99.jp1-cld.local-samplejp1user

実行者:

sample.user

実行開始日時

2020-03-09 16:04:01

実行完了日時

2020-03-09 16:05:01

最終更新日時

2020-03-09 16:05:01

実行時間

0:01:00

詳細

JP1ユーザー名:

samplejp1user

JP1資源グループに対する操作権限:

JP1資源グループ

操作権限

*

JP1_AJS_Admin

閉じる

項目	説明
JP1 ユーザー名	入力した JP1 ユーザー名が表示されます。
JP1 資源グループに対する操作権限	入力した JP1 資源グループに対する操作権限が JP1 資源グループごとに表示されます。

11.2.6 JP1 ユーザー編集

タスク詳細

概要

タスクID:

0000000011

種別:

JP1ユーザー編集

ステータス:

完了

メッセージ:

-

リソース名:

ajs-mgr99.99.jp1-cld.local-samplejp1user

リソースID:

ajs-mgr99.99.jp1-cld.local-samplejp1user

実行者:

sample.user

実行開始日時

2020-03-09 16:05:01

実行完了日時

2020-03-09 16:06:01

最終更新日時

2020-03-09 16:06:01

実行時間

0:01:00

詳細

JP1ユーザー名:

samplejp1user

JP1資源グループに対する操作権限

変更前:

JP1資源グループ

操作権限

*

JP1_AJS_Admin

変更後:

JP1資源グループ

操作権限

*

JP1_AJS_Operator

閉じる

項目		説明
JP1 ユーザー名		JP1 ユーザー名が表示されます。
JP1 資源グループに対する操作権限	変更前	変更前の JP1 資源グループに対する操作権限が JP1 資源グループごとに表示されます。
	変更後	変更後の JP1 資源グループに対する操作権限が JP1 資源グループごとに表示されます。

11.2.7 hosts 情報登録

タスク詳細

概要

タスクID: 0000000018

種別: hosts情報登録

ステータス: 完了

メッセージ: -

リソース名: ajs-mgr99.99.jp1-cld.local-samplehost

リソースID: ajs-mgr99.99.jp1-cld.local-samplehost

実行者: sample.user

実行開始日時	2021-03-09 16:13:01	実行完了日時	2021-03-09 16:14:01
最終更新日時	2021-03-09 16:14:01	実行時間	0:01:00

詳細

ホスト名: samplehost

IPアドレス: 192.168.123.45

閉じる

項目	説明
ホスト名	入力したホスト名が表示されます。
IP アドレス	入力した IP アドレスが表示されます。

11.2.8 実行エージェント作成

タスク詳細

概要

タスクID:

0000000014

種別:

実行エージェント作成

ステータス:

完了

メッセージ:

-

リソース名:

ajs-mgr99.99.jp1-cld.local-sampleAgent

リソースID:

ajs-mgr99.99.jp1-cld.local-sampleAgent

実行者:

sample.user

実行開始日時	2020-03-09 16:08:01	実行完了日時	2020-03-09 16:09:01
最終更新日時	2020-03-09 16:09:01	実行時間	0:01:00

詳細

種類:

エージェント

エージェント名:

sampleAgent

ジョブの受付配信制限の状態:

有効

実行ホスト名:

samplehost

ジョブ実行多重度:

00:00-00:00=10

属するエージェントと優先順位:

-

説明:

サンプルです。

閉じる

項目	説明
種類	選択した実行エージェントの種類が表示されます。
エージェント名	入力した実行エージェント名または実行エージェントグループ名が表示されます。
ジョブの受付配信制限の状態	選択したジョブの受付配信制限の状態が表示されます。
実行ホスト名	入力した実行ホスト名が表示されます。 実行エージェントグループの場合は、「-」が表示されます。
ジョブ実行多重度	入力したジョブ実行多重度が表示されます。 実行エージェントグループの場合は、「-」が表示されます。
属するエージェントと優先順位	入力した実行エージェントグループに属する実行エージェント名と優先順位が表示されます。 実行エージェントの場合は、「-」が表示されます。
説明	入力した実行エージェントの説明が表示されます。

11.2.9 実行エージェント編集

タスク詳細

概要

タスクID:

0000000015

種別:

実行エージェント編集

ステータス:

完了

メッセージ:

-

リソース名:

ajs-mgr99.99.jp1-cld-local-sampleAgent

リソースID:

ajs-mgr99.99.jp1-cld-local-sampleAgent

実行者:

sample.user

実行開始日時	2020-03-09 16:09:01	実行完了日時	2020-03-09 16:10:01
最終更新日時	2020-03-09 16:10:01	実行時間	0:01:00

詳細

種別:

エージェント

エージェント名:

sampleHost

編集内容:

項目	変更前	変更後
ジョブの受付配信制限の状態	有効	閉塞
実行ホスト名	samplehost	samplehost
ジョブ実行多重度	00:00-00:00=15	00:00-00:00=15
属するエージェントと優先順位	-	-
説明	サンプルです。	-

閉じる

項目	説明
種類	実行エージェントの種類が表示されます。
エージェント名	実行エージェント名または実行エージェントグループ名が表示されます。
編集内容	変更前と変更後のジョブの受付配信制限の状態、実行ホスト名、ジョブ実行多重度、属するエージェントと優先順位、説明がそれぞれ表示されます。 種類によって指定できない項目は、「-」が表示されます。

11.2.10 ログエクスポート

タスク詳細

概要

タスクID:

0000000018

種別:

ログエクスポート

ステータス:

完了

メッセージ:

-

リソース名:

ajs-mgr99.99.jp1-cld.local

リソースID:

ajs-mgr99.99.jp1-cld.local

実行者:

sample.user

実行開始日時

2020-03-09 16:12:01

実行完了日時

2020-03-09 16:14:01

最終更新日時

2020-03-09 16:14:01

実行時間

0:02:00

詳細

ログ名:

ログ名

統合トレースログ

実行操作ログ

取得日数:

30

ダウンロード:

[0000000018.zip](#)

閉じる

項目	説明
ログ名	選択したすべてのログ名が表示されます。
取得日数	選択したログの取得日数が表示されます。
ダウンロード	エクスポートしたログのファイル名が表示されます。タスクのステータスが「完了」状態になるとファイル名がリンク付きで表示されます。ファイル名のリンクをクリックすると、エクスポートしたログをダウンロードできます。

11.2.11 ユーザーファイルアップロード（V01-12以降）

タスク詳細

概要

タスクID:

0000000026

種別:

ユーザーファイルアップロード

ステータス:

完了

メッセージ:

-

リソース名:

ajs-mgr99.99.jp1-cld.local-/samplefile01

リソースID:

ajs-mgr99.99.jp1-cld.local-/samplefile01

実行者:

sample.user

実行開始日時

2022-11-22 16:19:01

実行完了日時

2022-11-22 16:20:01

最終更新日時

2022-11-22 16:20:01

実行時間

0:01:00

詳細

ディレクトリ階層:

/usrfile

名前:

samplefile01

所有者権限:

rwx-

閉じる

項目	説明
ディレクトリ階層	アップロード先のディレクトリ階層のパスが表示されます。
名前	アップロードしたファイルの名前が表示されます。
所有者権限	アップロードしたファイルに付与された所有者権限が表示されます。

11.2.12 ユーザーファイル用ディレクトリ作成 (V01-12 以降)

The screenshot shows a 'Task Details' window with the following information:

- 概要 (Summary):**
 - タスクID: 0000000028
 - 種別: ユーザーファイル用ディレクトリ作成
 - ステータス: 完了 (indicated by a green checkmark)
 - メッセージ: -
 - リソース名: ajs-mgr99.98.jp1-cld.local-/sampledir01
 - リソースID: ajs-mgr99.98.jp1-cld.local-/sampledir01
 - 実行者: sample.user
- 実行履歴 (Execution History):**

実行開始日時	2022-11-22 16:21:01	実行完了日時	2022-11-22 16:22:01
最終更新日時	2022-11-22 16:22:01	実行時間	0:01:00
- 詳細 (Details):**
 - ディレクトリ階層: /usrfile
 - 名前: sampledir01
 - 所有者権限: rwx

A '閉じる' (Close) button is located at the bottom right of the window.

項目	説明
ディレクトリ階層	作成先のディレクトリ階層のパスが表示されます。
名前	作成したディレクトリの名前が表示されます。
所有者権限	作成したディレクトリに付与された所有者権限が表示されます。

11.2.13 ユーザーファイルコピー（V01-12 以降）

タスク詳細

概要

タスクID:0000000029

種別:ユーザーファイルコピー

ステータス:完了

メッセージ:-

リソース名:ajs-mgr99.98.jp1-cld.local-./samplefile02

リソースID:ajs-mgr99.98.jp1-cld.local-./samplefile02

実行者:sample.user

実行開始日時2022-11-22 16:22:01

実行完了日時2022-11-22 16:23:01

最終更新日時2022-11-22 16:23:01

実行時間0:01:00

詳細

種別:ファイル

コピー内容:

項目	コピー元	コピー先
ディレクトリ階層	.	./sampledir01
名前	samplefile02	samplefile02

閉じる

項目	説明
種別	操作対象のユーザーファイルの種別が表示されます。
コピー内容	コピー元とコピー先のユーザーファイルのディレクトリ階層のパス，名前がそれぞれ表示されます。

11.2.14 ユーザーファイル移動・名前変更（V01-12 以降）

タスク詳細

概要

タスクID:0000000030

種別:ユーザーファイル移動・名前変更

ステータス:完了

メッセージ:-

リソース名:ajs-mgr99.98.jp1-cld.local-./samplefile02

リソースID:ajs-mgr99.98.jp1-cld.local-./samplefile02

実行者:sample.user

実行開始日時2022-11-22 16:23:01

実行完了日時2022-11-22 16:24:01

最終更新日時2022-11-22 16:24:01

実行時間0:01:00

詳細

種別:ファイル

移動・変更内容:

項目	移動・変更前	移動・変更後
ディレクトリ階層	.	./sampledir01
名前	samplefile02	samplefile02

閉じる

11. タスク

JP1 Cloud Service サービスポータル 利用ガイド

120

項目	説明
種別	操作対象のユーザーファイルの種別が表示されます。
移動・変更内容	移動・変更前と移動・変更後のユーザーファイルのディレクトリ階層のパス，名前がそれぞれ表示されます。

11.2.15 ユーザーファイル権限変更（V01-12以降）

The screenshot shows a 'Task Details' window with two main sections: '概要' (Overview) and '詳細' (Details).

概要 (Overview):

- タスクID: 0000000031
- 種別: ユーザーファイル権限変更
- ステータス: 完了 (indicated by a green checkmark)
- メッセージ: -
- リソース名: ajs-mgr99.98.jp1-cld.local-/samplefile02
- リソースID: ajs-mgr99.98.jp1-cld.local-/samplefile02
- 実行者: sample.user

実行履歴 (Execution History):

実行開始日時	2022-11-22 16:24:01	実行完了日時	2022-11-22 16:25:01
最終更新日時	2022-11-22 16:25:01	実行時間	0:01:00

詳細 (Details):

- ディレクトリ階層: /usrfile
- 名前: samplefile02
- 種別: ファイル

変更内容 (Change Content):

項目	変更前	変更後
所有者	実行ユーザー	実行ユーザー
所有者権限	rw-	r--

At the bottom right of the window is a button labeled '閉じる' (Close).

項目	説明
ディレクトリ階層	操作対象のユーザーファイルのディレクトリ階層のパスが表示されます。
名前	操作対象のユーザーファイルの名前が表示されます。
種別	操作対象のユーザーファイルの種別が表示されます。
変更内容	変更前と変更後のユーザーファイルの所有者，所有者権限がそれぞれ表示されます。

11.2.16 ユーザー作成

タスク詳細

リソース名:
リソースID:
実行者:

サンプル ユーザー
sample.user2
sample.admin

実行開始日時	2020-03-09 15:59:01	実行完了日時	2020-03-09 16:00:01
最終更新日時	2020-03-09 16:00:01	実行時間	0:01:00

詳細

ユーザー情報

チーム名:
氏名:
ローマ字氏名:
権限:

サンプル
サンプル ユーザー
sample user
利用者

環境利用設定

接続ホストの権限設定:

マネージャーホスト名	環境種別	設定
ajs-mgr99.98.jp1-cld.local	本番環境	管理
im-mgr99.98.jp1-cld.local	本番環境	運用
ajs-mgr99.99.jp1-cld.local	開発環境	利用しない
im-mgr99.99.jp1-cld.local	開発環境	利用しない

ネットワークの権限設定:

環境種別	設定
本番環境	利用する
開発環境	利用しない

閉じる

カテゴリ	項目	説明
ユーザー情報	チーム名	選択したチーム名が表示されます。
	氏名	入力した氏名が表示されます。
	ローマ字氏名	入力したローマ字氏名が表示されます。
	権限	選択したサービスポータルでの権限が表示されます。
環境利用設定	接続ホストの権限設定	提供されるホストごとに、選択した権限が表示されます。
	ネットワークの権限設定	提供される環境種別ごとに、選択したネットワークの権限が表示されます。

11.2.17 ユーザー編集

タスク詳細

リソース名: サンプル ユーザー

リソースID: sample.user2

実行者: sample.admin

実行開始日時	2020-03-09 16:00:01	実行完了日時	2020-03-09 16:01:01
最終更新日時	2020-03-09 16:01:01	実行時間	0:01:00

編集内容:

ユーザー情報:

項目	変更前	変更後
チーム名	サンプル	サンプル
氏名	サンプル ユーザー	サンプル ユーザー
ローマ字氏名	sample user	sample user
権限	利用者	利用者

環境利用設定:

接続ホストの権限設定:

マネージャーホスト名	環境種別	変更前	変更後
ajs-mgr99.98.jp1-cld.local	本番環境	管理	運用
im-mgr99.98.jp1-cld.local	本番環境	運用	運用
ajs-mgr99.99.jp1-cld.local	開発環境	利用しない	利用しない
im-mgr99.99.jp1-cld.local	開発環境	利用しない	利用しない

ネットワークの権限設定:

環境種別	変更前	変更後
本番環境	利用する	利用しない
開発環境	利用しない	利用しない

閉じる

カテゴリ	項目		説明
編集内容	ユーザー情報		変更前と変更後のチーム名、氏名、ローマ字氏名、権限がそれぞれ表示されます。
	環境利用設定	接続ホストの権限設定	提供されるホストごとに、変更前と変更後の接続ホストの権限設定の内容が表示されます。
		ネットワークの権限設定	提供される環境種別ごとに、変更前と変更後のネットワークの権限設定の内容が表示されます。

11.2.18 チーム作成

タスク詳細

概要

タスクID: 0000000001

種別: チーム作成

ステータス: 完了

メッセージ: -

リソース名: サンプル

リソースID: サンプル

実行者: sample.admin

実行開始日時	2020-03-09 15:55:01	実行完了日時	2020-03-09 15:56:01
最終更新日時	2020-03-09 15:56:01	実行時間	0:01:00

詳細

チーム名: サンプル

関連付く環境種別: なし

説明: -

閉じる

項目	説明
チーム名	入力したチーム名が表示されます。
関連付く環境種別	選択したチームに関連付ける環境種別が表示されます。
説明	入力したチームの説明が表示されます。

11.2.19 チーム編集

タスク詳細

概要

タスクID: 0000000002

種別: チーム編集

ステータス: 完了

メッセージ: -

リソース名: サンプル

リソースID: サンプル

実行者: sample.admin

実行開始日時	2020-03-09 15:56:01	実行完了日時	2020-03-09 15:57:01
最終更新日時	2020-03-09 15:57:01	実行時間	0:01:00

詳細

編集内容:

変更前/変更後	チーム名	関連付く環境種別	説明
変更前	サンプル	なし	-
変更後	サンプル	なし	サンプルです。

閉じる

項目	説明
編集内容	変更前と変更後のチーム名，関連付く環境種別，説明がそれぞれ表示されます。

11.2.20 チームメンバー変更

タスク詳細

概要

タスクID:

0000000003

種別:

チームメンバー変更

ステータス:

完了

メッセージ:

-

リソース名:

サンプル

リソースID:

サンプル

実行者:

sample.admin

実行開始日時

2020-03-09 15:57:01

実行完了日時

2020-03-09 15:58:01

最終更新日時

2020-03-09 15:58:01

実行時間

0:01:00

詳細

変更後チーム名:

サンプル

変更メンバー:

ユーザーID	氏名	変更前チーム名	ステータス
sample.user2	サンプル ユーザー	ポータル	完了

閉じる

項目	説明
変更後チーム名	変更後のチーム名が表示されます。
変更メンバー	チームを変更した各メンバーのユーザー ID，氏名，変更前チーム名，ステータス（実行中/完了/エラー）が表示されます。

11.3 タスクの保持期間

タスクのステータスに関係なく、タスクの保持期間は最後にステータスが変化してから 90 日（デフォルト）です。最終更新日時から 90 日を経過したタスクは削除されます。なお、タスクの保持数に実用上の上限はありませんが、タスク ID が最大値に達した場合には 1 から採番し直します。

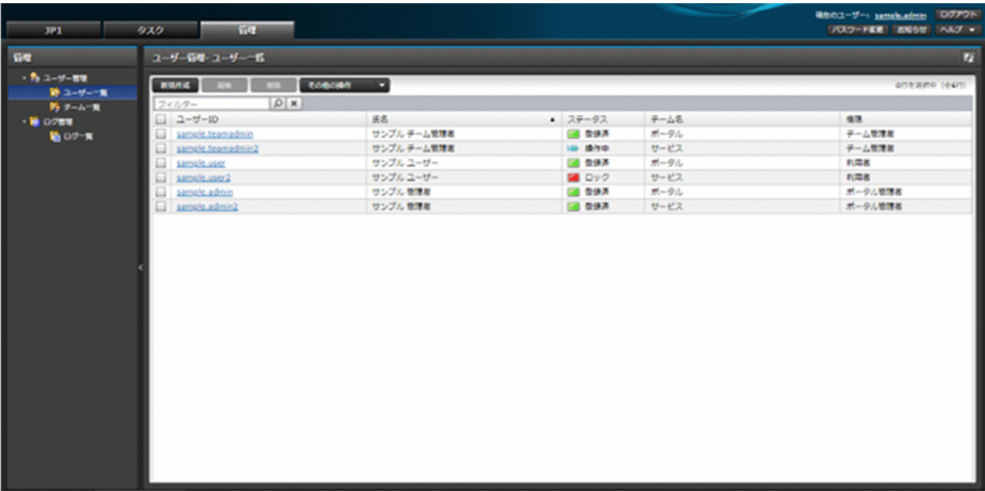
12

ユーザー管理

ユーザー管理のメニューで提供する機能について説明します。

12.1 ユーザー一覧

[管理] 画面のナビメニュー [ユーザー管理] - [ユーザー一覧] を選択すると、ユーザー一覧画面が表示されます。



12.1.1 一覧表示

ポータルのユーザーの情報を表示できます。

チーム管理者の場合、自身が所属するチームのユーザーの情報だけが表示されます。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
[チェックボックス]	操作対象を示すチェックボックスです。
ユーザー ID	ユーザーごとに割り当てられたユーザー ID が表示されます。ユーザー ID のリンクをクリックすると、ユーザーの詳細情報を参照することができます。参照できる内容は「12.1.2 詳細表示」を参照してください。
氏名	ユーザーの漢字氏名が以下の形式で表示されます。 形式 姓△名 (凡例) △：半角空白
ステータス	ユーザーの状態が表示されます。 登録済 登録が完了している状態です。 操作中 変更操作により、操作中の状態です。

項目	説明
ステータス	<p>ロック</p> <p>アカウントがロックされている状態です。</p> <p>ステータスが操作中の場合、そのユーザーを選択したときに [編集]・[削除]・[チームメンバー変更]・[ロック解除]・[パスワードリセット] ボタンが非活性になり、それらの操作を行うことができません。</p> <p>なお、操作中は他ステータスより優先して表示されます。</p>
チーム名	ユーザーが所属するチーム名が表示されます。
権限	<p>サービスポータルでのユーザーの権限が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 利用者 • チーム管理者 • ポータル管理者

12.1.2 詳細表示

ポータルのユーザーの詳細情報を表示できます。

ユーザー一覧画面から、対象のユーザーのユーザー ID のリンクをクリックすると、詳細表示のダイアログが起動します。

表示する項目と説明を以下に示します。

ユーザー詳細

⌵ ユーザー情報

ユーザーID: sample.user

チーム名: ポータル

氏名: サンプル ユーザー

ローマ字氏名: sample user

権限: 利用者

⌵ 環境利用設定

接続ホストの権限設定:

マネージャーホスト名	環境種別	設定
ajs-mgr99.98.jp1-cld.local	本番環境	利用しない
im-mgr99.98.jp1-cld.local	本番環境	利用しない
ajs-mgr99.99.jp1-cld.local	開発環境	管理
im-mgr99.99.jp1-cld.local	開発環境	参照

ネットワークの権限設定:

環境種別	設定
本番環境	利用しない
開発環境	利用する

閉じる

注意

Web ブラウザーの表示倍率によっては、接続ホストの権限設定およびネットワークの権限設定の表右部に縦スライドバーが表示されることがあります。操作や動作に影響はありません。

カテゴリ	項目	説明
ユーザー情報	ユーザー ID	ユーザーごとに割り当てられたユーザー ID が表示されます。
	チーム名	ユーザーが所属するチーム名が表示されます。
	氏名	ユーザーの氏名が以下の形式で表示されます。 形式 姓△名 (凡例) △：半角空白
	ローマ字氏名	ローマ字氏名が表示されます。
	権限	サービスポータルでのユーザーの権限が表示されます。 <ul style="list-style-type: none">• 利用者• チーム管理者• ポータル管理者
環境利用設定	接続ホストの権限設定	提供されるホストごとに設定されている権限を表示します。権限は以下のどれかが表示されます。 <ul style="list-style-type: none">• 利用しない• 参照• 運用• 管理
	ネットワークの権限設定	提供される環境種別ごとに設定されているネットワークの権限を表示します。以下のどれかが表示されます。 <ul style="list-style-type: none">• 利用しない• 利用する

12.1.3 新規作成

ユーザーを新規に作成できます。

ユーザー一覧画面から、[新規作成] ボタンをクリックして起動する以下のウィザードに必要な情報を入力し、[実行] ボタンをクリックして作成します。

ユーザーの作成

1. イントロダクション > 2. ユーザー情報 > 3. 環境利用設定 > 4. 確認

氏名等のユーザーに関するデータを設定します。

チーム名: サンプル

氏名: * 姓 名

ローマ字氏名: * 姓 名

権限: 利用者

① 同姓同名のユーザーがすでに存在する場合、ローマ字氏名の後ろに規定の文字列が付加されます。
ローマ字氏名は作成後に変更できません。

* 必須入力

戻る 次へ キャンセル

ユーザーの作成

1. イントロダクション > 2. ユーザー情報 > 3. 環境利用設定 > 4. 確認

ユーザーに与えるホストおよびネットワークの権限を設定します。

接続ホストの権限設定: ?

マネージャーホスト名	環境種別	参照	運用	管理
ajs-mgr99.98.jp1-cld.local	本番環境	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
im-mgr99.98.jp1-cld.local	本番環境	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ajs-mgr99.99.jp1-cld.local	開発環境	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
im-mgr99.99.jp1-cld.local	開発環境	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

① 接続ホストごとの権限レベルを選択してください。利用しないホストの場合はいずれもチェックを入れないでください。

ネットワークの権限設定: ?

環境種別	利用する
本番環境	<input type="checkbox"/>
開発環境	<input type="checkbox"/>

① 環境種別ごとに、ユーザーに利用する権限を与えるかをチェックボックスで選択してください。利用しない場合はチェックを入れないでください。

* 必須入力

戻る 次へ キャンセル

注意

Web ブラウザーの表示倍率によっては、接続ホストの権限設定およびネットワークの権限設定の表右部に縦スライドバーが表示されることがあります。操作や動作に影響はありません。

ユーザーの作成

1. イントロダクション > 2. ユーザー情報 > 3. 環境利用設定 > 4. 確認

設定内容を確認してユーザーを作成します。

ユーザー情報

チーム名: サンプル

氏名: サンプル ユーザー

ローマ字氏名: sample user

権限: 利用者

環境利用設定

接続ホストの権限設定:

マネージャーホスト名	環境種別	設定
ajs-mgr99.98.jp1-cld.local	本番環境	利用しない
im-mgr99.98.jp1-cld.local	本番環境	利用しない
ajs-mgr99.99.jp1-cld.local	開発環境	管理
im-mgr99.99.jp1-cld.local	開発環境	参照

ネットワークの権限設定:

環境種別	設定
本番環境	利用しない
開発環境	利用する

* 必須入力

戻る 実行 キャンセル

注意

Web ブラウザーの表示倍率によっては、接続ホストの権限設定およびネットワークの権限設定の表右部に縦スライドバーが表示されることがあります。操作や動作に影響はありません。

カテゴリ	項目	説明	指定要否
ユーザー情報	チーム名	ユーザーが所属するチームを選択してください。 選択できるチーム一覧の表示順は、文字列順です。 ログインユーザーがチーム管理者の場合、自身が所属するチームだけが表示され、選択可能です。	必須
	氏名	氏名を入力してください。 姓、名それぞれ 1～30 文字の任意文字列（ただし、半角空白と以下の使用禁止文字を除く）を指定可能です。 使用禁止文字 制御文字および ” ’ ` \$ ” ’ ‘	必須
	ローマ字氏名	ローマ字氏名を入力してください。 姓、名それぞれ 1～18 バイトの半角英小文字（以下、使用禁止文字を除く）を指定可能です。また、「<ローマ字姓>.<ローマ字名>」（姓名をドットで結合した文字列）が 20 バイト以内の範囲で指定可能です。 使用禁止文字 制御文字および ” ’ ` \$ ” ’ ‘	必須
	権限	サービスポータルでの権限を以下より選択してください。 デフォルトは「利用者」が選択されています。	必須

カテゴリ	項目	説明	指定要否
ユーザー情報	権限	<ul style="list-style-type: none"> • 利用者 • チーム管理者 • ポータル管理者 ログインユーザーがチーム管理者の場合、「ポータル管理者」は選択肢として表示されず、選択できません。	必須
環境利用設定	接続ホストの権限設定	提供されるホストごとに、「参照」「運用」「管理」からユーザーに与える権限をチェックボックスで選択してください。何も選択しない場合、権限は「利用しない」になります。 デフォルトは何も選択されていません。 ログインユーザーがチーム管理者の場合、自身が所属するチームに関連付いている環境種別のホストに対してだけ権限を設定でき、それ以外の環境種別のホストの権限は「利用しない」になります。 関連付く環境種別がない場合、すべてのホストに対して権限を設定できます。	必須
	ネットワークの権限設定	提供される環境種別ごとに、ユーザーに利用する権限を与えるかをチェックボックスで選択してください。何も選択しない場合、権限は「利用しない」になります。 デフォルトは何も選択されていません。 ログインユーザーがチーム管理者の場合、自身が所属するチームに関連付いている環境種別に対してだけ権限を設定でき、それ以外の環境種別の権限は「利用しない」になります。 関連付く環境種別がない場合、すべての環境種別に対して権限を設定できます	必須
確認	内容の確認	作成前の確認のために、入力内容が表示されます。	—

12.1.4 編集

ユーザーの情報や権限を編集できます。

ユーザー一覧画面から、対象のユーザーを1つ選択して「編集」ボタンをクリックします。起動する以下のウィザードの中で表示される情報を変更し、「実行」ボタンをクリックして編集します。

複数選択した場合やステータスが操作中のユーザーを選択した場合、「編集」ボタンが非活性となり、操作できません。

ユーザーの編集

1. イントロダクション > 2. ユーザー情報 > 3. 環境利用設定 > 4. 確認

氏名等のユーザーに関するデータを設定します。

チーム名:

氏名: * 姓 名

ローマ字氏名:

権限:

* 必須入力

戻る 次へ キャンセル

ユーザーの編集

1. イントロダクション > 2. ユーザー情報 > 3. 環境利用設定 > 4. 確認

ユーザーに与えるホストおよびネットワークの権限を設定します。

接続ホストの権限設定: ?

マネージャーホスト名	環境種別	参照	運用	管理
ajs-mgr99.98.jp1-cld.local	本番環境	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
im-mgr99.98.jp1-cld.local	本番環境	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ajs-mgr99.99.jp1-cld.local	開発環境	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
im-mgr99.99.jp1-cld.local	開発環境	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

① 接続ホストごとの権限レベルを選択してください。利用しないホストの場合はいずれもチェックを入れないでください。

ネットワークの権限設定: ?

環境種別	利用する
本番環境	<input type="checkbox"/>
開発環境	<input checked="" type="checkbox"/>

① 環境種別ごとに、ユーザーに利用する権限を与えるかをチェックボックスで選択してください。利用しない場合はチェックを入れないでください。

* 必須入力

戻る 次へ キャンセル

注意

Web ブラウザーの表示倍率によっては、接続ホストの権限設定およびネットワークの権限設定の表右部に縦スライダーが表示されることがあります。操作や動作に影響はありません。

ユーザーの編集

1. イントロダクション > 2. ユーザー情報 > 3. 環境利用設定 > 4. 確認

設定内容を確認してユーザーを編集します。

ユーザー情報

チーム名: ポータル

氏名: サンプル ユーザー

ローマ字氏名: sample user

権限: 利用者

環境利用設定

接続ホストの権限設定:

マネージャーホスト名	環境種別	設定
ajs-mgr99.98.jp1-cld.local	本番環境	利用しない
im-mgr99.98.jp1-cld.local	本番環境	利用しない
ajs-mgr99.99.jp1-cld.local	開発環境	管理
im-mgr99.99.jp1-cld.local	開発環境	参照

ネットワークの権限設定:

環境種別	設定
本番環境	利用しない
開発環境	利用する

* 必須入力

戻る 実行 キャンセル

注意

Web ブラウザーの表示倍率によっては、接続ホストの権限設定およびネットワークの権限設定の表右部に縦スライドバーが表示されることがあります。操作や動作に影響はありません。

カテゴリ	項目	説明	指定要否
ユーザー情報	チーム名	ユーザーが所属するチームを選択してください。 選択できるチーム一覧の表示順は、文字列順です。 ログインユーザーがチーム管理者の場合、自身が所属するチームだけが表示され、選択可能です。	必須
	氏名	氏名を入力してください。 姓、名それぞれ 1～30 文字の任意文字列（ただし、半角空白と以下の使用禁止文字を除く）を指定可能です。 使用禁止文字 制御文字および ” ’ ` \$ ” ’ ‘	必須
	ローマ字氏名	ローマ字氏名が表示されます。	—
	権限	サービスポータルでの権限を以下より選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> 利用者 チーム管理者 ポータル管理者 ログインユーザーがチーム管理者の場合、「ポータル管理者」は選択肢として表示されず、選択できません。	必須

カテゴリ	項目	説明	指定要否
環境利用設定	接続ホストの権限設定	提供されるホストごとに、「参照」「運用」「管理」からユーザーに与える権限をチェックボックスで選択してください。何も選択しない場合、権限は「利用しない」になります。 ログインユーザーがチーム管理者の場合、自身が所属するチームに関連付いている環境種別のホストに対してだけ権限を設定でき、それ以外の環境種別のホストの権限は変更できません。 関連付く環境種別がない場合、すべてのホストに対して権限を設定できます。	必須
	ネットワークの権限設定	提供される環境種別ごとに、ユーザーに利用する権限を与えるかをチェックボックスで選択してください。何も選択しない場合、権限は「利用しない」になります。 ログインユーザーがチーム管理者の場合、自身が所属するチームに関連付いている環境種別に対してだけ権限を設定でき、それ以外の環境種別の権限は変更できません。 関連付く環境種別がない場合、すべての環境種別に対して権限を設定できます	必須
確認	内容の確認	編集前の確認のために、入力内容が表示されます。	—

12.1.5 削除

ユーザーを削除できます。

ユーザー一覧画面から、対象のユーザーをすべて選択して「削除」ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログで対象に誤りがないことを確認（チェック）し、「実行」ボタンをクリックして削除します。

ステータスが操作中のユーザーを選択した場合やログインユーザー自身を選択した場合、「削除」ボタンが非活性となり、操作できません。

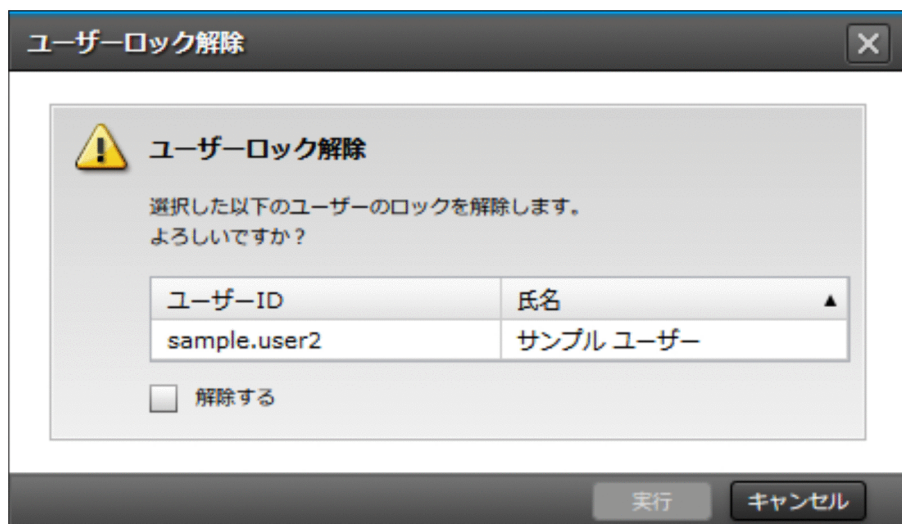


12.1.6 ロック解除

ユーザーのロック状態を解除できます。

ユーザー一覧画面から、対象のユーザーをすべて選択して［その他の操作］から［ロック解除］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログで対象に誤りがないことを確認（チェック）し、［実行］ボタンをクリックしてロックを解除します。

ステータスが操作中または登録済のユーザーを選択した場合、［ロック解除］ボタンが非活性となり、操作できません。

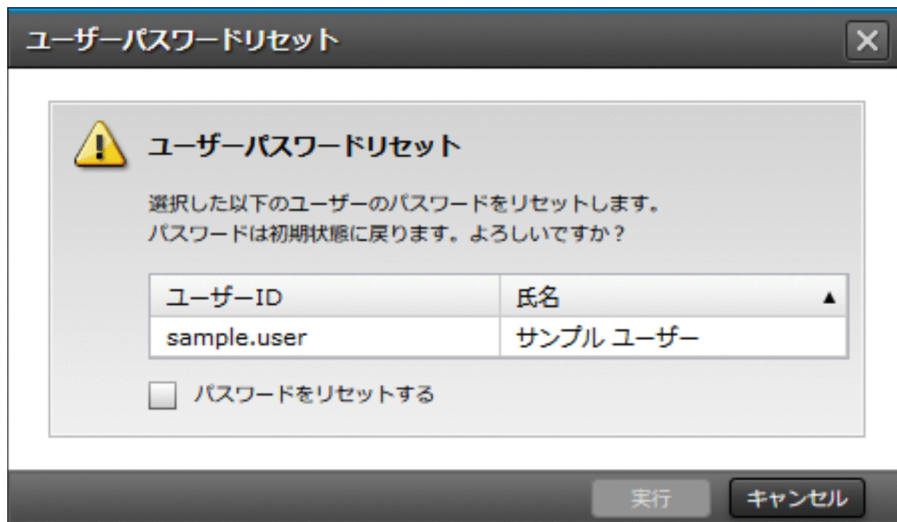


12.1.7 パスワードのリセット

ユーザーのパスワードをリセットできます。

ユーザー一覧画面から、対象のユーザーをすべて選択して［その他の操作］から［パスワードリセット］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログで対象に誤りがないことを確認（チェック）し、［実行］ボタンをクリックしてパスワードをリセットします。

ステータスが操作中のユーザーを選択した場合やログインユーザー自身を選択した場合、［パスワードリセット］ボタンが非活性となり、操作できません。

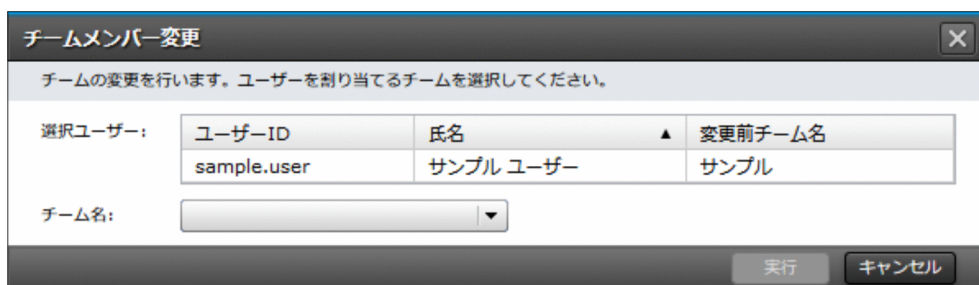


12.1.8 チームメンバーの変更

チームのメンバーを変更できます。

ユーザー一覧画面から、対象のユーザーをすべて選択して［その他の操作］から［チームメンバー変更］ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログで変更先のチームを選択し、［実行］ボタンをクリックしてメンバーを変更します。

ステータスが操作中のユーザーを選択した場合、［チームメンバー変更］ボタンが非活性となり、操作できません。



項目	説明
選択ユーザー	選択したユーザーの情報が表示されます。
チーム名	変更先のチームを選択します。

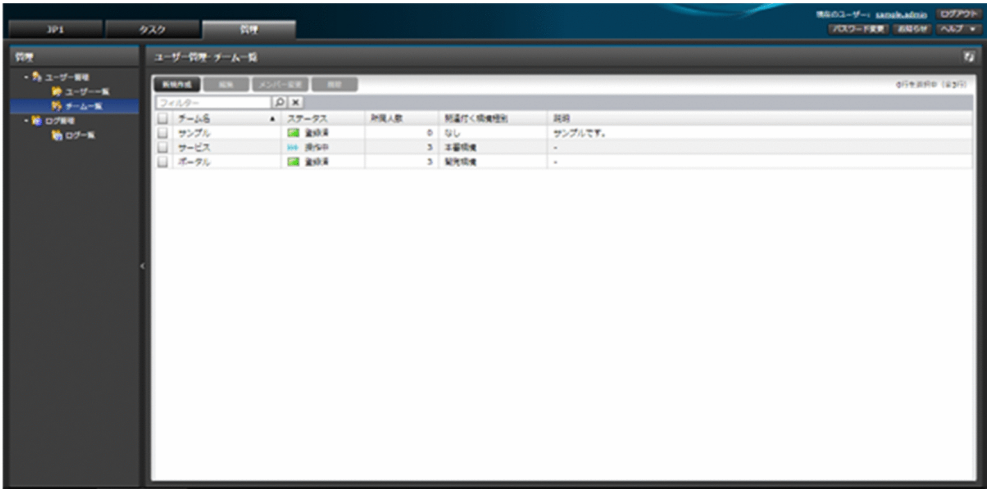
12.1.9 ユーザー管理ポリシーに関する注意事項

サービスポータルユーザー管理におけるポリシーを以下に示します。

- ポータルのユーザーの新規作成時に ID が重複した場合は、ユーザー ID の末尾に前 0 なしの 2 からの連番を付与して ID を生成します。なお、連番の桁数は可変であり、「連番付与前のユーザー ID の長さ」と「連番の桁数」の合計が 20 バイトの範囲内で ID を生成可能です。
- すでに削除されたポータルのユーザーの情報を編集することはできません。
- ユーザー操作の履歴や設定情報は、管理者のタスクの実行履歴から取得することができます。
- パスワードのポリシーとして、パスワードは英大文字・英小文字・数字・記号のうち 3 種類以上を使用する文字列で、長さは 8 文字以上にする必要があります。パスワードの中にユーザー ID や氏名に含まれる 3 文字以上連続する文字列は使用できません。また、過去 3 回のパスワードは使用禁止で、パスワードの有効期間は 90 日、パスワードのリセット含めて変更後 1 分間はパスワードを再度変更することはできません。

12.2 チーム一覧

[管理] 画面のナビメニュー [ユーザー管理] - [チーム一覧] を選択すると、サービスポータルของทีม一覧画面が表示されます。



12.2.1 一覧表示

チームの情報を表示できます。

チーム管理者の場合、自身が所属するチームの情報だけが表示されます。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
[チェックボックス]	操作対象を示すチェックボックスです。
チーム名	チーム名が表示されます。
ステータス	チームの状態が表示されます。 登録済 登録が完了している状態です。 操作中 変更操作により、操作中の状態です。 ステータスが操作中の場合、そのチームを選択したときに [編集]・[削除]・[メンバー変更] ボタンが非活性になり、それらの操作を行うことができません。 なお、操作中は他ステータスより優先して表示されます。
所属人数	チームの所属人数が表示されます。 サービスポータルに登録されているすべてのユーザーのうち、当該チームに所属しているユーザーの人数が表示されます。
関連付く環境種別	チームと関連付いている環境種別が表示されます。

項目	説明
関連付く環境種別	関連付けがされていない場合、「なし」と表示されます。
説明	チームの説明が表示されます。

12.2.2 新規作成

チームを新規に作成できます。

チーム一覧画面から、[新規作成] ボタンをクリックして起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し、[実行] ボタンをクリックして作成します。

すでに存在する同名のチームを複数作成することはできません。

項目	説明	指定要否
チーム名	<p>チーム名を入力します。</p> <p>1～64 バイトの任意文字列（以下、使用禁止文字を除く）で存在しないチーム名を指定してください。</p> <p>使用禁止文字</p> <p>制御文字および ” ’ ` \$ ” ’ ‘ _ / ¥ [] : ; = , + * ? < > %</p> <p>また、空白または.だけの文字列、空白と.だけから成る文字列、.で終わる文字列、および1文字だけの名称は指定できません。</p> <p>注意事項</p> <p>(1) チーム名は、「半角英大文字／小文字」を区別しません。そのため、例えば以下のような制限がありますのでご注意ください。</p> <p>例) チーム「abc123」がすでに存在する場合、チーム「ABC123」を作成することはできません。</p>	必須
関連付く環境種別	<p>チームに関連付ける環境種別（開発環境、本番環境など）を選択します。</p> <p>関連付けをしない場合は、「なし」を選択してください。デフォルトは「なし」が選択されています。</p>	必須
説明	<p>チームの説明を入力します。</p> <p>1～255 バイトの任意文字列（以下、使用禁止文字を除く）を指定可能です。</p>	任意

項目	説明	指定要否
説明	使用禁止文字 制御文字および ” ’ ` \$ ” ’ ‘	任意

12.2.3 編集

チームの情報を編集できます。

チーム一覧画面から、対象のチームを1つ選択して[編集] ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに表示される情報を変更して内容に誤りがないことを確認（チェック）し，[実行] ボタンをクリックして編集します。

複数選択した場合やステータスが操作中のチームを選択した場合，[編集] ボタンが非活性となり，操作できません。

項目	説明	指定要否
チーム名	<p>チーム名を入力します。</p> <p>1～64 バイトの任意文字列（以下，使用禁止文字を除く）で存在しないチーム名を指定してください。すでに存在する同名のチーム名に編集することはできません。</p> <p>使用禁止文字 制御文字および ” ’ ` \$ ” ’ ‘ _ / ¥ [] : ; = , + * ? < > % また，空白または.だけの文字列，空白と.だけから成る文字列，.で終わる文字列，および1 文字だけの名称は指定できません。</p> <p>注意事項 (1) チーム名は，「半角英大文字／小文字」を区別しません。そのため，例えば以下のような制限がありますのでご注意ください。 例) チーム「abc123」がすでに存在する場合，チーム「ABC123」を作成することはできません。</p>	必須
関連付く環境種別	<p>チームに関連付ける環境種別（開発環境，本番環境など）を選択します。</p> <p>関連付けをしない場合は，「なし」を選択してください。</p>	必須

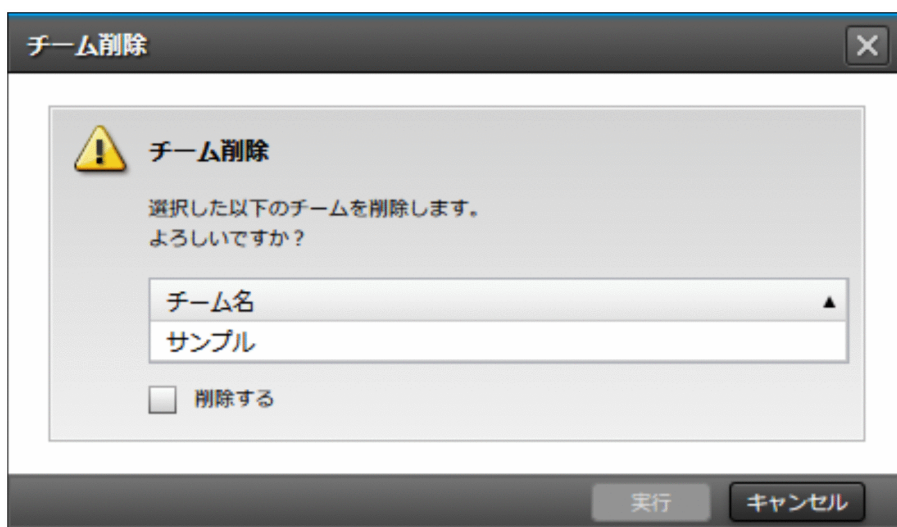
項目	説明
選択済みユーザー	すでに選択したチームに所属しているメンバーは、削除することはできません。

12.2.5 削除

チームを削除できます。

チーム一覧画面から、対象のチームをすべて選択して [削除] ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログで対象に誤りがないことを確認 (チェック) し, [実行] ボタンをクリックして削除します。

ステータスが操作中のチームを選択した場合や 1 人以上のユーザーが所属しているチームを選択した場合, [削除] ボタンが非活性となり, 操作できません。



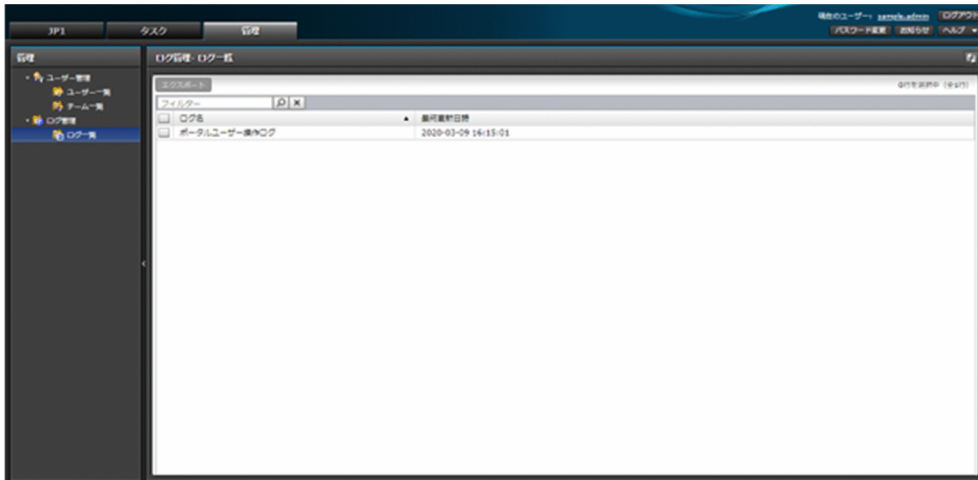
13

ログ管理

ログ管理のメニューで提供する機能について説明します。

13.1 ログ一覧

[管理] 画面のナビメニュー [ログ管理] - [ログ一覧] を選択すると、ログ一覧画面が表示されます。



13.1.1 一覧表示

管理者向けにサービスから提供可能な各種ログを表示できます。

チーム管理者の場合、一覧には何も表示されません。

一覧に表示する項目と説明を以下に示します。

項目	説明
[チェックボックス]	操作対象を示すチェックボックスです。
ログ名	ログの種類を表す名称が表示されます。 ポータルユーザー操作ログ ポータルのユーザーの操作履歴が出力されています。
最終更新日時	ログの最終更新日時が表示されます。

13.1.2 エクスポート

管理者向けのログの内容をエクスポートしてダウンロードできます。

ログ一覧画面から、対象のログをすべて選択して [エクスポート] ボタンをクリックします。起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し、[実行] ボタンをクリックしてエクスポートします。

項目	説明	指定要否
ログ名	選択したすべてのログ名が表示されます。	—
取得日数	<p>ログの取得日数を選択します。</p> <p>1 日分から選択でき、最大 90 日分まで選択できます。</p> <p>システム負荷の軽減のため、取得が必要な最低日数を選択してください。</p>	必須

エクスポートしたログは、実行したタスクのタスク詳細ダイアログのファイル名「<タスク ID>.zip」（例：0000000002.zip）のリンクからダウンロードできます。エクスポートを実行したユーザーだけがログをダウンロードできます。

ダウンロードしたファイル中に格納されている各ログのファイル名を以下に示します。

ログ名	ファイル名	ファイル名の例
ポータルユーザー操作ログ	<タスク ID>_portallog.csv	0000000002_portallog.csv

ポータルユーザー操作ログの出力形式を以下に示します。

出力形式	日時 (dd/MMM/yyyy:hh:mm:ss.SSSSSSSS ZZZZ) ,監査の成功／失敗,ユーザー ID,メッセージテキスト
説明	<ul style="list-style-type: none"> 文字コードは UTF-8 です。 改行コードは LF です。 ヘッダー行はありません。 各項目の区切り文字はコンマ(,)です。 各項目はダブルクォート(")で囲まれて出力されます。 日時のタイムゾーンは JST です。 監査の成功／失敗には、内容に応じて「成功の監査」または「失敗の監査」が出力されます。
出力例	<p>"26/Apr/2021:13:37:30.632352081 +0900", "失敗の監査", "portal.user", "ユーザー アカウント認証を実行しました。アカウントがロックアウトされました。"</p> <p>"26/Apr/2021:13:37:30.632352081 +0900", "失敗の監査", "portal.user", "ユーザー アカウント認証を実行しました。"</p> <p>"26/Apr/2021:13:41:17.951368985 +0900", "成功の監査", "portal.user", "ユーザー アカウントのロック解除を実行しました。"</p>

ポータルユーザー操作ログの主な出力契機と、対応して出力される内容を以下に示します。

主な出力契機	監査の成功／失敗	出力されるメッセージテキスト (複数メッセージの場合はそれらが連続して出力されます)
ログイン成功, ログイン中, ログアウト, およびログイン時にパスワード変更 が必要な場合	成功の監査	ユーザー アカウント認証を実行しました。 注意 本メッセージは、ログイン中にも断続的に 出力されます。
ログイン失敗	失敗の監査	ユーザー アカウント認証を実行しました。 注意 存在するユーザーアカウントの場合だけ、 出力されます。また、複数回出力される場 合があります。
パスワード変更 (成功)	成功の監査	アカウントのパスワード変更を実行しました。
パスワード変更 (失敗)	失敗の監査	アカウントのパスワード変更を実行しました。
アカウントのロックアウト	失敗の監査	ユーザー アカウント認証を実行しました。アカ ウントがロックアウトされました。
ユーザー作成	成功の監査	ユーザー アカウント作成を実行しました。
ユーザー編集	成功の監査	ユーザー アカウント変更を実行しました。
ユーザー削除	成功の監査	ユーザー アカウント削除を実行しました。
ユーザーロック解除	成功の監査	ユーザー アカウントのロック解除を実行しまし た。
ユーザーパスワードリセット	成功の監査	アカウントのパスワードリセットを実行しまし た。

14

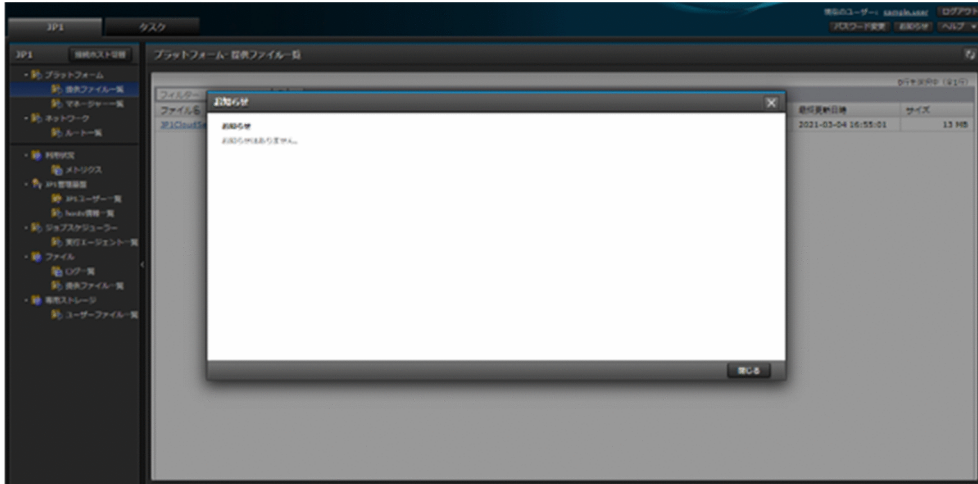
その他，共通

サービスポータルその他の共通機能について説明します。

14.1 お知らせ

ログイン画面の通知エリアと同じく，システムメンテナンスによるサービス停止など，サービス提供元からのお知らせを表示できます。

お知らせは，メイン画面右上の［お知らせ］ボタンをクリックすると表示されます。



14.2 用語集

用語集を表示できます。

用語集は、メイン画面右上の［ヘルプ］から［用語集］ボタンをクリックすると表示されます。V01-10以前はメイン画面右上の［用語集］ボタンをクリックすると表示されます。

14.3 フィードバックの送信 (V01-11 以降)

サービスに対する評価やメッセージといったフィードバックを送信できます。

フィードバックの送信は、メイン画面右上の［ヘルプ］から［フィードバック送信］ボタンをクリックすると起動する以下のダイアログに必要な情報を入力し、［送信］ボタンをクリックしてください。

注意事項

- 送信する内容に、個人情報や機密情報は含めないでください。また、暴言や卑猥な表現等の公序良俗に反する内容、サービスや他人の名誉を毀損する内容や誹謗中傷する内容も含めないでください。
- 送信された内容は、サービスの改善に役立てさせていただきます。いただいた内容について、サービス窓口からの回答はありませんのでご注意ください。サービスに関するお問い合わせはサービス窓口までお願いします。

フィードバック送信

フィードバックを送信します。必要事項を入力してください。

・個人情報や機密情報は含めないでください。

・サービス窓口からの回答はありませんので、サービスに関するお問い合わせはサービス窓口までお願いします。

フィードバック: *

* 必須入力

送信

キャンセル

項目	説明	指定要否
フィードバック	<div>サービスに対するフィードバックを入力します。</div> <div>1～1024 文字の任意文字列（以下、使用禁止文字を除く）を指定可能です。</div> <div>使用禁止文字</div> <div>改行を除く制御文字および ” ’ ` \$ ” ’ ‘</div>	必須

14.4 一覧画面での共通機能について

以下に示す一覧画面で、共通して利用できる機能を以下に示します。

- 提供ファイル一覧
- マネージャー一覧
- ルート一覧
- JP1 ユーザー一覧
- hosts 情報一覧
- 実行エージェント一覧
- ログ一覧
- ユーザーファイル一覧
- タスク一覧
- ユーザー一覧
- チーム一覧

機能	説明
一覧の表示項目のフィルタリング	<ol style="list-style-type: none">1. フィルターのテキストボックスにキーワードを入力します。 フィルターには1～64文字の任意文字列（文字種チェックなし）を指定可能です。2. Enter キーを押すか、虫眼鏡のボタンをクリックします。3. ×印のボタンを押すと、フィルタリングが解除されます。 <p>なお、フィルターは一覧の中の全項目が検索対象となり、フィルターに入力した文字列を含む行がフィルタリングされて表示されます。フィルターに入力した文字列の大文字／小文字は区別されず、AND 検索や OR 検索、正規表現による検索はできません。</p>
特定のカラムでのソート	<ol style="list-style-type: none">1. カラムの見出しをクリックします。2. クリックするたびに昇順、降順が切り替わります。
最新の情報に更新	一覧の内容を最新の情報に更新します。

14.5 表示言語について

サービスポータルが表示言語は、Web ブラウザーの言語設定により次の通りに決定します。

Web ブラウザーの言語種別	サービスポータルの表示言語	備考
日本語(ja)	日本語	
英語(en)	英語	一部、未対応の画面があります。このため、日本語での利用を推奨します。
上記以外	日本語	

14.6 ユーザー環境情報の保存

ユーザー環境の情報として次の情報が，Web ブラウザー単位にデータ保存されます。

ユーザー環境のデータを削除する場合は，Web ブラウザーで履歴を削除してください。

項目	保存する単位
フィルター履歴	サービスポータルユーザーごとに，画面単位に履歴情報を保存されます。
タスク画面にあるページバーの [行数/ページ] の選択値	サービスポータルユーザーごとに保存されます。

15

注意事項・制限事項

サービスポータルの注意事項・制限事項について説明します。

15.1 注意事項

15.1.1 一括操作時のタスク生成について

複数の対象を選択して一括操作した場合、1 件のタスクとして登録するのではなく、それぞれの操作対象ごとの操作を別々のタスクとして登録します。ただし、ログのエクスポートについては 1 件のタスクとして登録します。

15.1.2 タスクの実行について

システム負荷などの原因により、実行したタスクが長時間経過しても終了しない場合があります。この場合には、サービス窓口までお問い合わせください。

15.2 制限事項

- 新規に作成したチームにユーザーを所属させる前に、チーム作成のタスクが完了していることを確認してください。タスクの完了前にユーザーを当該チームに所属させた場合、そのユーザーでのリソースの操作に失敗することがあります。この場合、他のチームに一度そのユーザーを移動させてから、再度作成したチームに所属させてください。
- 一度に 400 人以上のユーザーに対する操作を実行しないでください。タスクがエラーで終了することがあります。

付録

付録 A.1 設定パラメータシート

JP1 の設定パラメータシートには次のような特長があります。

- 設定パラメータシートの作成工数の軽減
品質が保証された JP1 の設定パラメータシートをお客様が利用することで、パラメータシートを作成する工数を抑えられます。
- 設定パラメータの変更内容の管理
設定パラメータシートの「変更履歴」でパラメータの追加・削除、値の変更などを管理しています。
システム更改時には「変更履歴」を基にパラメータを見直したりドキュメントを作成したりすることで、作業工数を削減できます。
- 設定パラメータの絞り込み（一部の製品のみ）
一部の製品の設定パラメータシートには、項目を絞り込むための「Function select」シートがあり、利用したい項目を選択すると必要な設定パラメータが選択表示されます。必要な項目を絞り込むことによって、構築にかかる工数を削減できます。
- パラメータ設定の自動化、収集および差分比較（一部の製品のみ）
「JP1 パラメータユーティリティ」を利用することで、製品がインストール済みの環境に設定パラメータシートの情報を適用したり、設定済みのパラメータ情報を Excel 形式のファイルに収集したりできます。
また、設定値との差分の有無も確認できます。

設定パラメータシートをダウンロードのうえ、パラメータシート（定数設計書）作成時の補助資料としてご活用ください。

(1) JP1/Base 設定パラメータシート

JP1/Base の「設定パラメータシート」と、JP1 パラメータ設定ツールを実行するために必要な「JP1 パラメータ設定ツールプラグイン」について説明します。

JP1/Base の設定パラメータシートには、標準版と拡張版があります。用途に応じてご使用ください。

利用用途による設定パラメータシートの選び方について説明します。

設定パラメータシートで定義の設定を行い、手動で定義ファイルを作成する場合、標準版をご使用ください。

設定パラメータシートで定義の設定を行い、JP1 パラメータ設定ツールで一括定義を行う場合、各定義ファイルの繰り返し（複数）定義できる数に上限があります。以下の上限数の違いから選択してください。

各定義ファイル	繰り返し定義の上限数	
	標準版	拡張版
転送設定ファイル ログファイルトラップ動作定義ファイル イベントログトラップ動作定義ファイル	100 回分	100 回分
上記以外の定義ファイル	10 回分	100 回分

拡張版を選択した場合の注意事項

繰り返し定義の上限数が多い分だけ設定する行が増えるのでファイルサイズが大きくなります。そのため、Excel ファイルを開く時間が標準版よりも 5 倍程度遅くなることをご承知ください。

使用上の注意事項

- ・ 設定パラメータシート及び JP1 パラメータ設定ツールを使用する場合は、必ず設定パラメータシートの JSSMT Usage シートにあります注意事項をご確認の上、ご使用ください。
- ・ 設定パラメータシート及び JP1 パラメータ収集ツールを使用する場合は、必ず設定パラメータシートの JPACT Usage シートにあります注意事項をご確認の上、ご使用ください。
- ・ 資料を加工してご使用いただいてもかまいませんが、成果物は利用者の責任の下でご使用ください。
- ・ 利用者が加工された成果物に対して、日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部では責任を負いかねます。
- ・ 実際のシステム構築時には、必ず製品のマニュアルやリリースノートなど、最新の製品資料も併せてご確認ください。
- ・ 資料は、予告無く変更される場合があります。
- ・ 絞り込みシートを正常に動作させるために「シートの保護」が設定されている場合がありますが、必要に応じてシートの保護を解除してください（パスワードは設定されていません）。ただし、シートの保護を解除した場合、絞り込み機能の動作は保証できかねますので、ご了承ください。

(2) JP1/AJS3 設定パラメータシート

JP1/AJS3 の「設定パラメータシート」について説明します。

使用上の注意事項

- ・ 資料を加工してご使用いただいてもかまいませんが、成果物は利用者の責任の下でご使用ください。
- ・ 利用者が加工された成果物に対して、日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部では責任を負いかねます。
- ・ 実際のシステム構築時には、必ず製品のマニュアルやリリースノートなど、最新の製品資料も併せてご確認ください。
- ・ 資料は、予告無く変更される場合があります。

- ・ 絞り込みシートを正常に動作させるために「シートの保護」が設定されている場合がありますが、必要に応じてシートの保護を解除してください（パスワードは設定されていません）。ただし、シートの保護を解除した場合、絞り込み機能の動作は保証できかねますので、ご了承ください。

(3) JP1/IM2 設定パラメータシート

JP1/IM2 の「設定パラメータシート」について説明します。

使用上の注意事項

- ・ 資料を加工してご使用いただいてもかまいませんが、成果物は利用者の責任の下でご使用ください。
- ・ 利用者が加工された成果物に対して、日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部では責任を負いかねます。
- ・ 実際のシステム構築時には、必ず製品のマニュアルやリリースノートなど、最新の製品資料も併せてご確認ください。
- ・ 資料は、予告無く変更される場合があります。
- ・ 絞り込みシートを正常に動作させるために「シートの保護」が設定されている場合がありますが、必要に応じてシートの保護を解除してください（パスワードは設定されていません）。ただし、シートの保護を解除した場合、絞り込み機能の動作は保証できかねますので、ご了承ください。

付録 A.2 JP1 パラメータユーティリティ

設定作業をサポートするためのツールを提供します（対応製品：JP1/Base）。

- ・ JP1 パラメータ設定ツール
- ・ JP1 パラメータ収集ツール

(1) JP1 パラメータ設定ツール

このツールを実行すると、入力済みの「設定パラメータシート」から「JP1 設定スクリプト」（設定値を製品に設定するための設定ファイルや、設定するためのコマンドを記述したファイル）を作成できます。

前提条件を以下に示します。

前提 OS	前提ソフトウェア	メモリ所要量
Windows Server 2008 R2 SP1 (x64) Windows Server 2012 R2 (x64) Windows Server 2016 Windows Server 2019 Windows Server 2022 Windows 7 SP1 (x64) Windows 8.1 (x64)	Java SE Runtime Environment 8u51 以降	1GiB（標準） 2GiB※ 注※ JP1/Base 設定パラメータシートの拡張版を使用する場合

前提 OS	前提ソフトウェア	メモリ所要量
Windows 10 (x64) Windows 11 (x64)	Java SE Runtime Environment 8u51 以降	1GiB (標準) 2GiB※ 注※ JP1/Base 設定パラメータシートの拡張版を使用する場合

下記の使用上のご注意をお読みの上、JP1 パラメータ設定ツールをダウンロードしてください。

使用上のご注意

- ・ ご使用前に、同梱されている「取扱説明書」を必ずお読みください。本書および本ツールは改良のため、予告なしに変更されることがあります。
- ・ ツールの実行には、設定値が入力された設定パラメータシートと、それに対応する JP1 パラメータ設定ツールプラグインが必要です（プラグインは、ツール実行前に所定のディレクトリに格納してください）。
- ・ ツールで作成されたスクリプトは各製品のサポートプラットフォームで実行できます。
- ・ 本ツールは Microsoft Excel ファイルを使用しますが、ツール実行の前提としては Microsoft Excel のインストールは不要です。

対応製品は、JP1/Base の V11-10 以降および V12-00 以降です。

(2) JP1 パラメータ収集ツール

このツールを実行すると、既存システムの設定値を設定パラメータシートに取り込みます。SI 作業の基本である「設定パラメータシート（設計書）の内容を確実にシステムに反映させる」運用全体をサポートします。

ぜひ JP1 パラメータ設定ツールと併せてご利用ください。

前提条件を以下に示します。

前提 OS	前提ソフトウェア	メモリ所要量
Windows Server 2008 R2 (64bit 版のみ) Windows Server 2012 R2 Windows Server 2016 Windows Server 2019 Windows Server 2022 Windows 7 (64bit 版のみ) Windows 8.1 (64bit 版のみ) Windows 10 (64bit 版のみ) Windows 11 (x64)	Java SE Runtime Environment 8u51 以降	2GiB (標準) 4GiB※ 注※ JP1/Base 設定パラメータシートの拡張版を使用する場合

下記の使用上のご注意をお読みの上、JP1 パラメータ収集ツールをダウンロードしてください。

使用上のご注意

- ご使用前に、同梱されている「取扱説明書」を必ずお読みください。本書および本ツールは改良のため、予告なしに変更されることがあります。
- 本ツールで利用するパラメータ情報ファイルは、別ホストで出力したファイルを利用可能です。また、本ツールを実行する環境として各 JP1 製品がインストールされている必要はありません。
- 本ツールは Microsoft Excel ブック形式のファイルを扱いますが、本ツールを実行する環境として Microsoft Excel がインストールされている必要はありません。

対応製品は、JP1/Base の V11-10 以降および V12-00 以降です。

付録 B 各バージョンの変更内容

各バージョンでの変更点を次に示します。

付録 B.1 01-12 の変更内容

- Firefox のサポートバージョンを変更した。
- 専用ストレージのメニューとして、ユーザーファイルの操作についての説明を追加した。
- メトリクスの種別として専用ストレージ使用率を追加した。
- 実行エージェントの操作に、デフォルト実行エージェントについての説明を追加した。
- JP1 パラメータユーティリティとして提供するツールの前提 OS を変更した。

付録 B.2 01-11 の変更内容

- メトリクスに対するアラームの表示・設定についての説明を追加した。
- フィードバックの送信についての説明を追加した。
- ログの内容表示についての説明を追加した。
- JP1 ユーザーの作成・編集時に入力する JP1 資源グループに対する操作権限の入力規則についての説明を追加した。

付録 B.3 01-10 の変更内容

- Firefox のサポートバージョンを変更した。
- ルート一覧画面で提供する機能が利用できない場合についての記載を追加した。
- hosts 情報の新規登録時に、ping での通信確認を実施しないように変更した。
- 実行エージェントの編集についての注意事項を追加した。

付録 B.4 01-01 の変更内容

- Microsoft Edge をサポート対象とした。
- エクスポートしてダウンロードできるログの改行コードを変更した。
- ユーザー管理機能の仕様を次の通り変更した。
 - ユーザー作成・編集，チーム作成・編集の入力時の制限事項を一部削除した。

- パスワードの変更禁止期間を変更した。
- ポータルユーザー操作ログの出力形式・内容を変更した。

付録 C.1 製品名の表記

表記	正式名称
JP1/AJS3	JP1/Automatic Job Management System 3
JP1/IM	JP1/Integrated Management
	JP1/Integrated Management 2
JP1/IM2	JP1/Integrated Management 2

付録 D 用語解説

サービスポータルで使用する用語を以下に示します。

JP1 の用語の詳細については、JP1 のマニュアルを参照してください。

(英字)

JP1 権限レベル

管理対象（資源）に対して JP1 ユーザーがどのような操作ができるかを表した名称です。ジョブ、ジョブネット、イベントなどの管理対象（資源）の種類に応じて、操作項目を定めています。管理対象（資源）の種類と、それに対する操作項目の幾つかを組み合わせた形式で JP1 ユーザーの操作権限を管理します。

JP1 資源グループ

ジョブ、ジョブネット、イベントなどの管理対象（資源）を幾つかのグループに分けて管理するためのグループの名称のことです。JP1 ユーザーがどの JP1 資源にアクセスできるかは、JP1 資源をグループ化した JP1 資源グループに対して設定します。

JP1 ユーザー

サービスで提供される JP1 の機能を利用するときに必要なユーザーです。JP1 ユーザーは、認証サーバーに登録され、アクセス権限は認証サーバーで管理されます。

(力行)

環境種別

お客様のシステムの環境（開発環境、本番環境など）を区別するための名称のことです。サービスで提供されるマネージャーホストを配置するネットワーク区域の単位になります。

(サ行)

実行エージェント

ジョブやジョブネットの実行先となるエージェントホストの論理的な名称です。マネージャーホストに定義したエージェント情報に従って、ジョブやジョブネットに指定した実行エージェントと実行先ホスト名がマッピングされ、ジョブやジョブネットが実行先のエージェントホストに配信されます。

また、実行エージェントの種類として、実行エージェントをグルーピングして負荷分散を実現させる実行エージェントグループがあります。グルーピングする実行エージェントに優先順位を付けておくことで、ジョブを配信するエージェントホストを決定し、ジョブを配信します。

(タ行)

タスク

ユーザーがサービスポータル上で行った操作の実行状況や実行履歴を管理する単位です。

チーム

サービスポータルのユーザーのグルーピングに利用できるチームのことです。チームは環境種別と関連付けることができます。

チーム管理者

サービスポータルのチーム管理者権限を持つユーザーです。管理画面で提供される機能の一部を利用できます。

(ハ行)

ポータル管理者

サービスポータルの管理者権限を持つユーザーです。管理画面で提供される機能を利用できます。

(ヤ行)

ユーザーファイル

サービスで提供される各マネージャーホストのお客様専用のストレージ領域にて、任意で管理可能なファイルやディレクトリを表した名称です。ユーザーファイルとして、ジョブ実行時や自動アクションを契機に実行可能なスクリプトをアップロードすることができます。

(ラ行)

リソース

サービスポータルで表示・操作できる資源全般のことを指します。

利用者

サービスポータルの利用者権限を持つユーザーです。

索引

H

- hosts 情報 24
- hosts 情報一覧 73
- hosts 情報登録 [タスク詳細] 115

J

- JP1/AJS3 設定パラメータシート 161
- JP1/Base 設定パラメータシート 160
- JP1/IM2 設定パラメータシート 162
- JP1 管理基盤 66
- JP1 権限レベル [用語解説] 168
- JP1 資源グループ [用語解説] 168
- JP1 パラメータ収集ツール 163
- JP1 パラメータ設定ツール 162
- JP1 ユーザー 23
- JP1 ユーザー一覧 67
- JP1 ユーザー作成 [タスク詳細] 114
- JP1 ユーザー編集 [タスク詳細] 114
- JP1 ユーザー [用語解説] 168

あ

- アラーム設定 [タスク詳細] 113
- アラームの設定 [メトリクス] 63
- アラームの表示 [メトリクス] 61

い

- 一覧表示 [hosts 情報] 73
- 一覧表示 [JP1 ユーザー] 67
- 一覧表示 [実行エージェント] 76
- 一覧表示 [チーム一覧] 140
- 一覧表示 [提供ファイル一覧] 90
- 一覧表示 [ユーザー一覧] 128
- 一覧表示 [ログ一覧] [ファイル] 86
- 一覧表示 [ログ管理] 146

え

- エージェントセットアップ支援ツール 90

- エクスポート [ログ一覧] [ファイル] 87
- エクスポート [ログ管理] 146

お

- お知らせ 150

か

- 環境種別 [用語解説] 168
- 管理者向けログ 27

き

- 共通機能 153
- 切り替え [接続ホスト] 57

さ

- 削除 [JP1 ユーザー] 71
- 削除 [実行エージェント] 84
- 削除 [チーム一覧] 144
- 削除 [ユーザー一覧] 136
- 削除 [ルート] 54

し

- 実行エージェント 25
- 実行エージェント一覧 76
- 実行エージェント作成 [タスク詳細] 116
- 実行エージェント編集 [タスク詳細] 117
- 実行エージェント [用語解説] 168
- 実行履歴の参照 108
- 詳細表示 [接続ホスト] 58
- 詳細表示 [ユーザー一覧] 129
- 詳細表示 [ログ一覧] [ファイル] 86
- ジョブスケジューラー 75
- ジョブ定義インポート [タスク詳細] 112
- ジョブ定義エクスポート [タスク詳細] 111
- ジョブ定義のインポート 49
- ジョブ定義のエクスポート 47
- 新規作成 [JP1 ユーザー] 68

新規作成〔実行エージェント〕 78

新規作成〔チーム一覧〕 141

新規作成〔ユーザー一覧〕 130

新規登録〔hosts 情報〕 73

せ

接続ホスト 56

設定パラメータシート 160

専用ストレージ 92

アップロード 95

一覧表示 93

移動 100

権限変更 101

コピー 98

削除 96

ダウンロード 96

ディレクトリ作成 97

名前変更 100

ユーザーファイル一覧 93

そ

操作権限 28

た

タスク 27, 104

タスク一覧 105

タスク詳細 108

タスクの保持期間 126

タスク〔用語解説〕 169

ち

チーム一覧 140

チーム管理者〔用語解説〕 169

チーム作成〔タスク詳細〕 124

チームの作成 17

チーム編集〔タスク詳細〕 124

チームメンバーの変更 138

チームメンバー変更〔タスク詳細〕 125

チーム〔用語解説〕 169

つ

追加〔ルート〕 54

て

提供ファイル一覧 44, 90

ね

ネットワーク 22, 52

は

パスワード 32

パスワードのリセット 137

パスワード変更 35

パスワード変更〔JP1 ユーザー〕 71

ひ

表示言語 154

ふ

ファイル 85

ファイルの取得 20

プラットフォーム 43

へ

編集〔JP1 ユーザー〕 69

編集〔実行エージェント〕 81

編集〔チーム一覧〕 142

編集〔ユーザー一覧〕 133

ほ

ポータル管理者〔用語解説〕 169

ま

マネージャー 21

マネージャー一覧 45

め

メトリクス 60

メトリクス表示〔メトリクス〕 60

メンバーの変更 143

ゆ

ユーザー 32
ユーザー ID 32
ユーザー一覧 128
ユーザー環境情報の保存 155
ユーザー管理 127
ユーザー作成〔タスク詳細〕 122
ユーザー認証 28
ユーザーの権限 36
ユーザーの作成 19
ユーザーファイルアップロード〔タスク詳細〕 118
ユーザーファイル移動・名前変更〔タスク詳細〕 120
ユーザーファイル権限変更〔タスク詳細〕 121
ユーザーファイルコピー〔タスク詳細〕 120
ユーザーファイルの操作 26
ユーザーファイル用ディレクトリ作成〔タスク詳細〕 119
ユーザーファイル〔用語解説〕 169
ユーザー編集〔タスク詳細〕 123

ログ管理 145
ログの表示・取得 25
ロックアウト 32
ロック解除 137

よ

用語集 151

り

リソース〔用語解説〕 169
利用者〔用語解説〕 169
利用状況 23, 59

る

ルート一覧 53
ルート追加〔タスク詳細〕 112

ろ

ログアウト 29
ログ一覧〔ファイル〕 86
ログ一覧〔ログ管理〕 146
ログイン 17, 29
ログインユーザーの情報表示 33
ログエクスポート〔タスク詳細〕 118

 株式会社 日立製作所

〒100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目6番6号
